

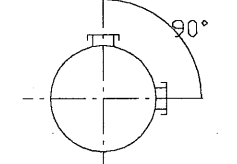
備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
II	貫通口

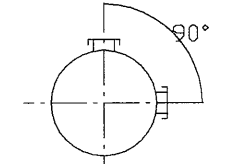
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては
別冊第2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

*1 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
継手部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



*2 試運転時流量測定用
32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
継手部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

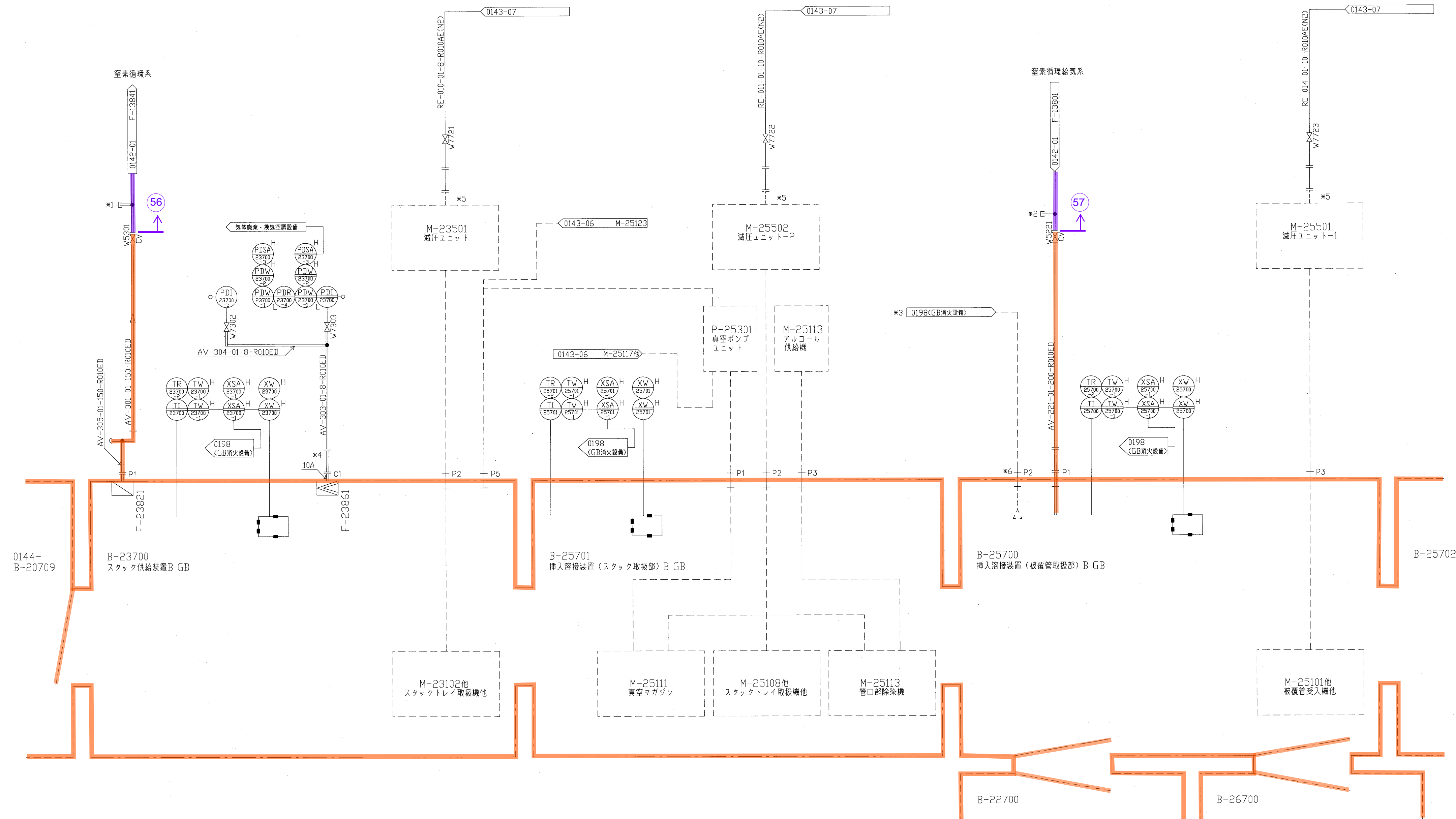


*3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。

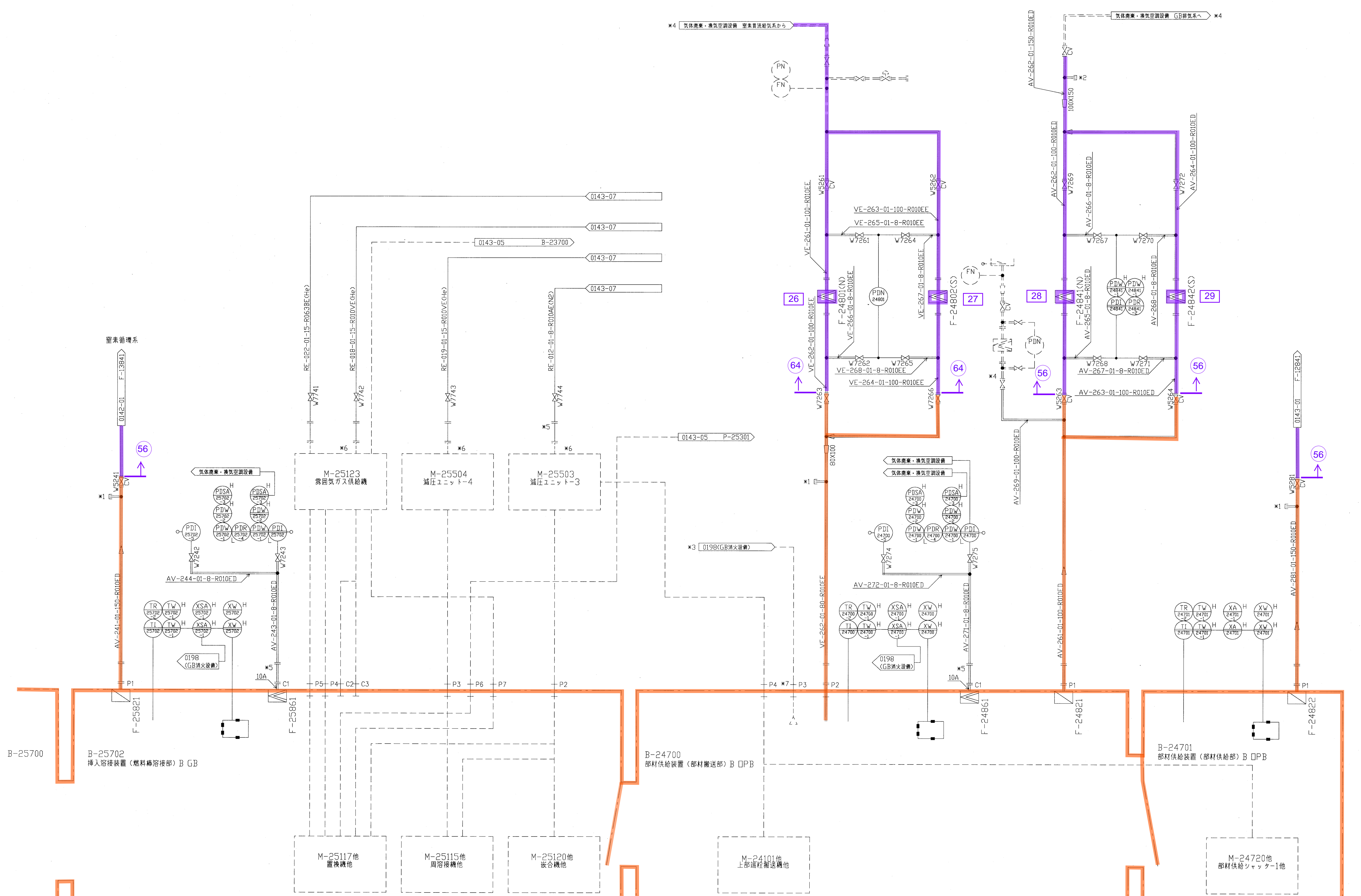
*4 異径フランジ(8AX10A)。

*5 挿入溶接設備(E)取扱説明書
(PM-0143-4368-002)参照。

*6 室内空気供給ノズル近傍に設置する。



会社名	日本原燃株式会社	オーダーファイル 2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分 P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 燃料加工工設備(E) 挿入溶接設備 エンジニアリングフロー図 (B-23700,25700,25701) 工程:0143(GB)(5/7)	



備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

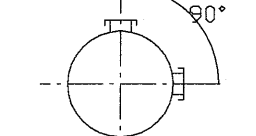
(凡例)

記号	名称
	気体供給系

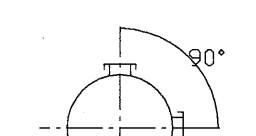
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別図第2室にも表示する。

3. 注記 (本図中の注記は下記に示す通り)

*1 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ取付を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



*2 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ取付を施す。



*3 消防火設備 (GB消火設備) EFD参照。

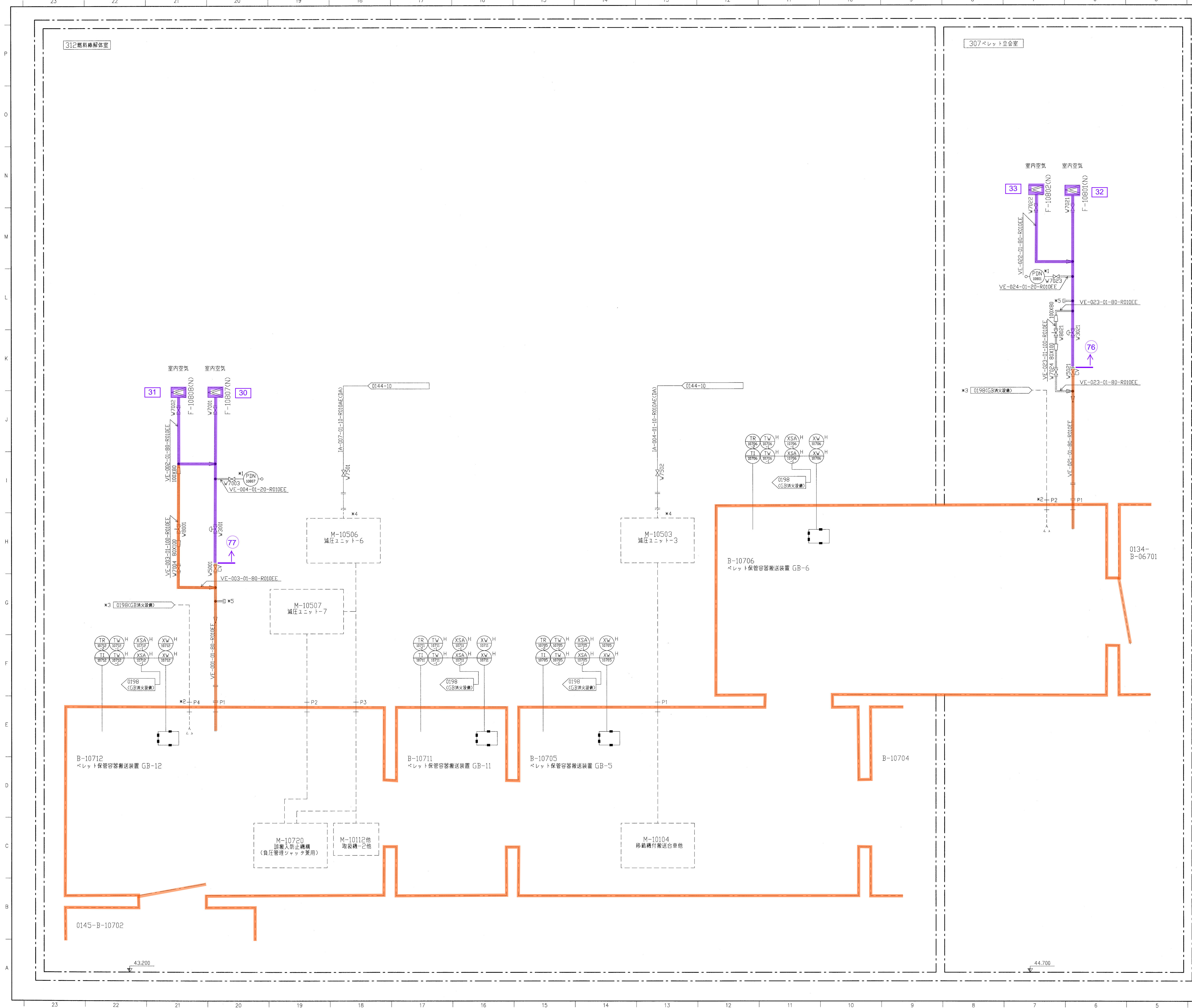
*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。

*5 異径フレンジ (8AX10A)。

*6 挿入溶接設備 (E) 取扱説明書 (PM-0143-4368-002)参照。

*7 室内空気供給ノズル近傍に設置する。

製先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 燃料加工工設備 (E) 挿入溶接設備 エンジニアリングフロー図 (B-24700,24701,25702) 工程:0143 (GB) (6/7)		



備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

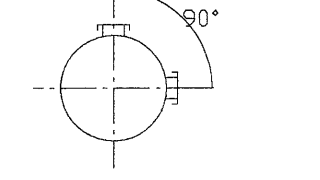
〈凡例〉

記号	名称
⊥	貫通口

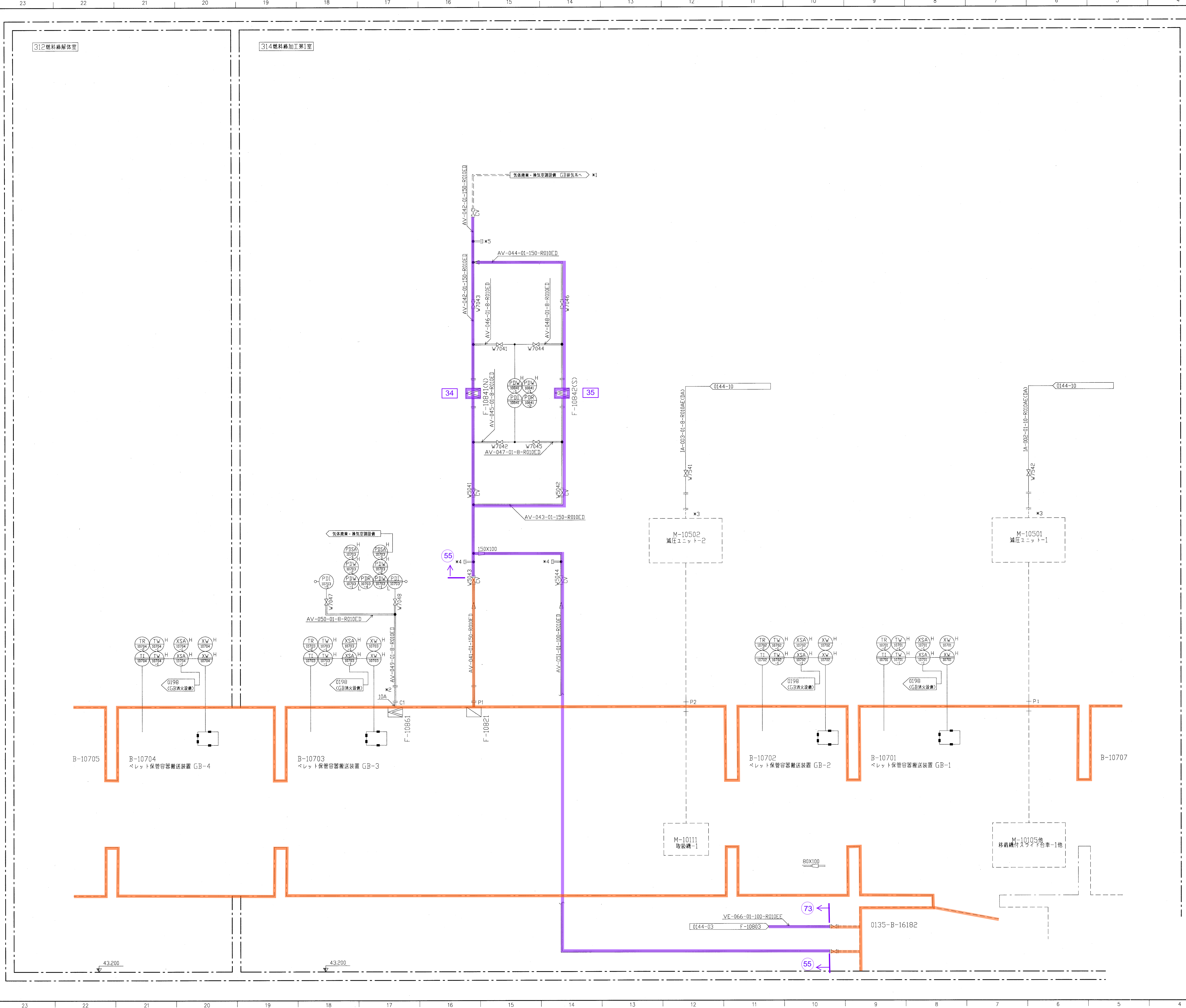
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては
制御室2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- ※1 仮設計器取外し時、端末部にねじ込みキャップ
処置を施す。
- ※2 室内空気供給ノズル近傍に設置する。
- ※3 防火設備 (GB防火設備) EFD参照。
- ※4 燃料棒加工工程搬送設備 (E) 取扱説明書
(PM-0144-4368-002)参照。
- ※5 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)
端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 燃料棒加工工程設備 (E) 燃料棒加工工程搬送設備 エンジニアリングフロー図 (B-10705,10706,10711,10712) 工程: 0144 (GB) (1/10)		

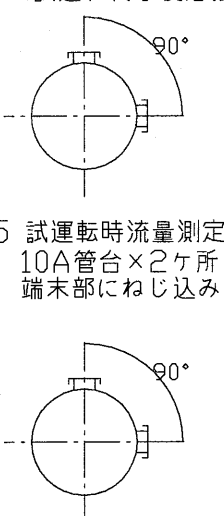


備考

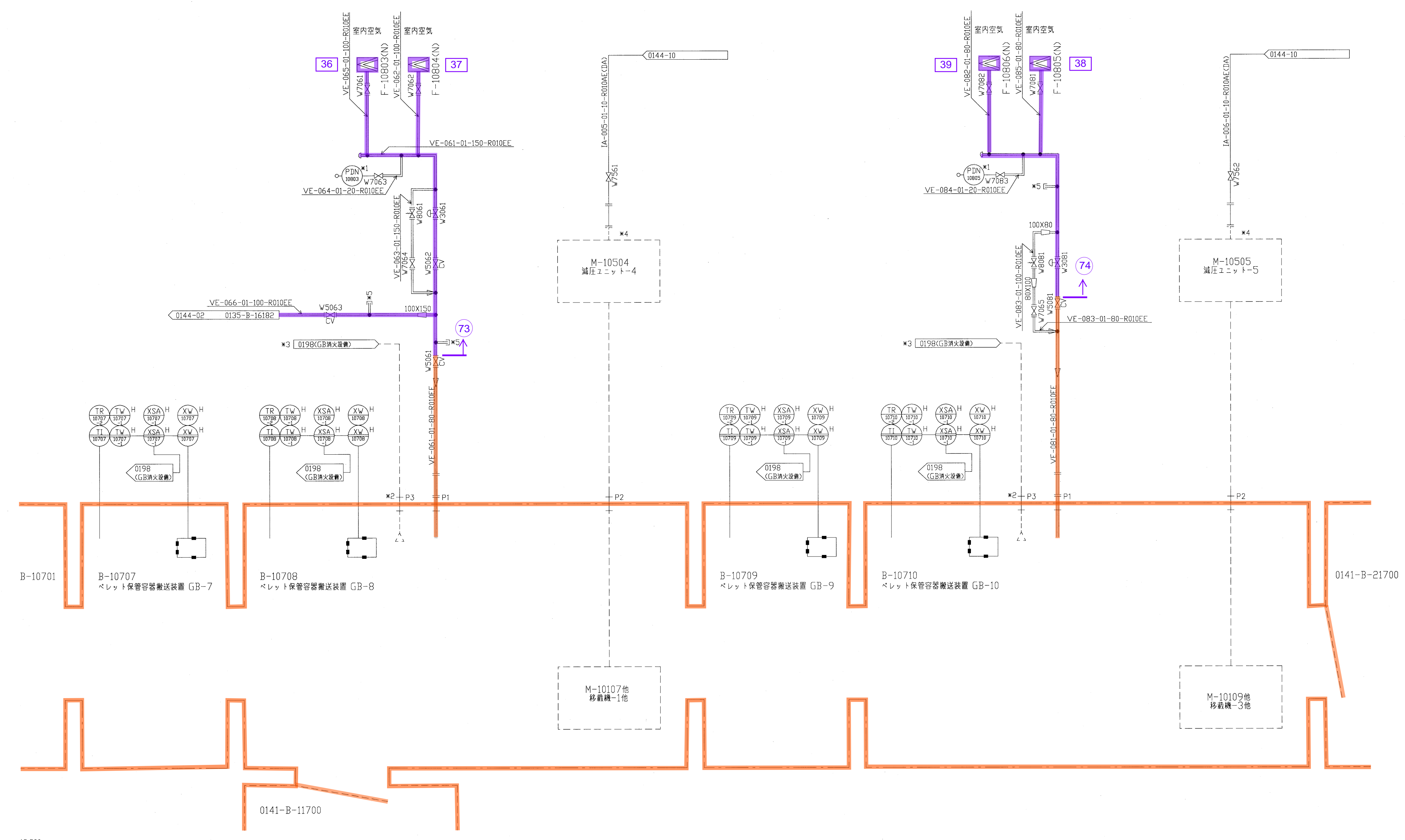
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。
(凡例)

記号	名称
	普通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては
制御室2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- *1 グローブボックス廻り換気系統図
(PM-0171-4422-002)参照。
 - *2 異径フレンジ(8AX10A)。
 - *3 燃料精加工工程搬送設備(E)取扱説明書
(PM-0144-4368-002)参照。
 - *4 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端部にねじ込みキャップ取付を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
 - *5 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端部にねじ込みキャップ取付を施す。



発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 燃料精加工工程設備(E) 燃料精加工工程搬送設備 エンジニアリングフロー図 (B-10701~10704) 工程:0144 (GB) (2/10)		



備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに關しては
別冊第2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

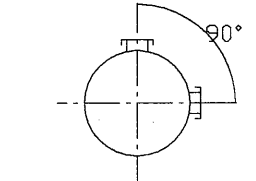
*1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ
処置を施す。

*2 室内空気供給ノズル近傍に設置する。

*3 防火設備(GB消火設備)EFD参照。

*4 燃料精加工工程搬送設備(E)取扱説明書
(PM-0144-436B-002)参照。

*5 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



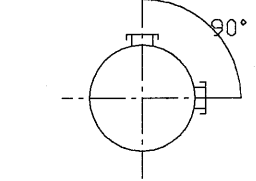
発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋(PA) 燃料精加工工程設備(E) 燃料精加工工程搬送設備 エンジニアリングフロー図 (B-10707~10710) 工程:0144 (GB) (3/10)		

備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。
(凡例)

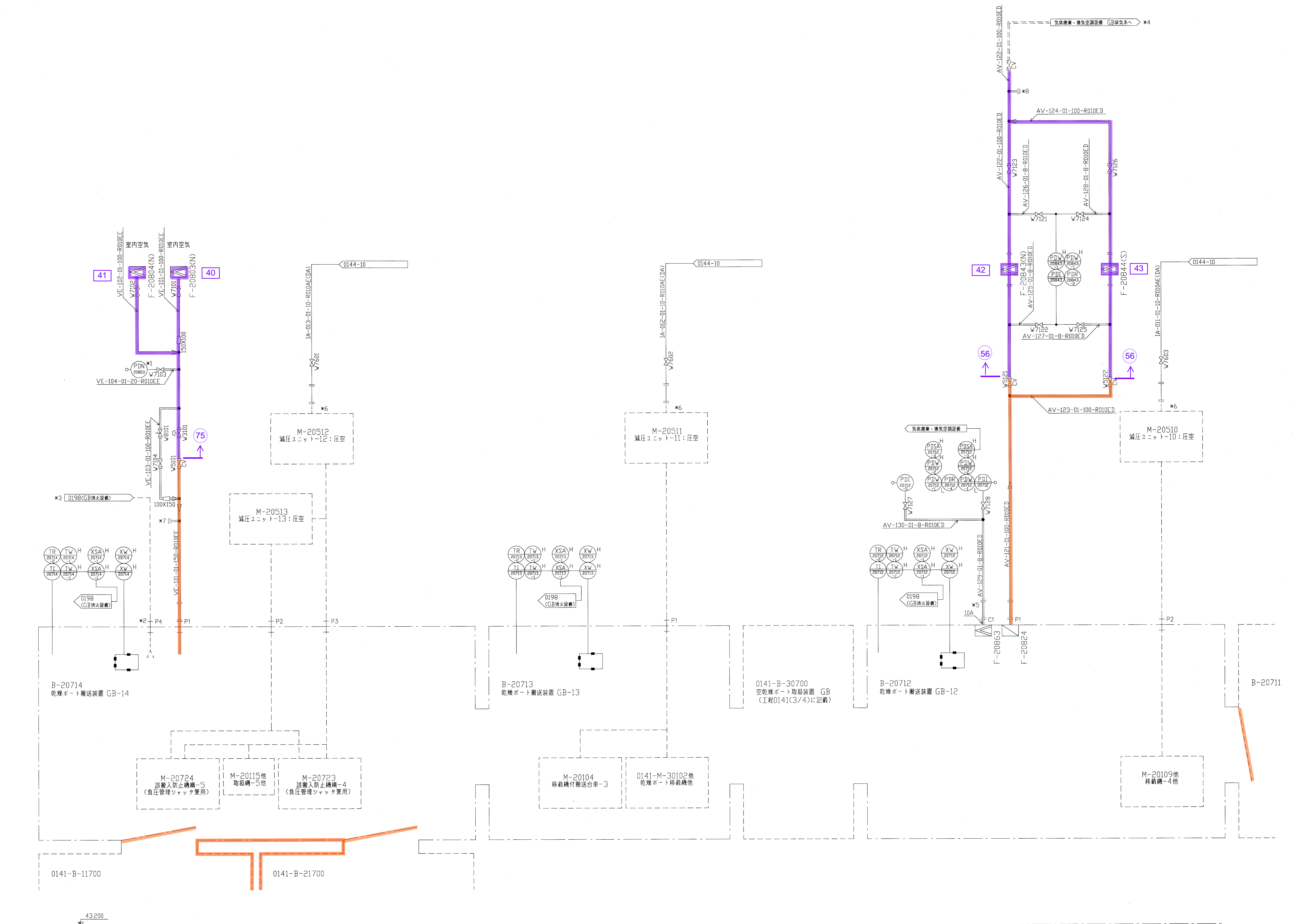
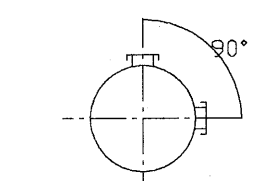
記号	名称
II	貫通口

2. 中央監査室に表示がある計装TAGに関しては制御室2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

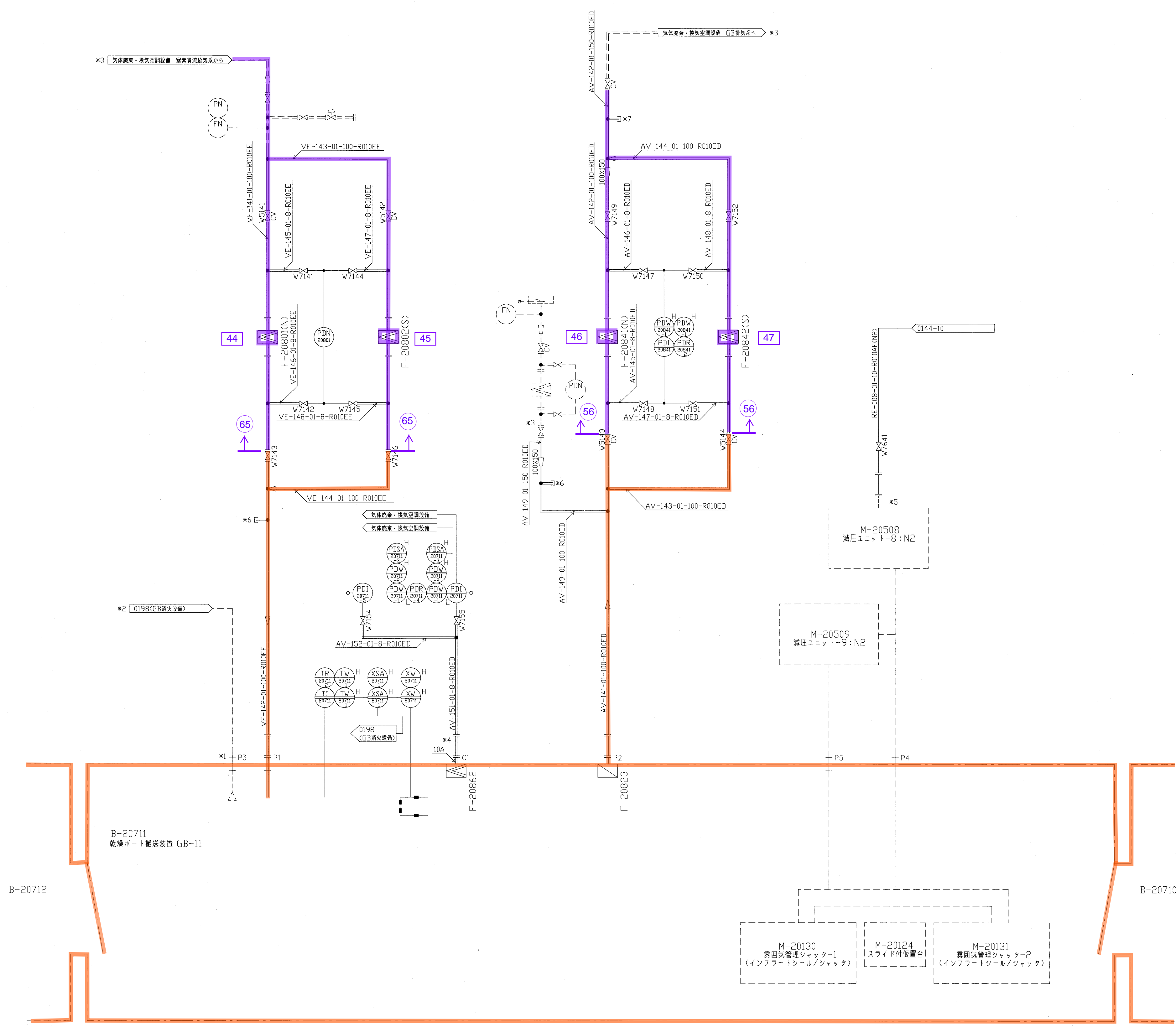
- *1 仮設計器取外し時、端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- *2 室内空気供給ノズル近傍に設置する。
- *3 防火設備(GB消火設備)EFD参照。
- *4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径ファンジ(BAX10A)。
- *6 燃料精加工工程搬送設備(E)取扱説明書(PM-0144-4368-002)参照。
- *7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



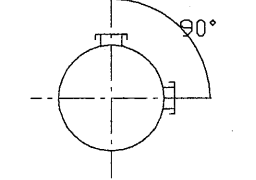
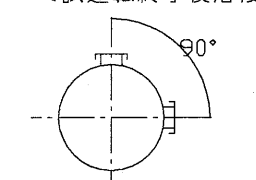
- *8 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端末部にねじ込みキャップ処置を施す。



客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋(PA) 燃料精加工工程設備(E) 燃料精加工工程搬送設備 エンジニアリングフロー図 (B-20712~20714) 工程: 0144 (GB) (4/10)		



2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御第2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- *1 室内空気供給ノズル近傍に設置する。
 - *2 消防火設備(GB消火設備)EFD参照。
 - *3 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
 - *4 異径ファンジ(8AX10A)。
 - *5 燃料加工工程搬送設備(E)取扱説明書(PM-0144-4368-002)参照。
 - *6 試運転時流量測定用
10A管径×2ヶ所(可能な範囲で短く) 補末部にねじ込みキャップ取付を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
 - *7 試運転時流量測定用
10A管径×2ヶ所(可能な範囲で短く) 補末部にねじ込みキャップ取付を施す。



客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 燃料加工工程設備(E) 燃料加工工程搬送設備 エンジニアリングフロー図 (B-20711) 工程:0144 (GB) (5/10)		

314 燃料精加工第1室

備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

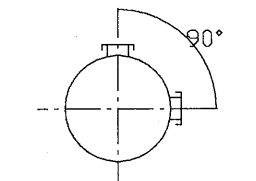
〈凡例〉

記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては
制御室2室にも表示する。

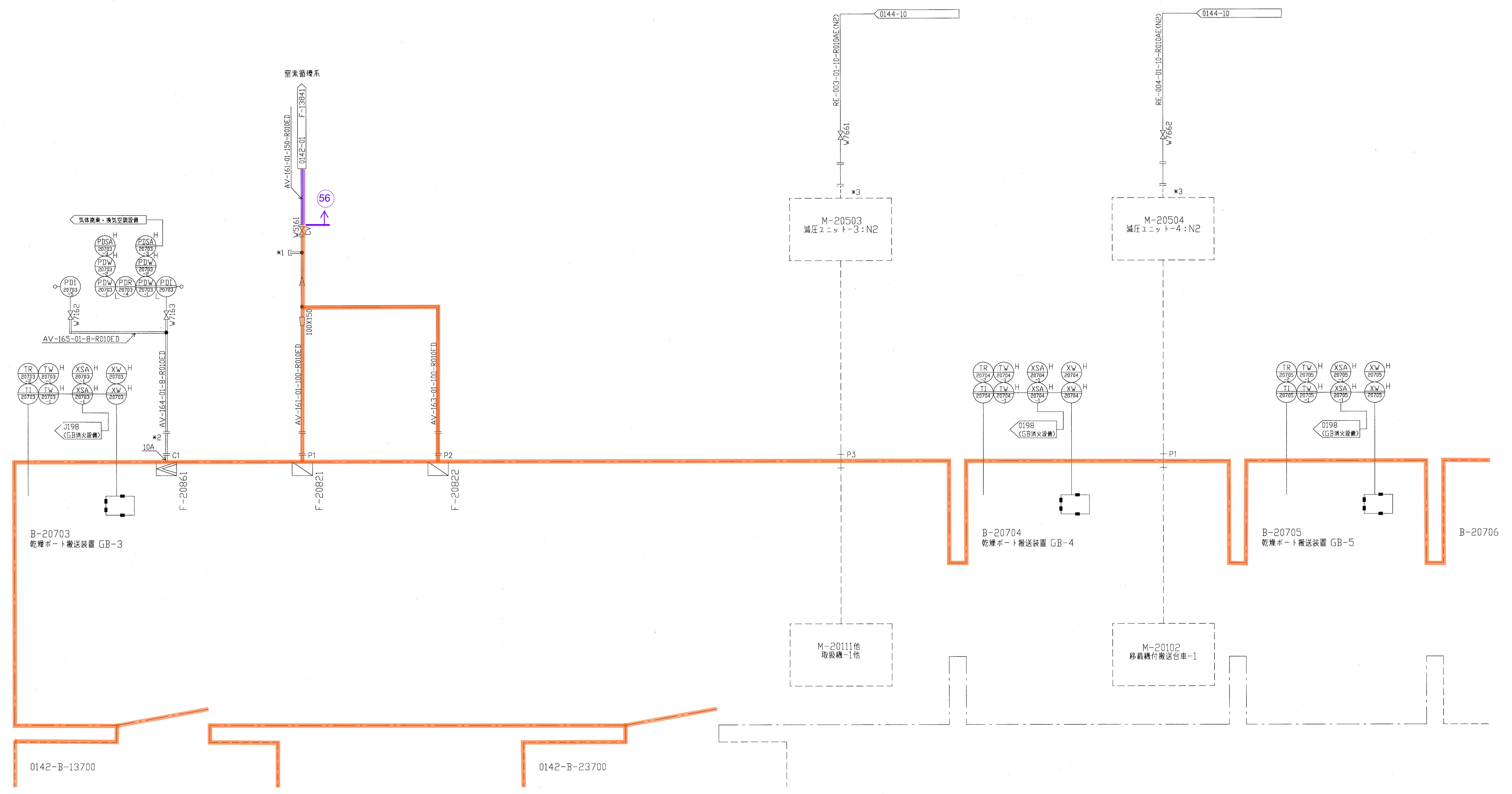
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

*1 試運転時流量測定用
10A管径×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端末部にねじ込みキャップを設置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



*2 異径フランジ(8AX10A)。

*3 燃料精加工工程搬送設備(E)取扱説明書
(PM-0144-4368-002)参照。



客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋 (PA) 燃料精加工工程設備 (E) 燃料精加工工程搬送設備 エン지니어リングフロー図 (B-20703~20705) 工程: 0144 (GB) (6/10)		

314燃料棒加工第1室

備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

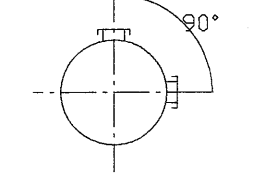
(凡例)

記号	名称
⊥	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

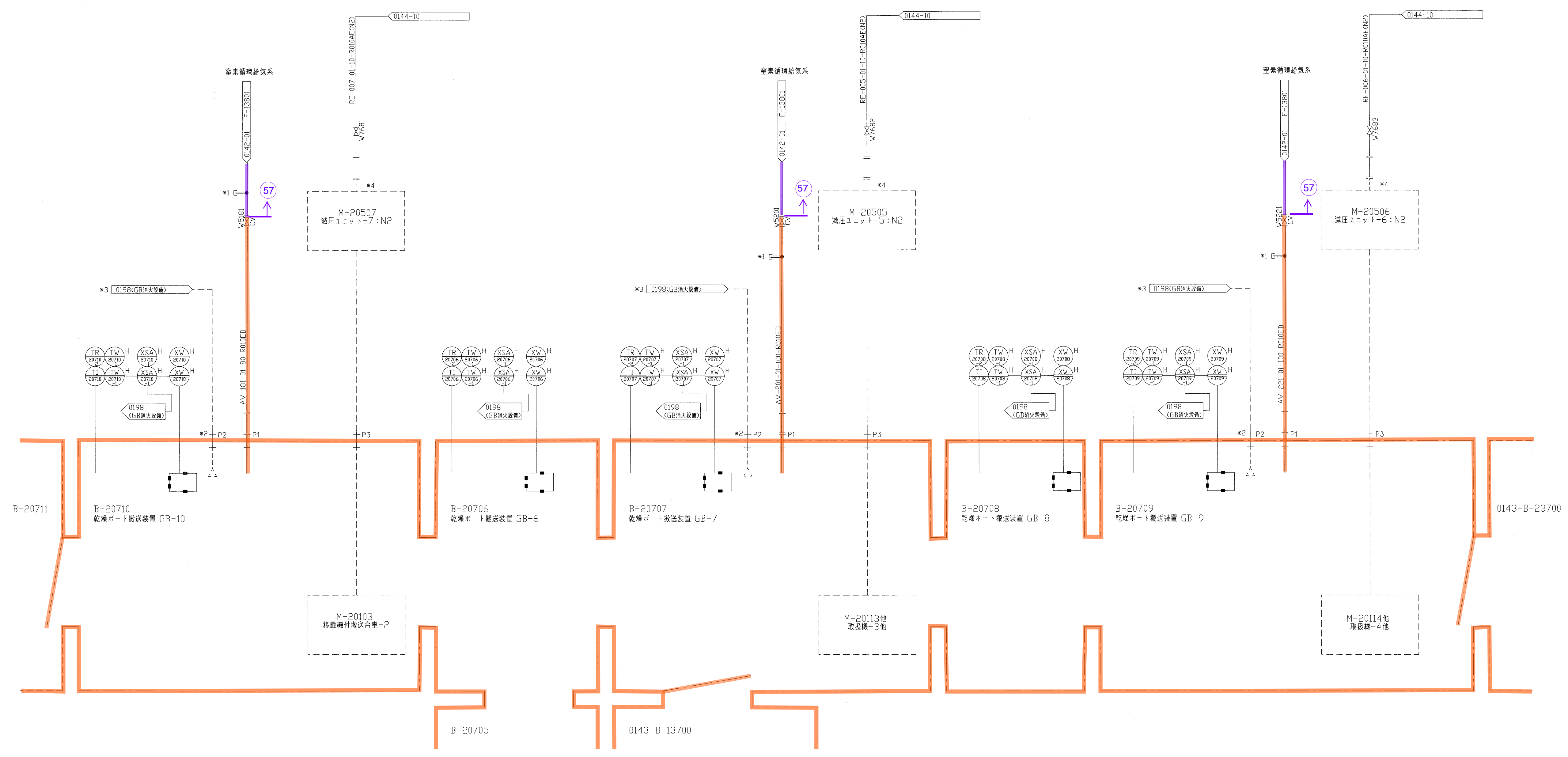
*1 試運転時流量測定用
10A盤台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 端部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



*2 室内空気供給ノズル近傍に設置する。

*3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。

*4 燃料棒加工工程搬送設備(E)取扱説明書(PM-0144-4368-002)参照。



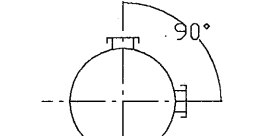
発注名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 燃料棒加工工程設備(E) 燃料棒加工工程搬送設備 エンジニアリングフロ-図 (B-20706~20710) 工程:0144 (GB) (7/10)		

備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。
(凡例)

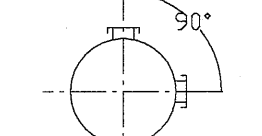
記号	名称
...	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計測TAGに関しては
別冊第2巻にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

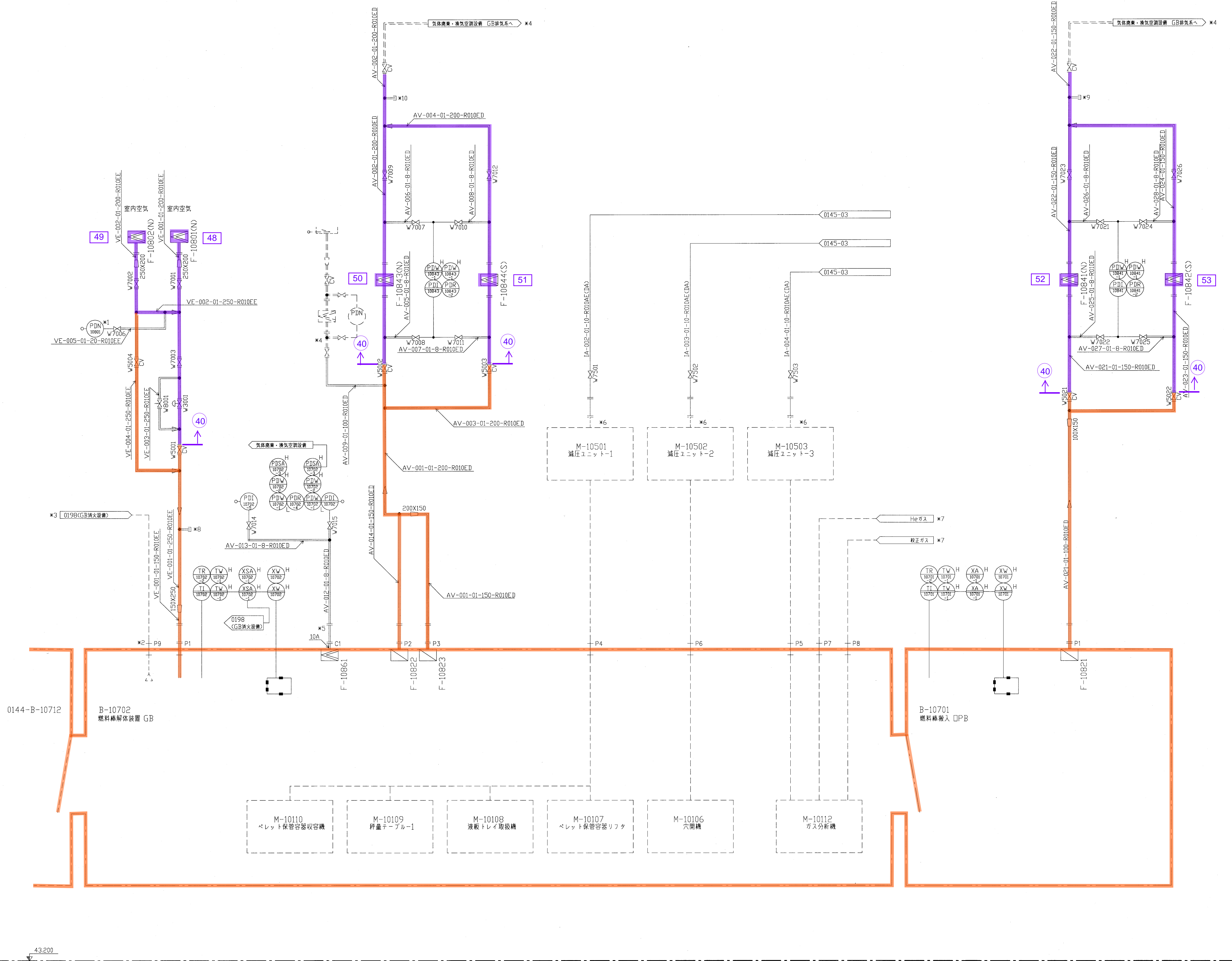
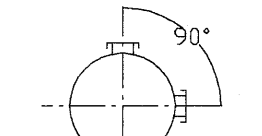
- *1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ
処置を施す。
- *2 室内空気供給ノズル近傍に設置する。
- *3 消防火設備(GB消火設備)EFD参照。
- *4 グローブボックス廻り換気系統図
(PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径フランジ(8AX10A)。
- *6 燃料精解体設備(E)取扱説明書
(PM-0145-4368-002)参照。
- *7 JNFL 廠所等。
- *8 試運転時流量測定用
32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

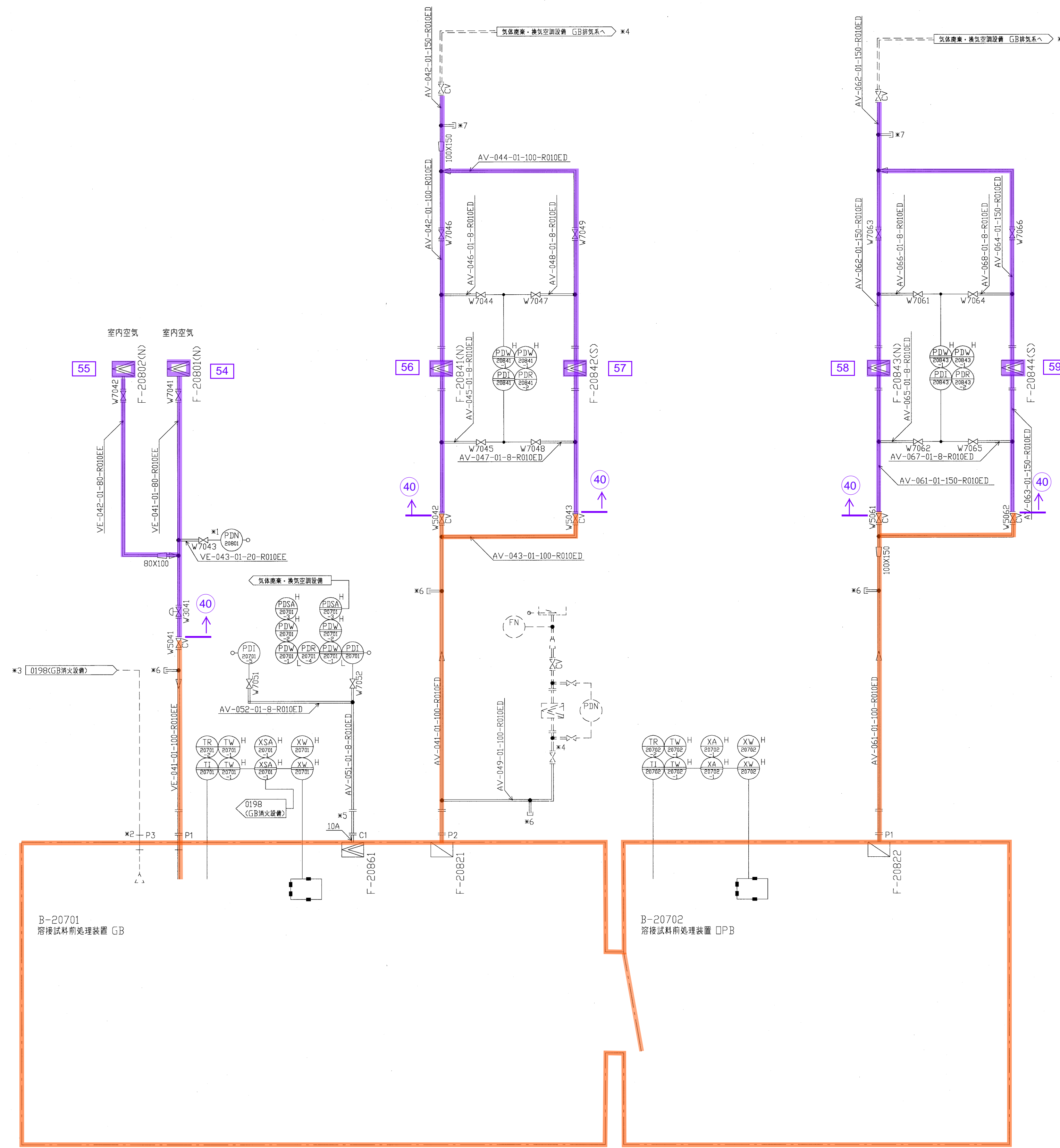


*9 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端部にねじ込みキャップ処置を施す。



*10 試運転時流量測定用
32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端部にねじ込みキャップ処置を施す。





備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

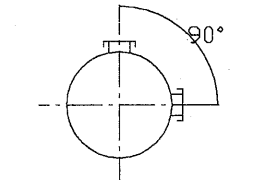
記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。

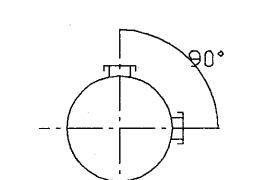
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- *1 仮設計取外し時、詰末部にねじ込みキャップ取付を施す。
- *2 室内空気供給ノズル近傍に設置する。
- *3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- *4 タローボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径フランジ(BAX10A)。

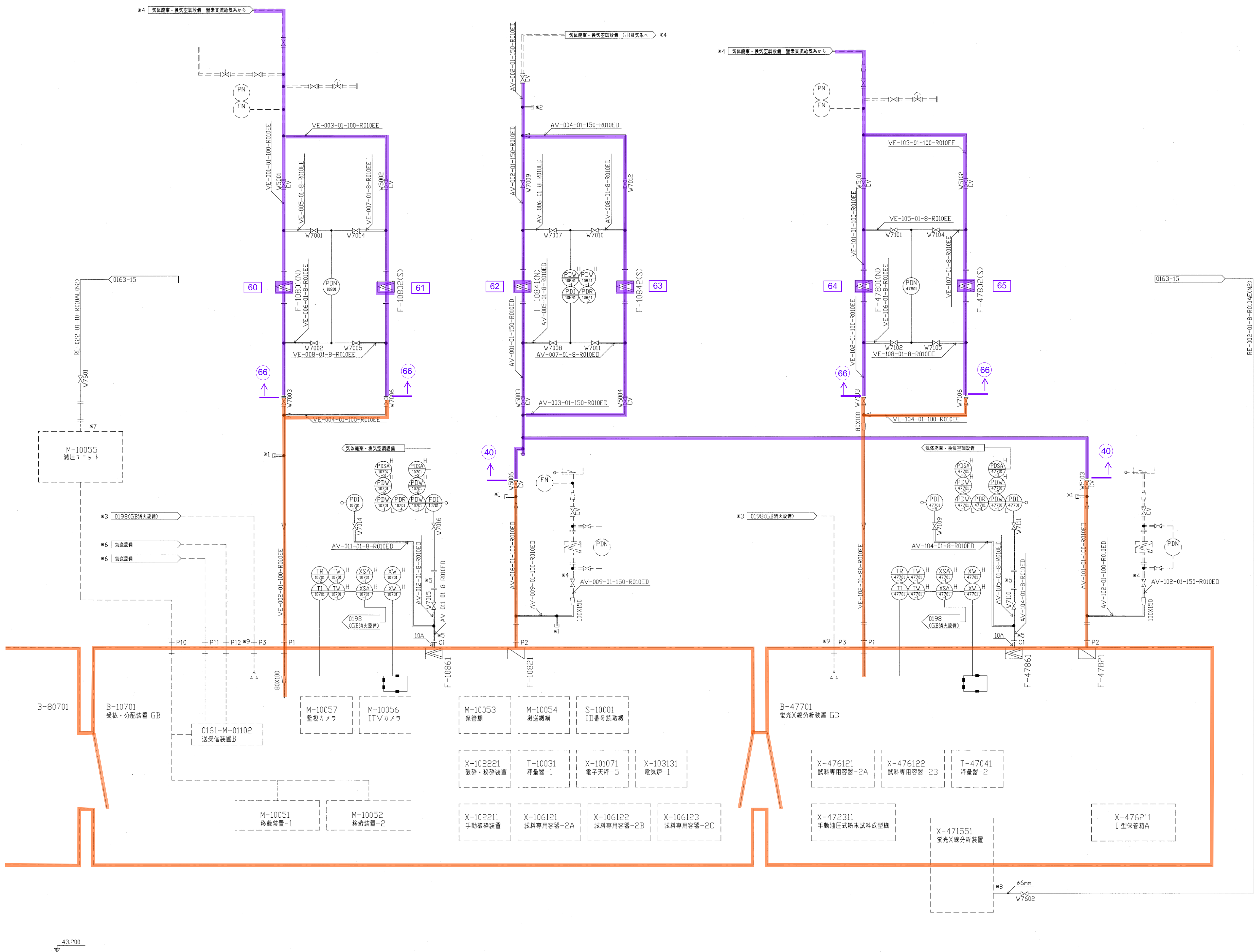
*6 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ取付を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



*7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ取付を施す。



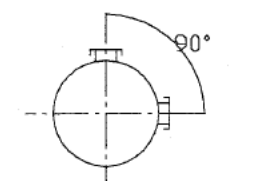
客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 燃料加工工程設備(E) 燃料溶解体設備 エンジニアリングフロ-図 (B-20701,20702) 工程:0145(GB) (2/3)		



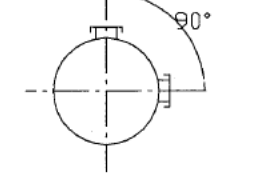
記号	名称
PN	普通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

※1 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端末部にねじ込みキャップ設置を施す。
(試運転終了後戻りキャップ止めとする)

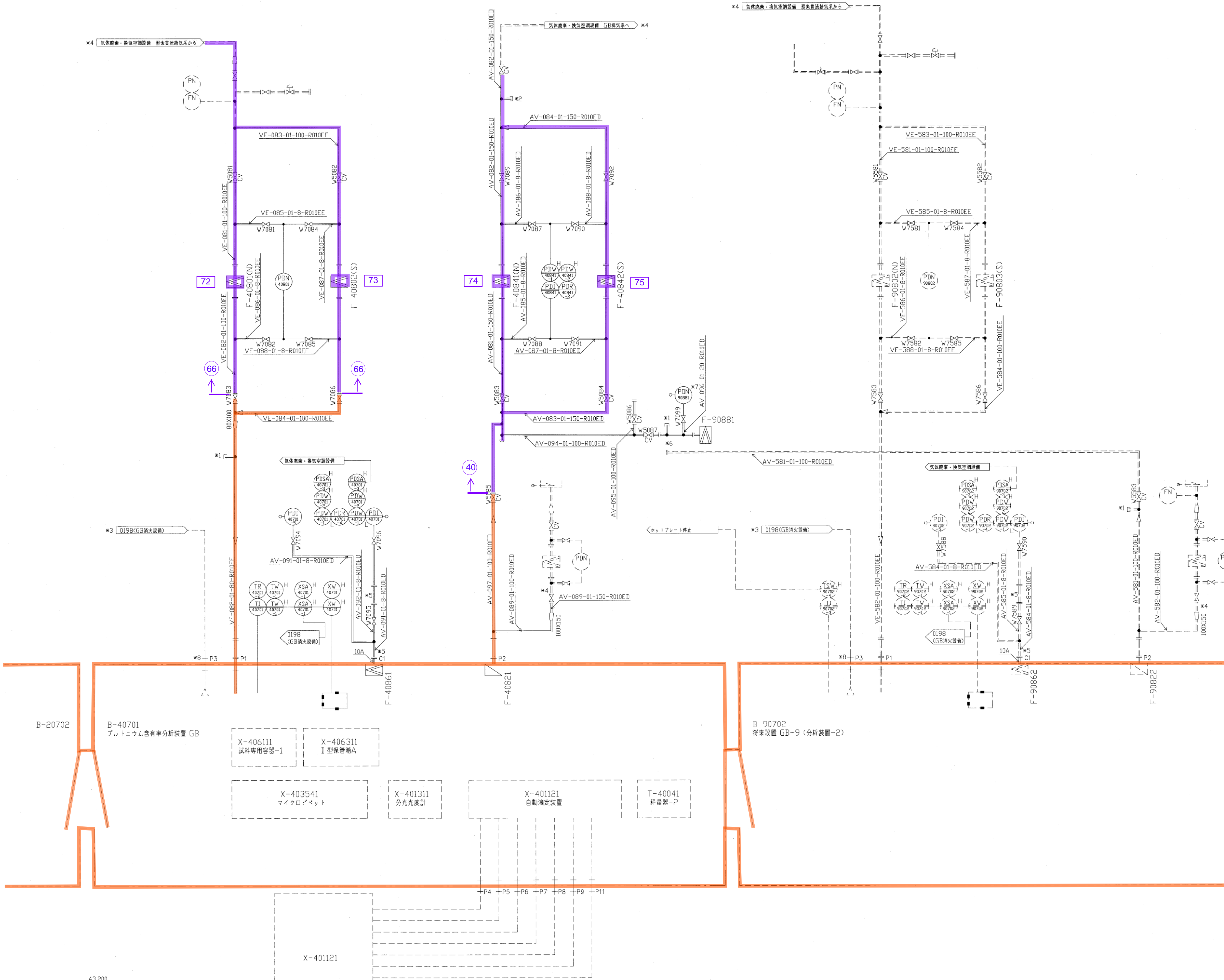


※2 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端末部にねじ込みキャップ設置を施す。



- ※3 防火設備(GB防火設備) EFD参照。
- ※4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- ※5 異径フランジ(8AX10A)。
- ※6 気送設備EFD(PF-0161-4122-001)参照。
- ※7 受払・分配装置及び搬送装置1・2取扱説明書 (PM-0163-4368-001)参照。
- ※8 分析機器配管図 (PM-0163-4141-001)参照。
- ※9 給気口近傍に設置する。

製先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) アルトニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロア (B-10701, B-47701) 工程: 0163 (GB) (1/18)		

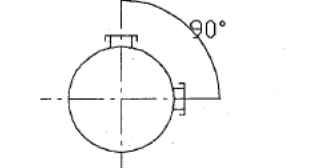


(凡例)

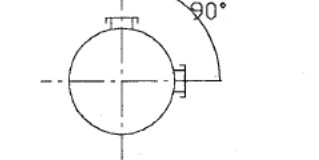
記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

*1 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

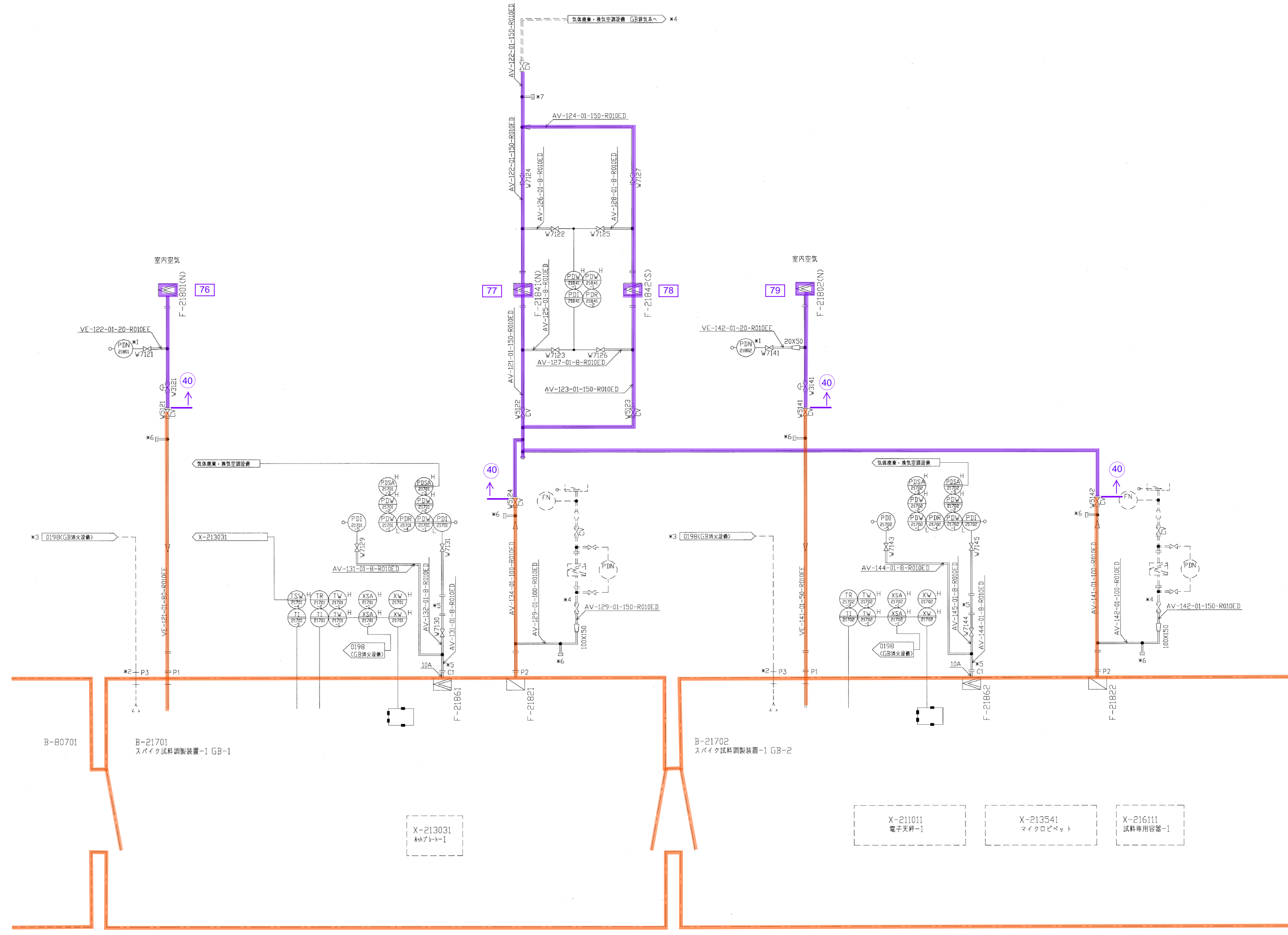


*2 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ処置を施す。



- *3 防火設備(GB防火設備) EFD参照。
 - *4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径フランジ (8AX10A)。
 - *6 将来設置GBの排気フィンと接続する。
 - *7 仮設計器取外し時、端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
 - *8 給気口近傍に設置する。
4. B-90702は将来設置。

客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロア (B-40701, B-90702) 工程: 0163 (GB) (3/18)		



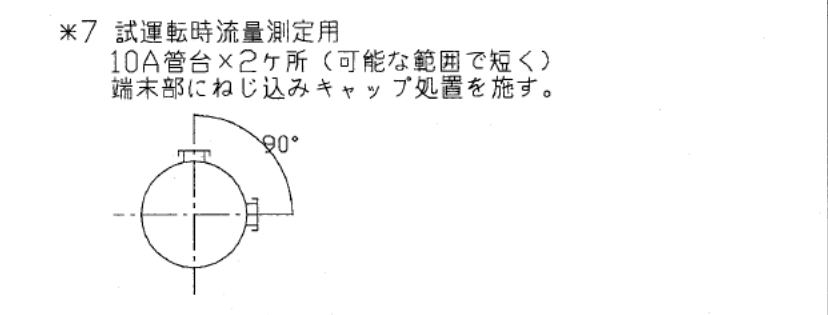
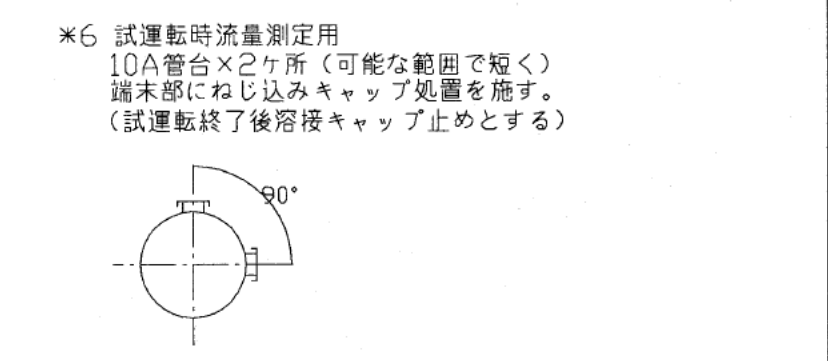
備考

1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

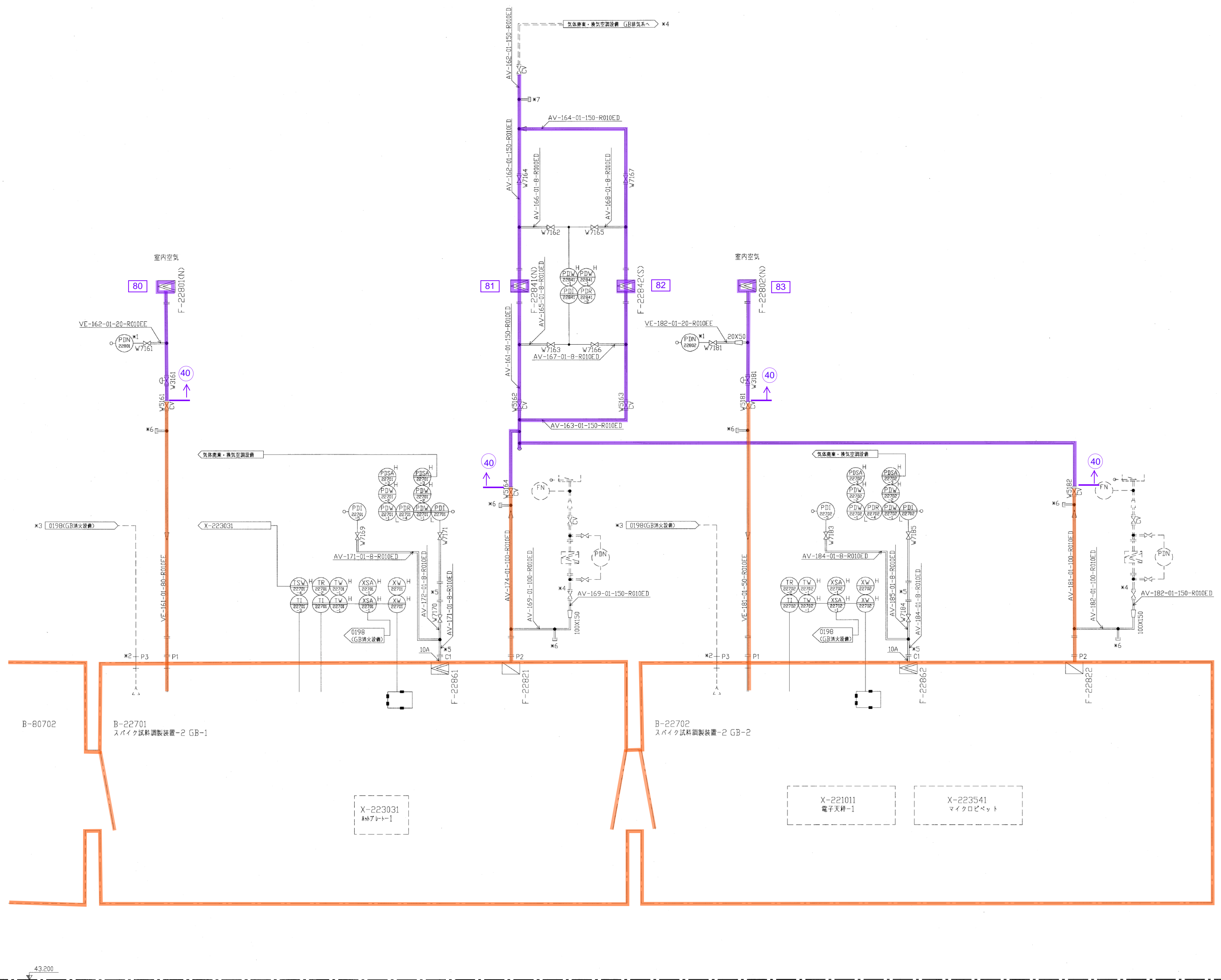
(凡例)

記号	名称
	貫通口

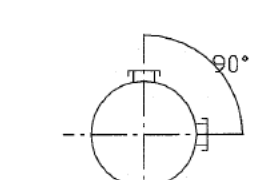
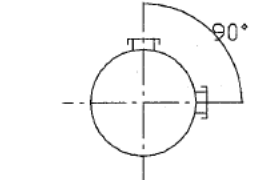
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- *1 仮設計器取外し時、詰未部にねじ込みキャップ処置を施す。
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
 - *4 グローブボックス廻り機気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径ファンジ(BAX10A)。



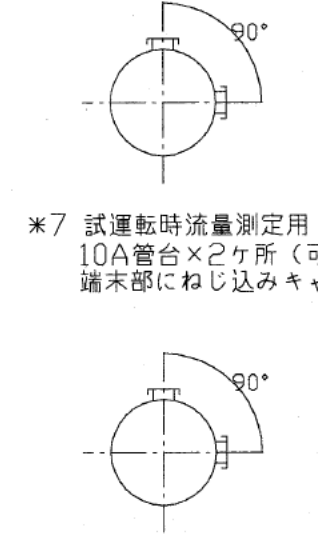
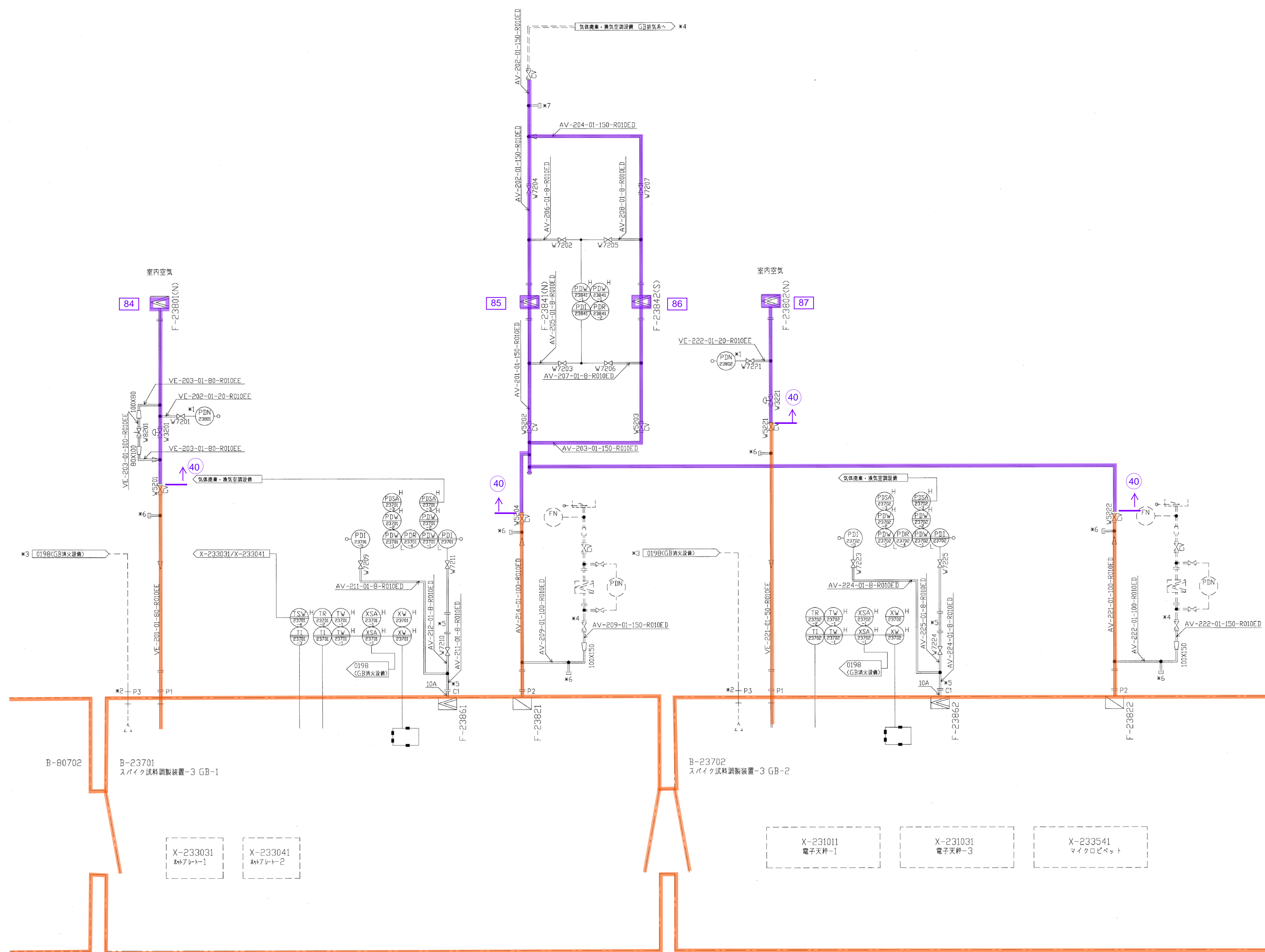
客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロー図 (B-21701,B-21702) I程:0163(GB) (4/18)		



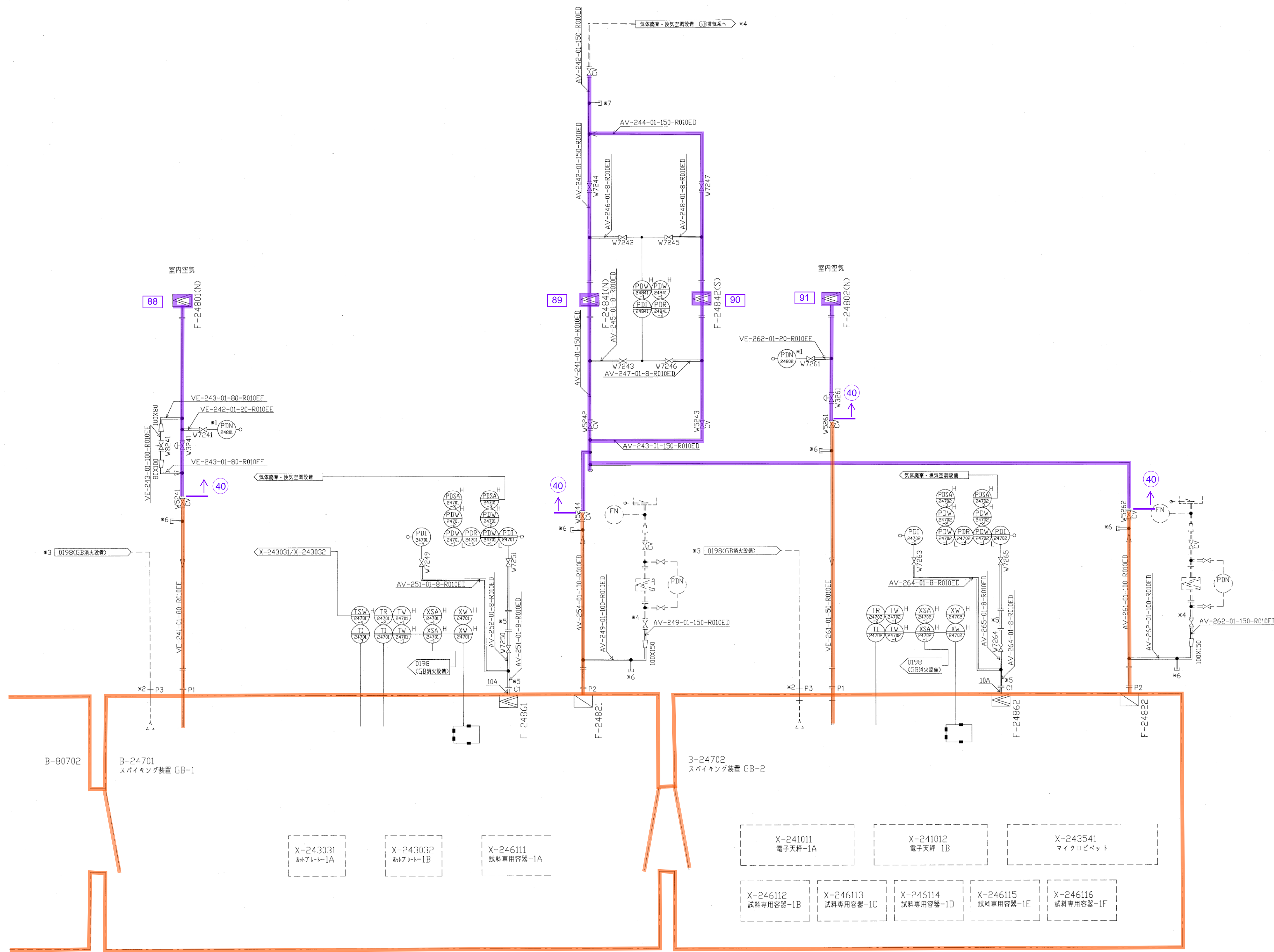
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別製第2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- *1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
 - *4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径ファンジ(BAX10A)。
 - *6 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
 - *7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。



客先名	日本原燃株式会社	オーダ/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロア図 (B-22701,B-22702) I程:0163(GB) (5/18)		



客先名	日本原燃株式会社	オーナーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルトニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロ-図 (B-23701,B-23702) 工程:0163(GB) (6/18)		



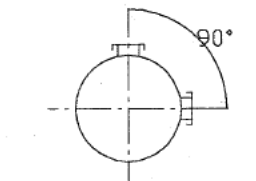
備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
	貫通口

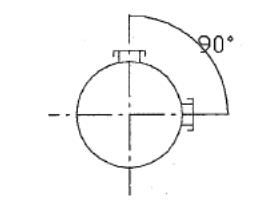
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに異しては別御第2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- *1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ処置を施す。
- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
- *4 グローボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径フランジ(8AX10A)。
- *6 試運転時流量測定用
10A相当×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



*7 試運転時流量測定用
10A相当×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端部にねじ込みキャップ処置を施す。



43,200

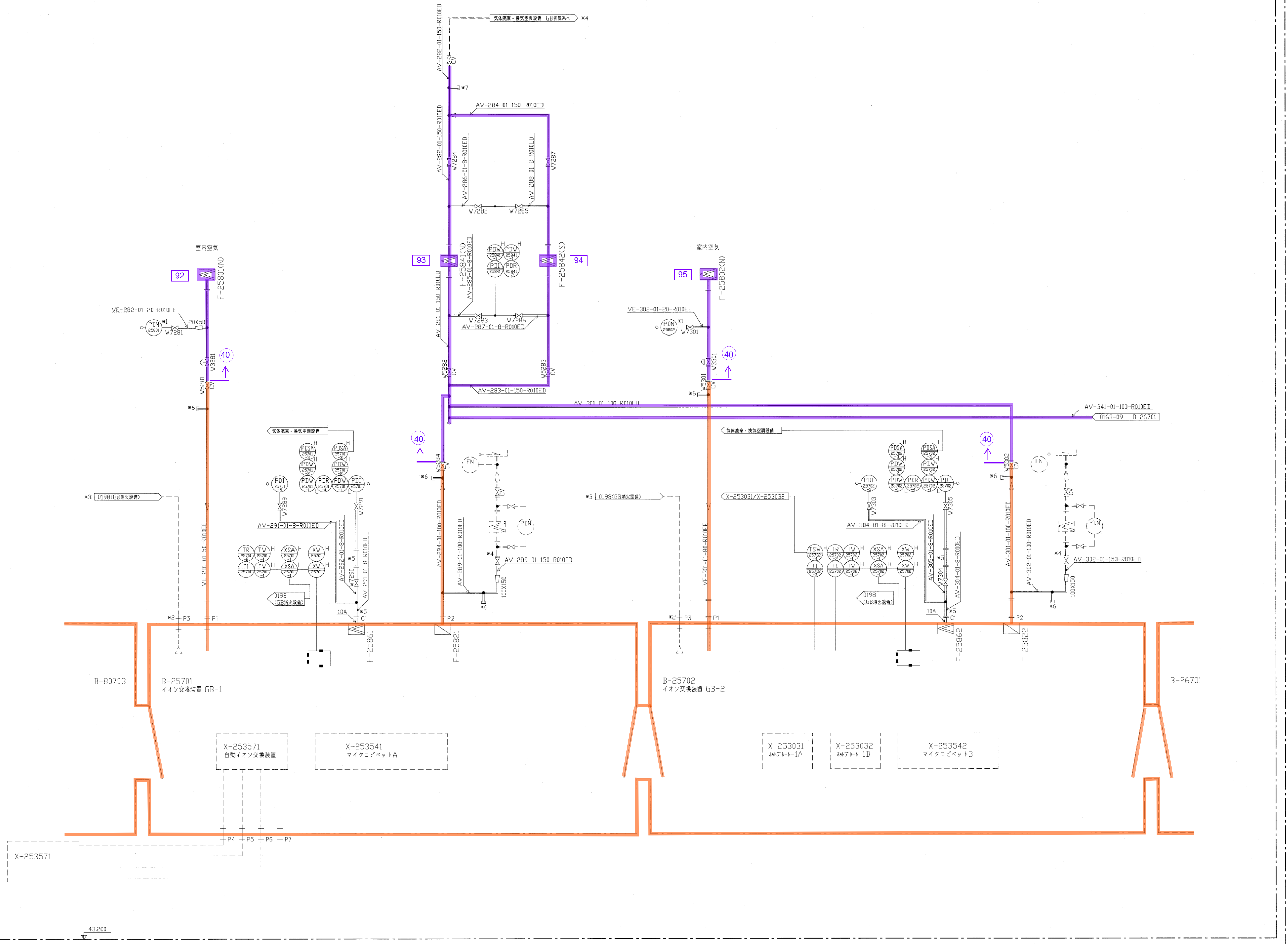
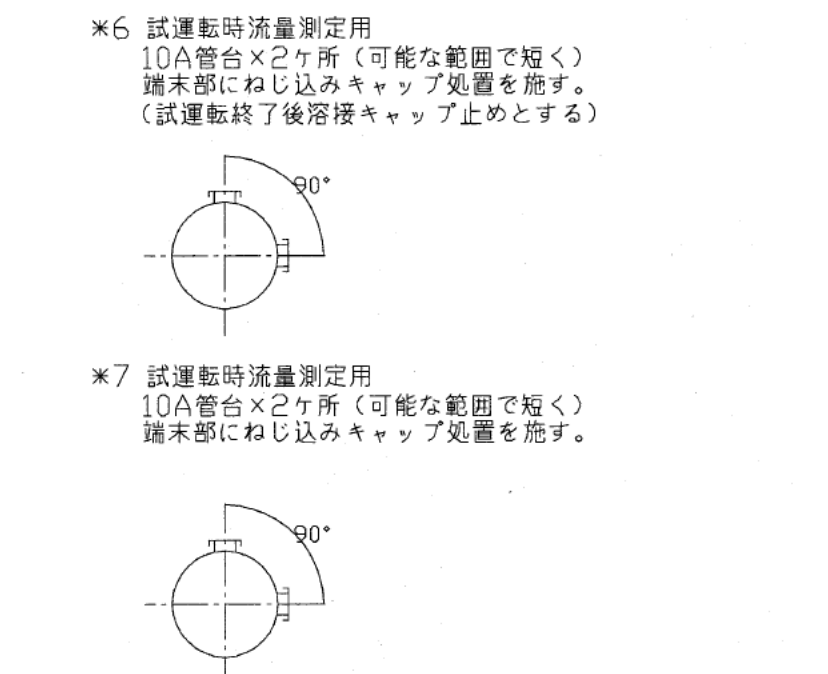
発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロ-図 (B-24701,B-24702) 工程:0163(GB) (7/18)		

備考

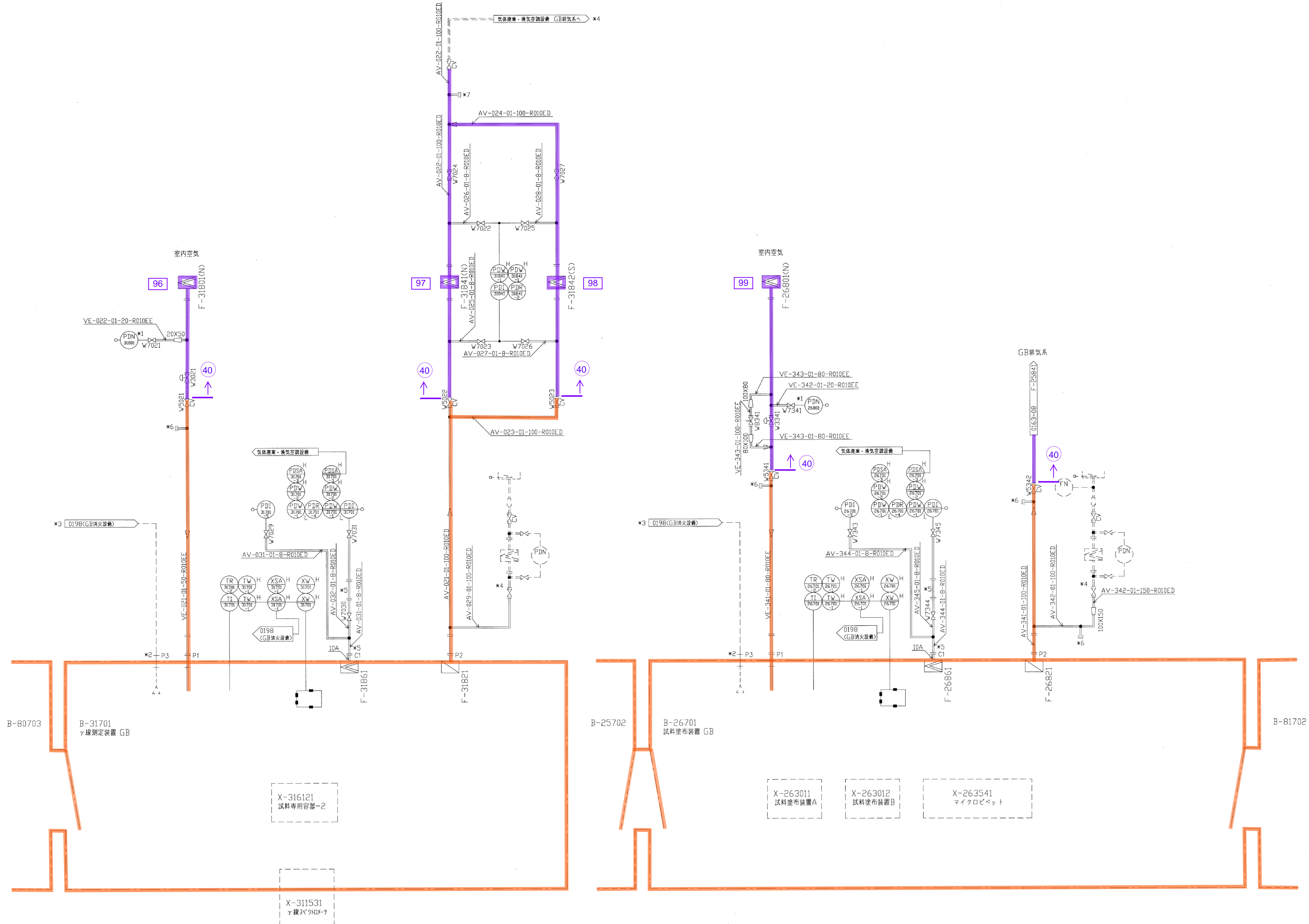
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。
(凡例)

記号	名称
II	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- *1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
 - *4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径フランジ(8AX10A)。



客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	資料区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) アルトニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロ-図 (B-25701, B-25702) 工程: 0163 (GB) (8/18)		



(凡例)

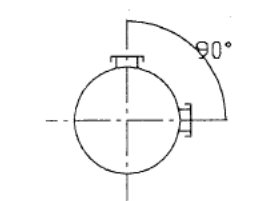
記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。

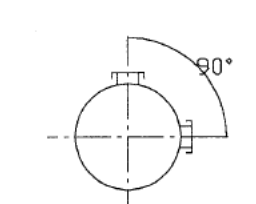
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- ※1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ処置を施す。
- ※2 給気口近傍に設置する。
- ※3 防消火設備(GB消火設備) EFD参照。
- ※4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- ※5 異径フランジ (8AX10A)。

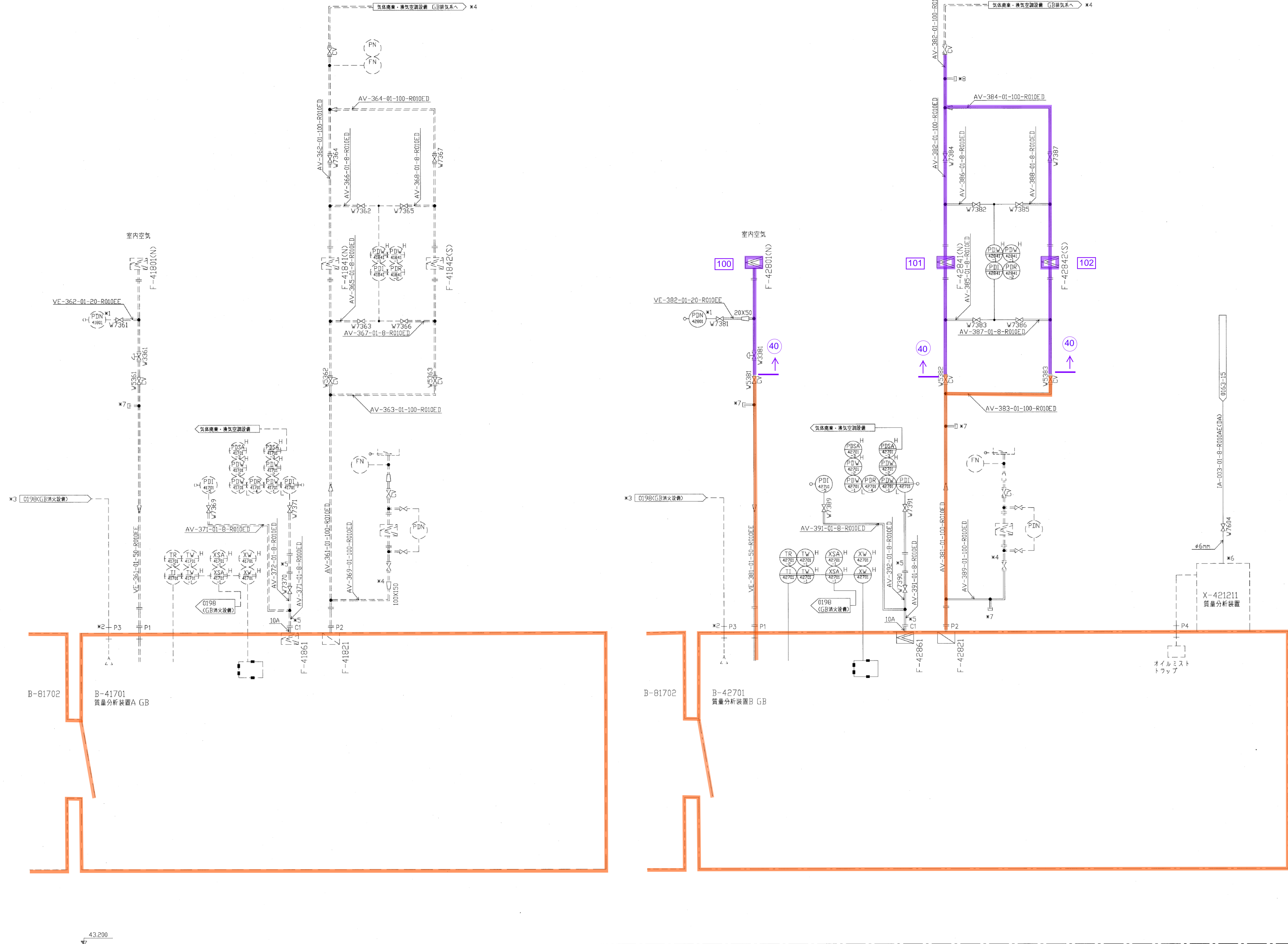
※6 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後戻りキャップ止めとする)



※7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端部にねじ込みキャップ処置を施す。



発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) アルトニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロア (B-31701,B-26701) 工程:0163 (GB) (9/18)		



備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

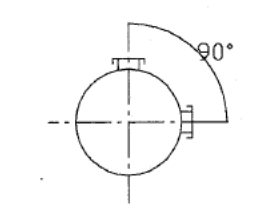
(凡例)

記号	名称
	消火器

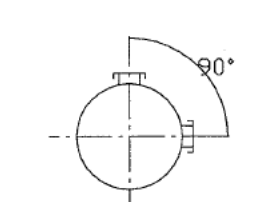
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに異しては制御室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- *1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ処置を施す。
- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 防消火設備 (GB消火設備) EFD参照。
- *4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径ファンジ (8AX10A)。
- *6 分析機器配管図 (PM-0163-4141-001)参照。
- *7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後戻りキャップ止めとする)

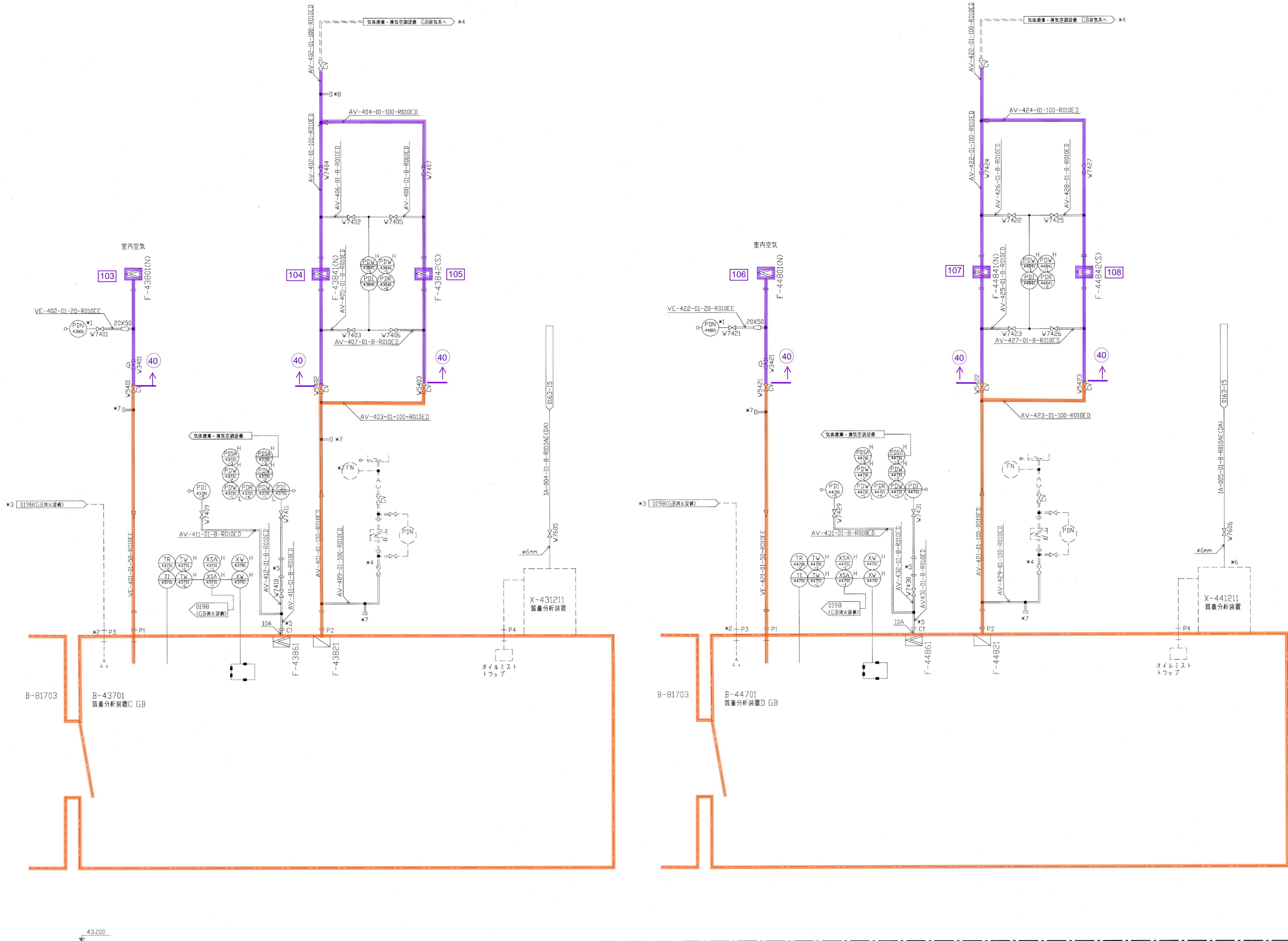


- *8 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端部にねじ込みキャップ処置を施す。



4. B-41701は将来設置。

客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロア (B-41701, B-42701) 工程: 0163 (GB) (10/18)		



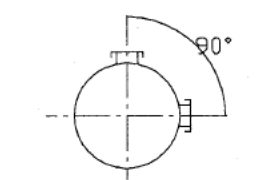
備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
	ガス供給系

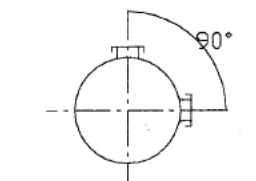
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

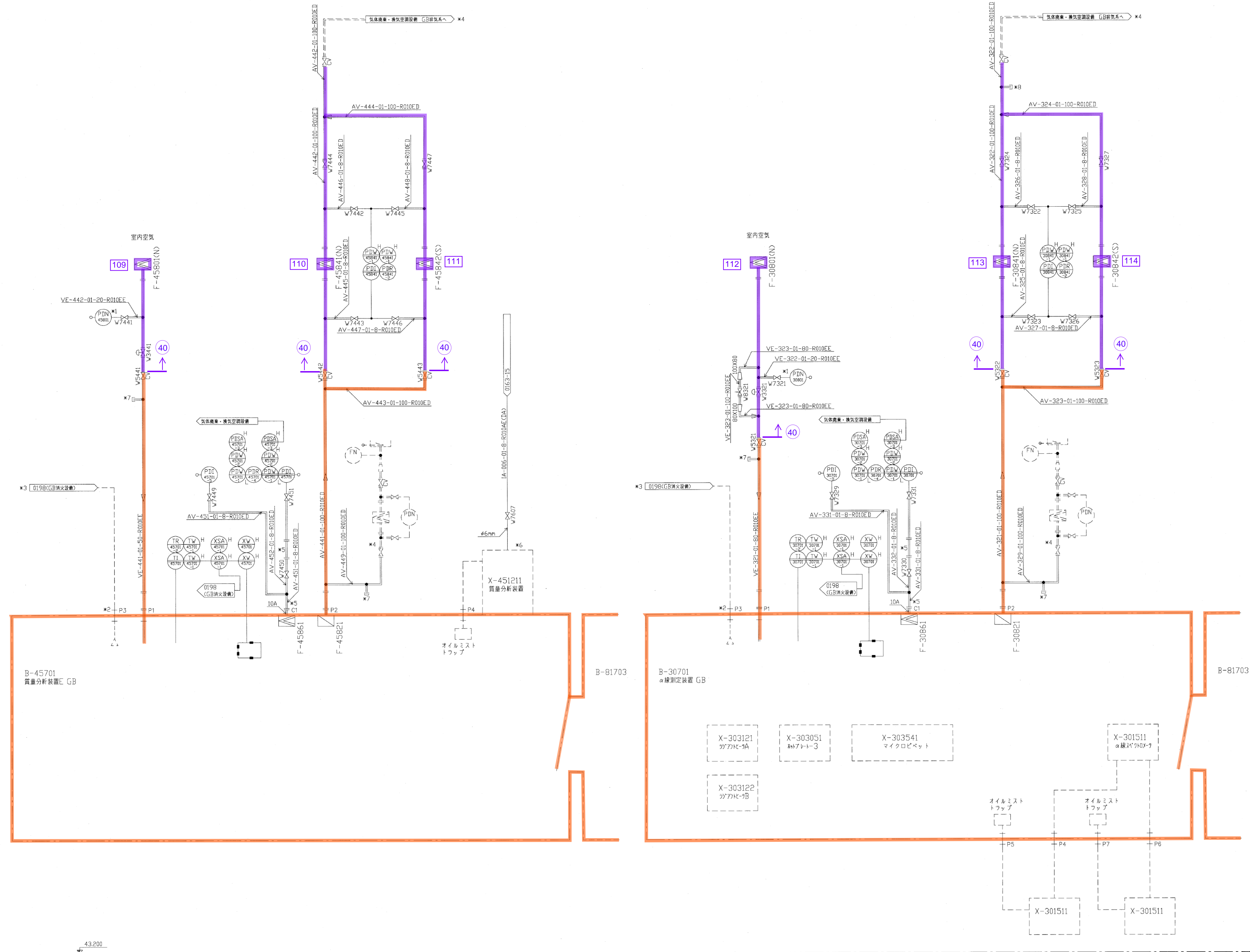
- *1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 防消火設備(GB消火設備) EFD参照。
- *4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径フランジ (8AX10A)。
- *6 分析機器配管線図 (PM-0163-4141-001)参照。
- *7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



- *8 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。



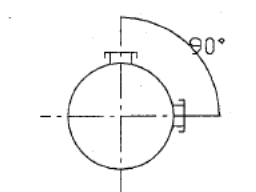
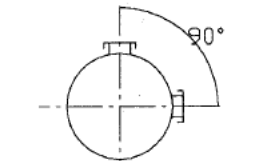
製先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) アルミニウム・フッ素分析設備 エンジニアリングフロア図 (B-43701, B-44701) 工程: 0163 (GB) (11/18)		



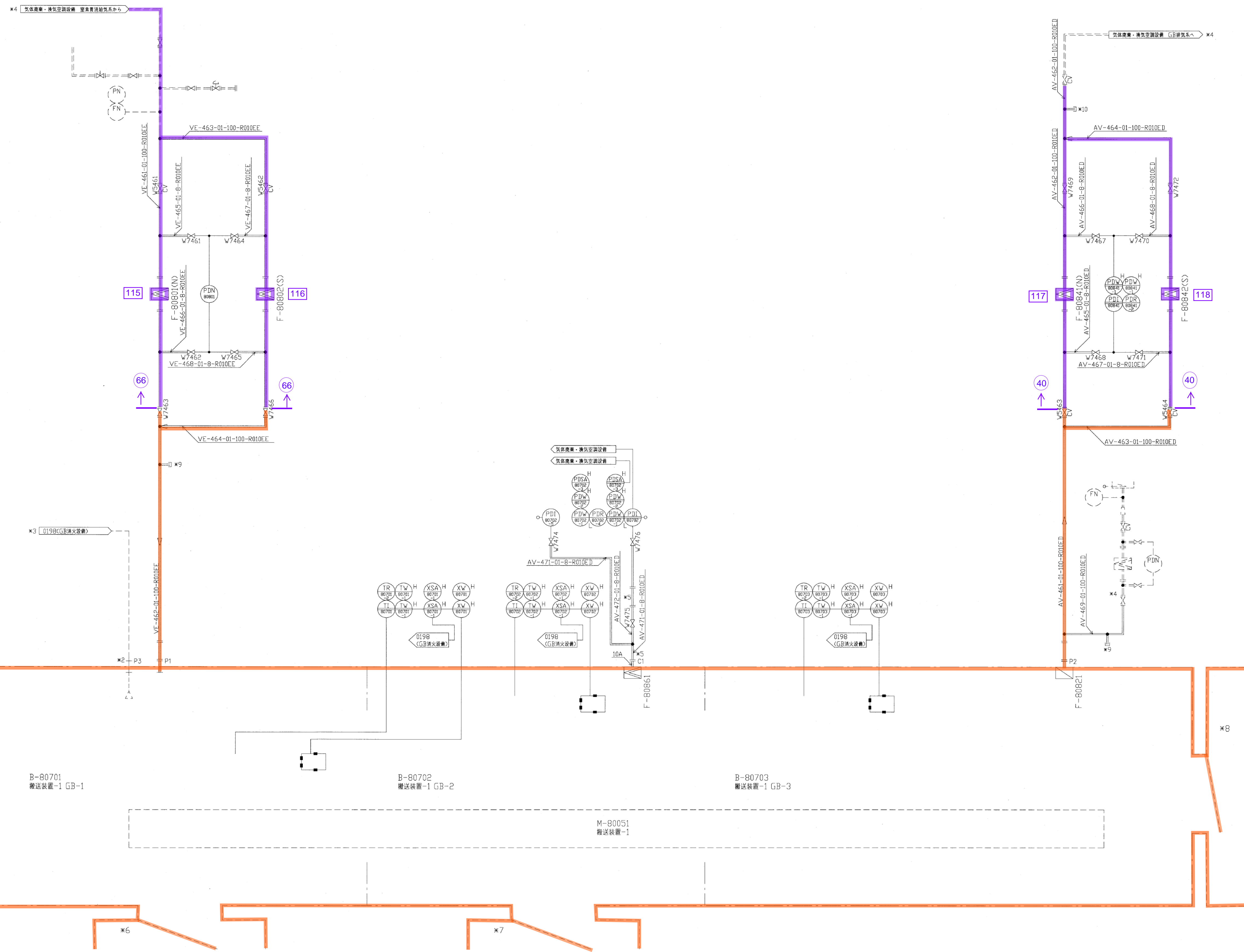
備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
⊥	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに關しては制御室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- *1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
 - *4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径フランジ(BAX10A)。
 - *6 分析機器配管配線図(PM-0163-4141-001)参照。
 - *7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
 - *8 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。



発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロ-図 (B-45701, B-30701) 工程:0163 (GB) (12/18)		



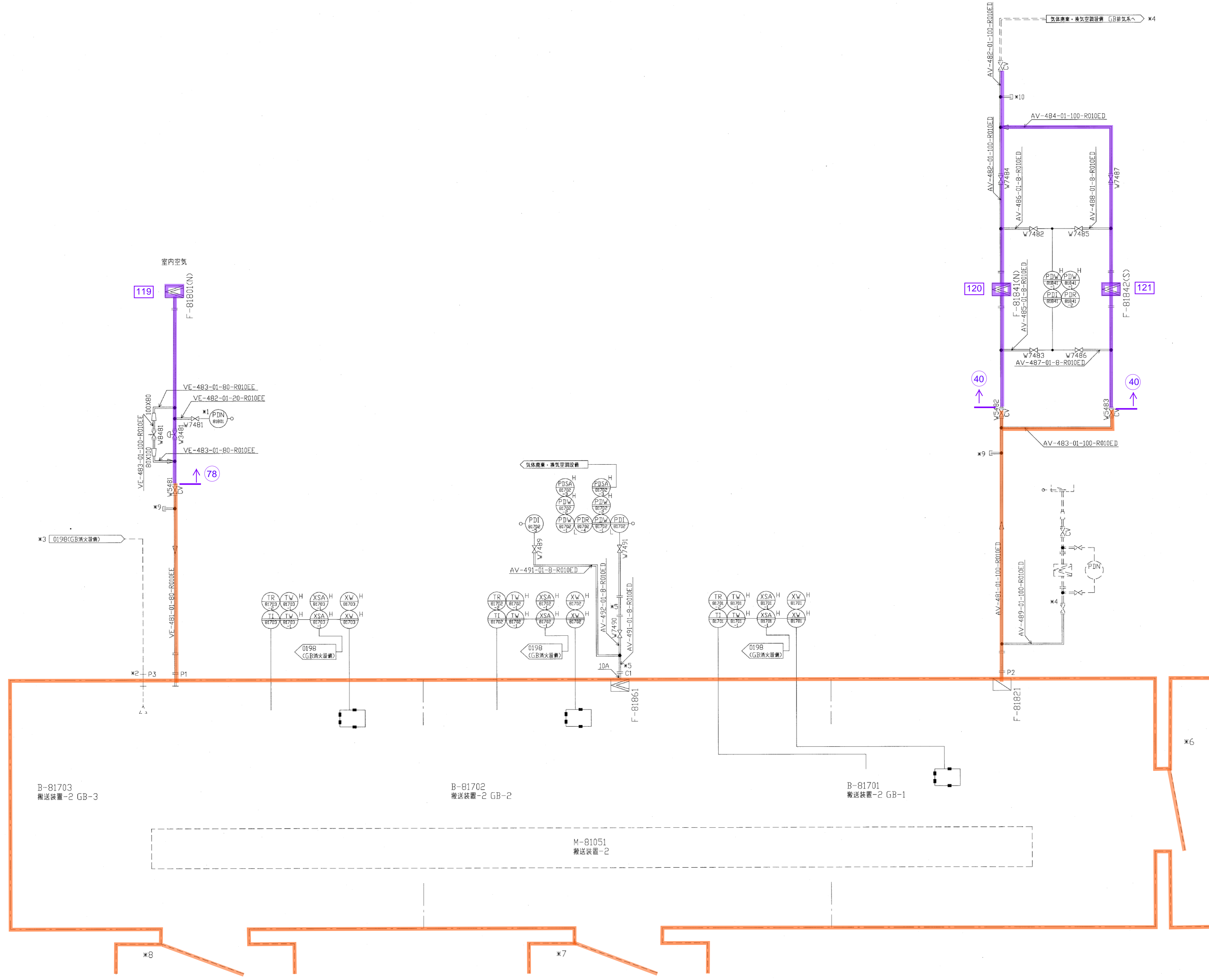
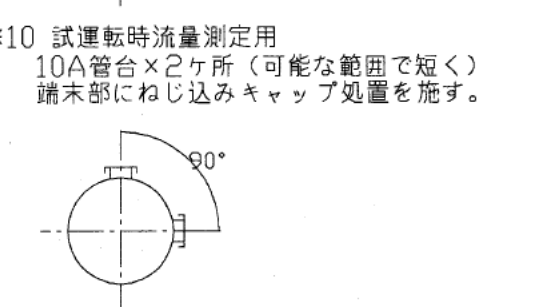
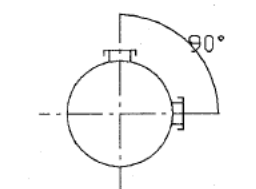
製先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルトニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロア図 (B-80701, B-80702, B-80703) 工程: 0163 (GB) (13/18)		

備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

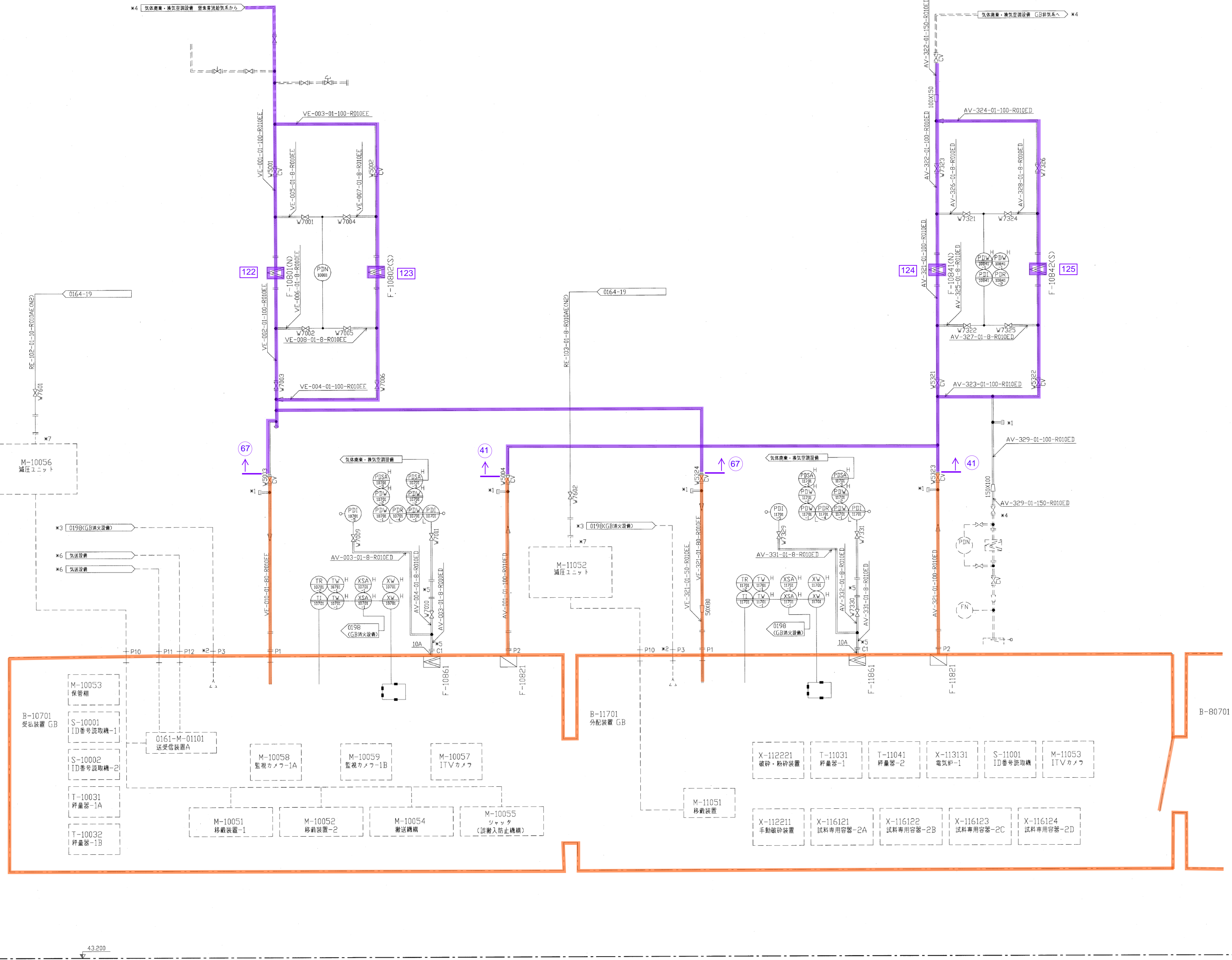
記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては、制御室にも表示する。
3. 注記（本図中の注記は下記に示す通り）

- *1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 防消火設備（GB消火設備）EFD参照。
- *4 グローブボックス廻り換気系統図（PM-0171-4422-002）参照。
- *5 異径フランジ（8AX10A）。
- *6 B-81701と隣接するグローブボックスは以下の通り。B-46701
- *7 B-81702と隣接するグローブボックスは以下の通り。B-26701, B-41701, B-42701
- *8 B-81703と隣接するグローブボックスは以下の通り。B-30701, B-43701, B-44701, B-45701
- *9 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所（可能な範囲で短く）
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
（試運転終了後密接キャップ止めとする）



客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋（PA） 分析設備（G） アルトニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロア図 （B-81701, B-81702, B-81703） 工程：0163（GB）（14/18）		



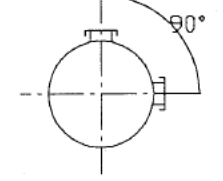
備考

1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

記号	名称
⊥	普通口

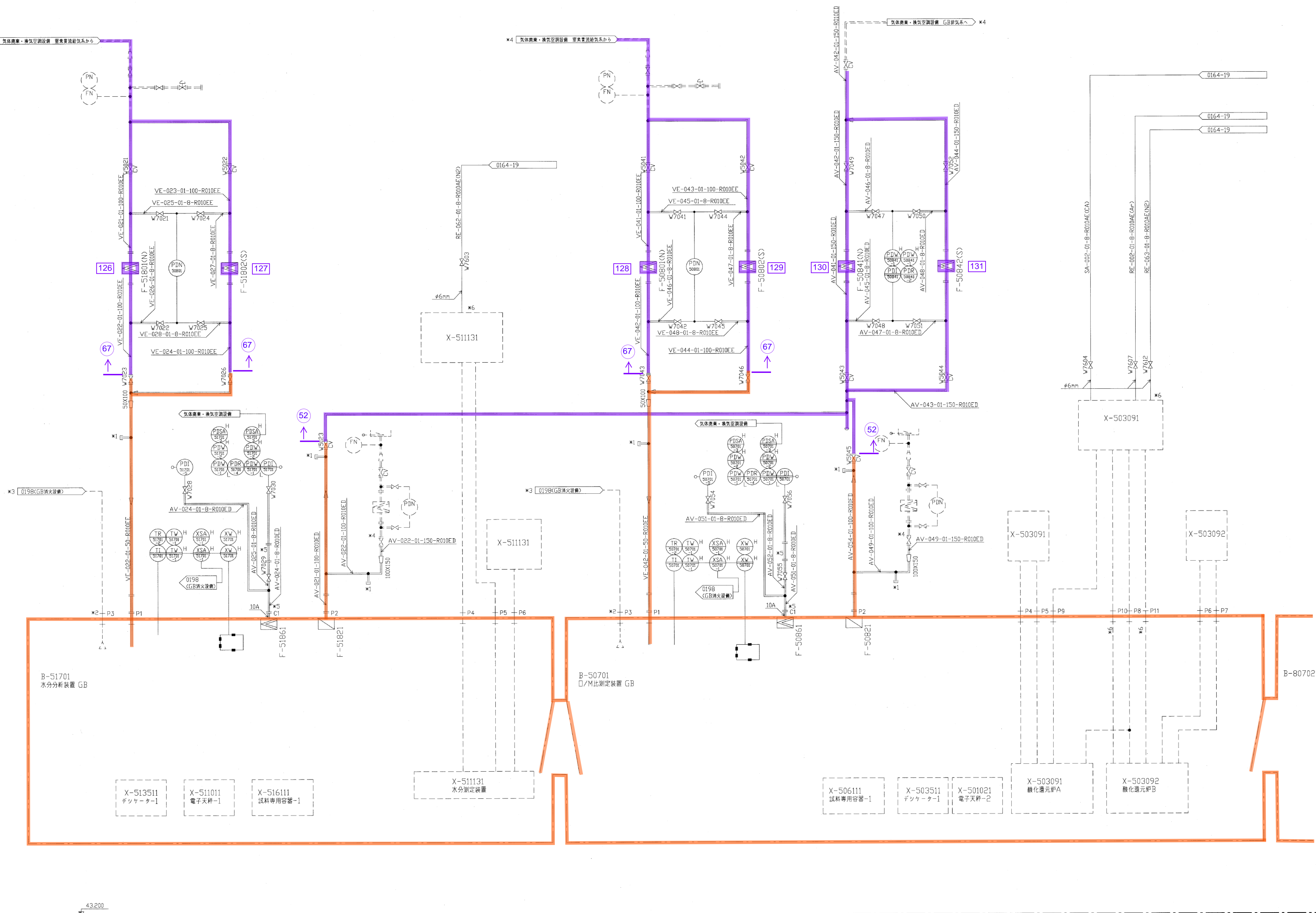
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別御室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- *1 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 補末部にねじ込みキャップ取付を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
 - *4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径ファンジ(BAX10A)参照。
 - *6 気送設備EFD(PF-0161-4122-001)参照。
 - *7 受払装置・分配装置及び搬送設備取扱説明書(PM-0164-4368-001)参照。



- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- *4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径ファンジ(BAX10A)参照。
- *6 気送設備EFD(PF-0161-4122-001)参照。
- *7 受払装置・分配装置及び搬送設備取扱説明書(PM-0164-4368-001)参照。

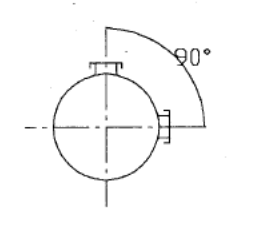
発注先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-10701,11701) 工程:0164(GB) (1/22)		

313分析室2室

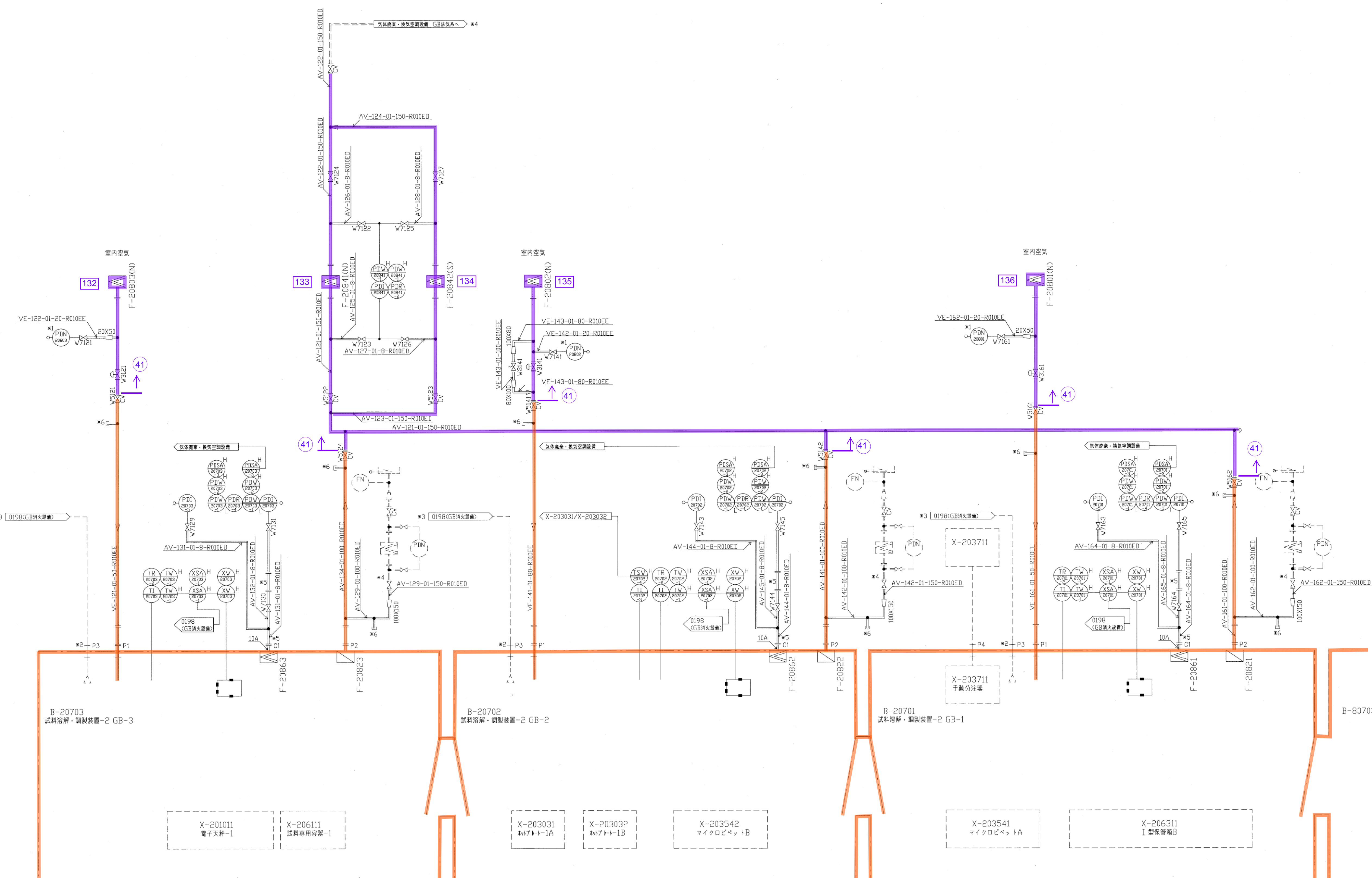


- 備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
...	貫通口
 2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別冊2室にも表示する。
 3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
 - *1 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 端部にねじ込みキャップ取付を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
 - *4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 真程ファンジ(BAX10A)。
 - *6 分析機器配管系統図(PM-0164-4141-001)参照。

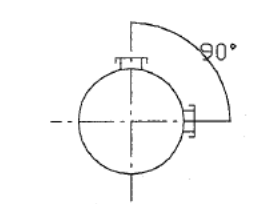


客先名	日本原燃株式会社	オーダーファイル	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジェリアリングフロア図 (B-50701, B-51701) 工程: 0164 (GB) (2/22)		

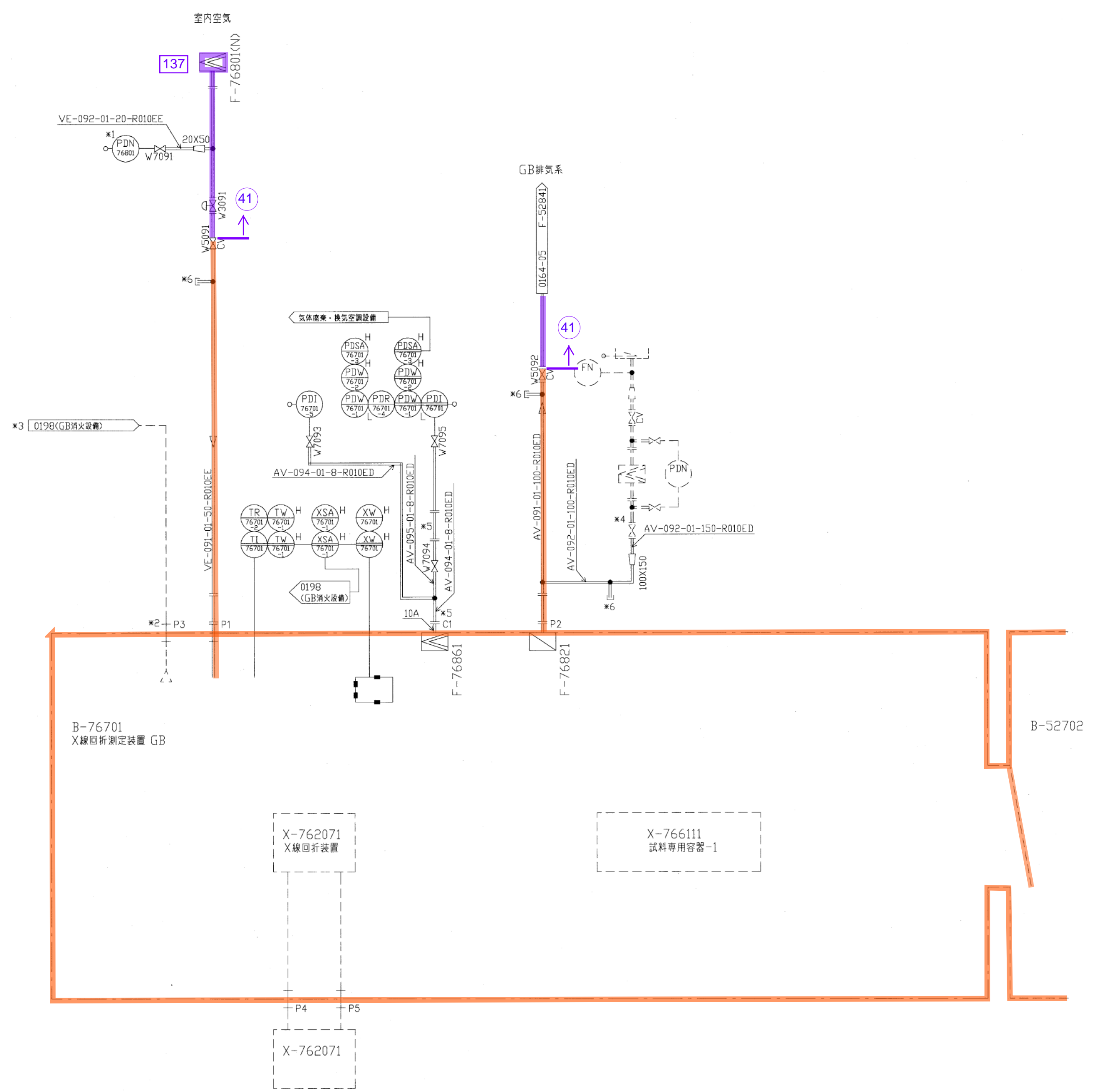


記号	名称
[Symbol]	普通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに異しては、制御室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- *1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 防消火設備(GB防消火設備) EFD参照。
 - *4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径ファンジ (BAX10A)。
 - *6 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後キャップ止めとする)



客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロア図 (B-20701,20702,20703) 工程:0164(GB) (3/22)		



備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

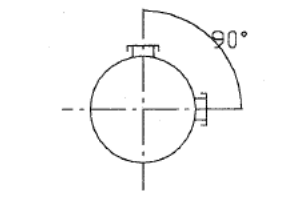
(凡例)

記号	名称
	貫通口

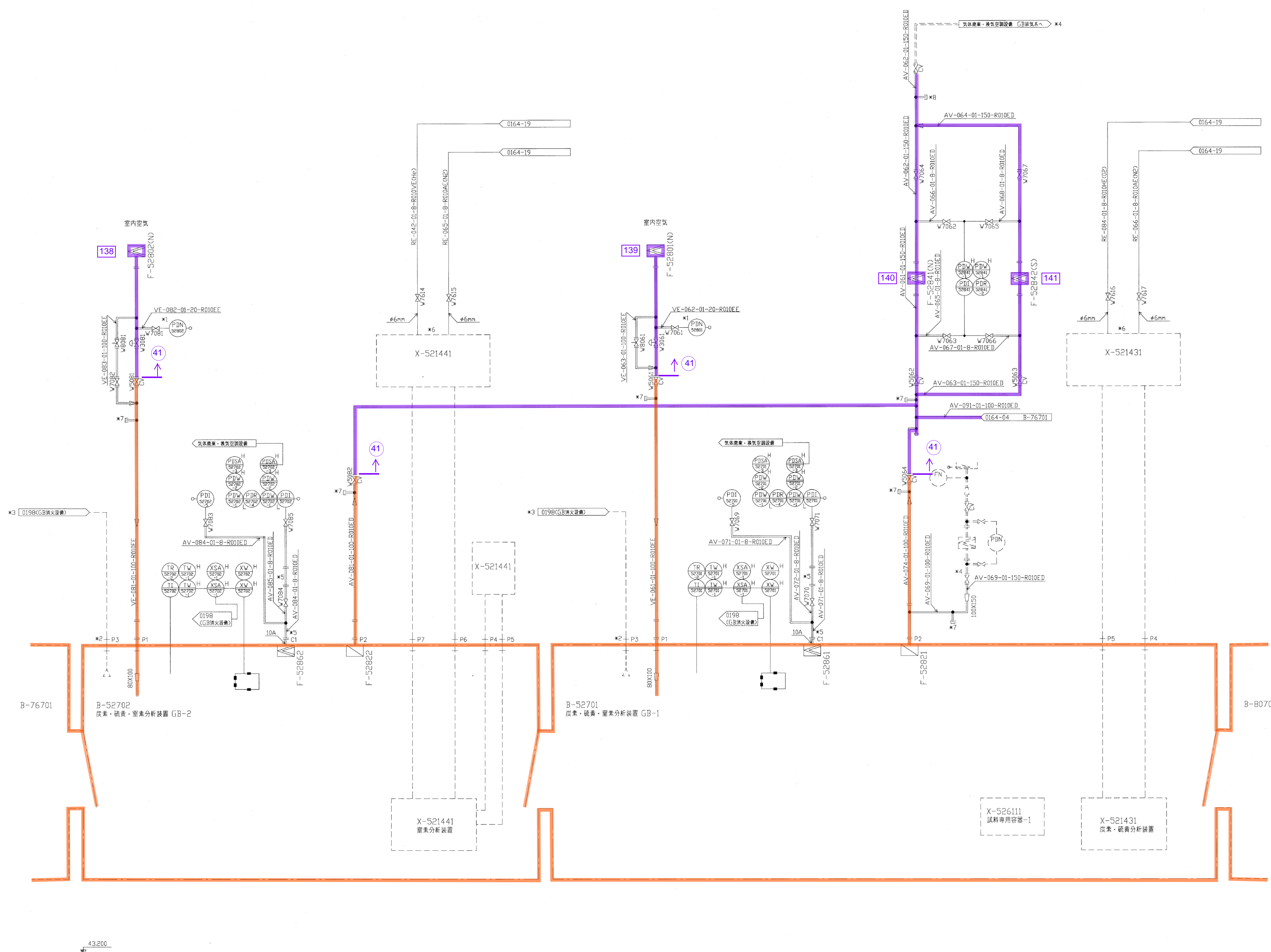
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室2室にも表示する。

3. 注記 (本図中の注記は下記に示す通り)

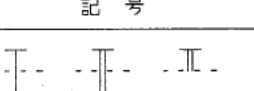
- *1 仮設計等取外し時、端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 消防火設備 (GB消火設備) EFD参照。
- *4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径フランジ (BAX10A)。
- *6 試運転時流量測定用 10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-76701) 工程: 0164 (GB) (4/22)		

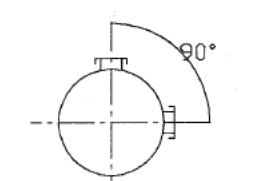


備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

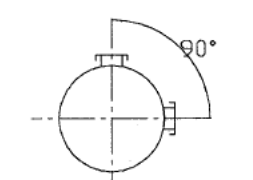
記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては
制御室2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

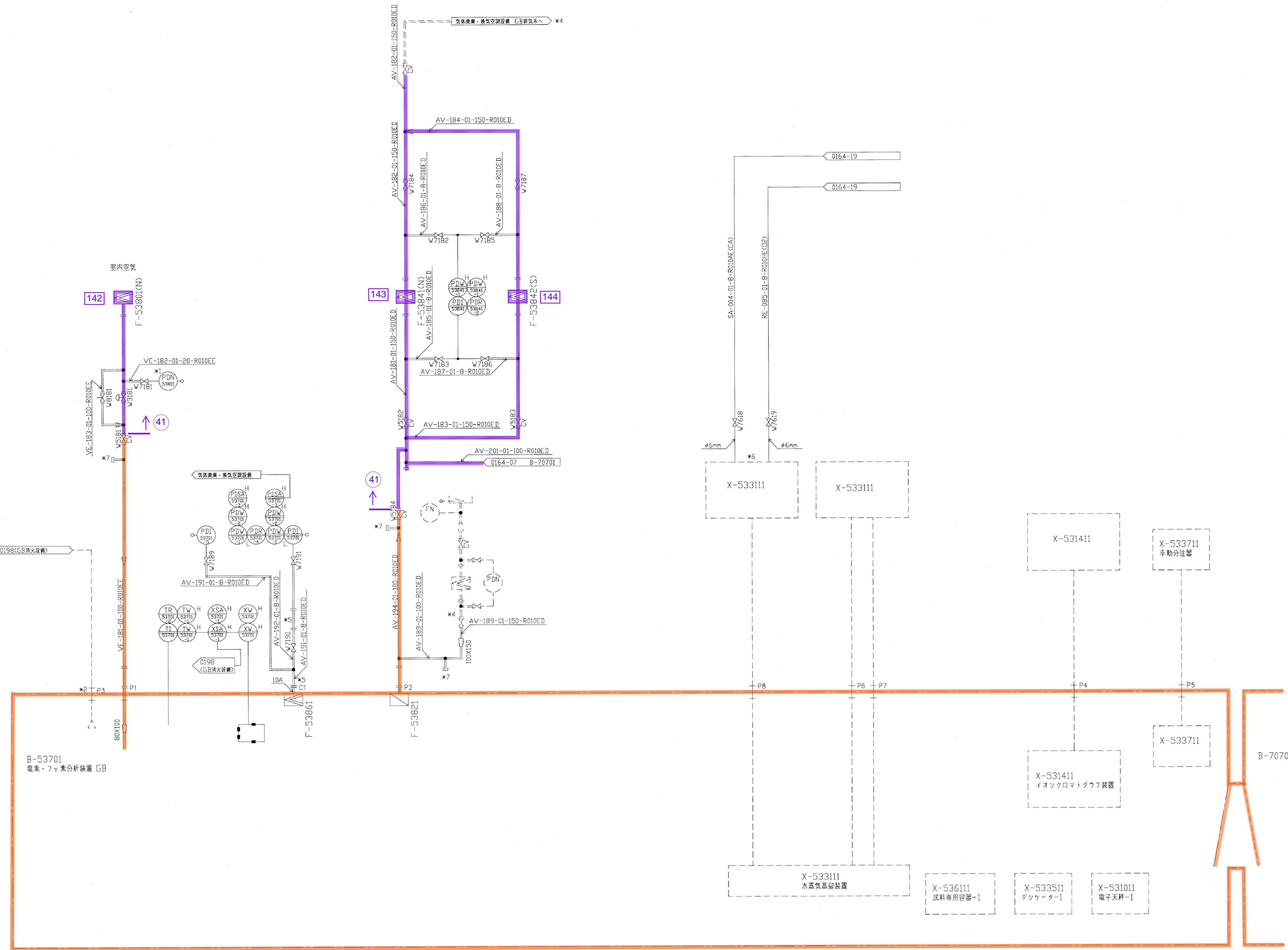
- *1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ
処置を施す。
- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
- *4 クロップボックス廻り換気系統図
(PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径フランジ(BAX10A)。
- *6 分析機器配管様式
(PM-0164-4141-001)参照。
- *7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



- *8 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。



客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-52701,52702) 工程:0164(GB) (5/22)		

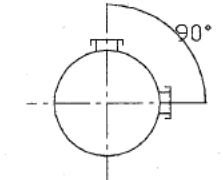


(凡例)

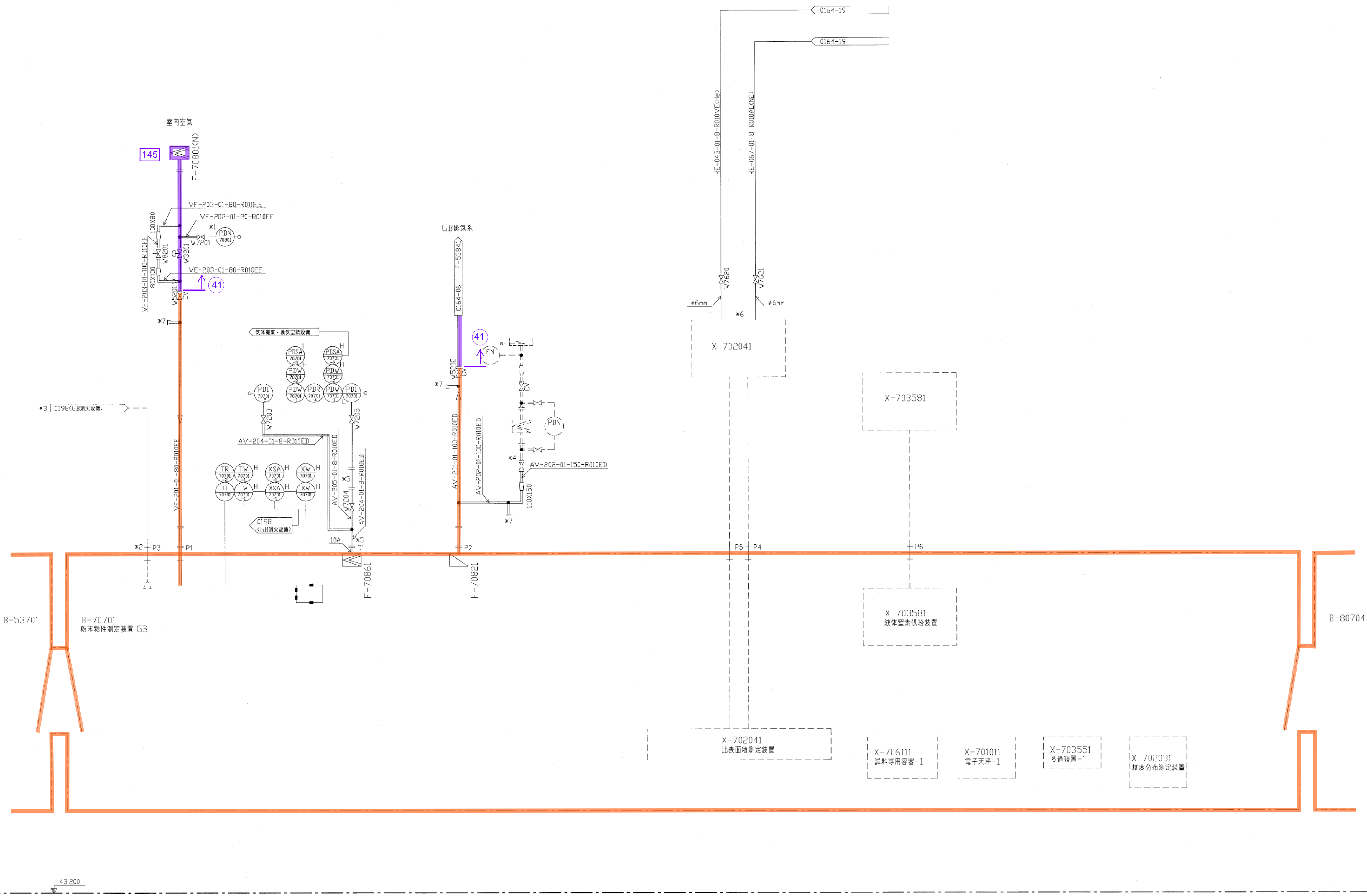
記号	名称
⊥	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別室第2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- ※1 仮設計器取外し時、継末部におじ込みキャップ処置を施す。
- ※2 給気口近傍に設置する。
- ※3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- ※4 グローボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- ※5 異径フランジ(BAX10A)。
- ※6 分析機器配管図(PM-0164-4141-001)参照。
- ※7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
継末部におじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-53701) 工程:0164(GB) (6/22)		

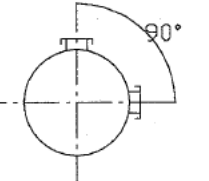


備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

記号	名称
	警報口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては
制御第2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- *1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ
設置を施す。
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
 - *4 グローブボックス廻り換気系統図
(PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径フランジ(BAX10A)。
 - *6 分析機器配管線図
(PM-0164-4141-001)参照。
 - *7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ設置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



会社名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-70701) 工程: 0164 (GB) (7/22)		

備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

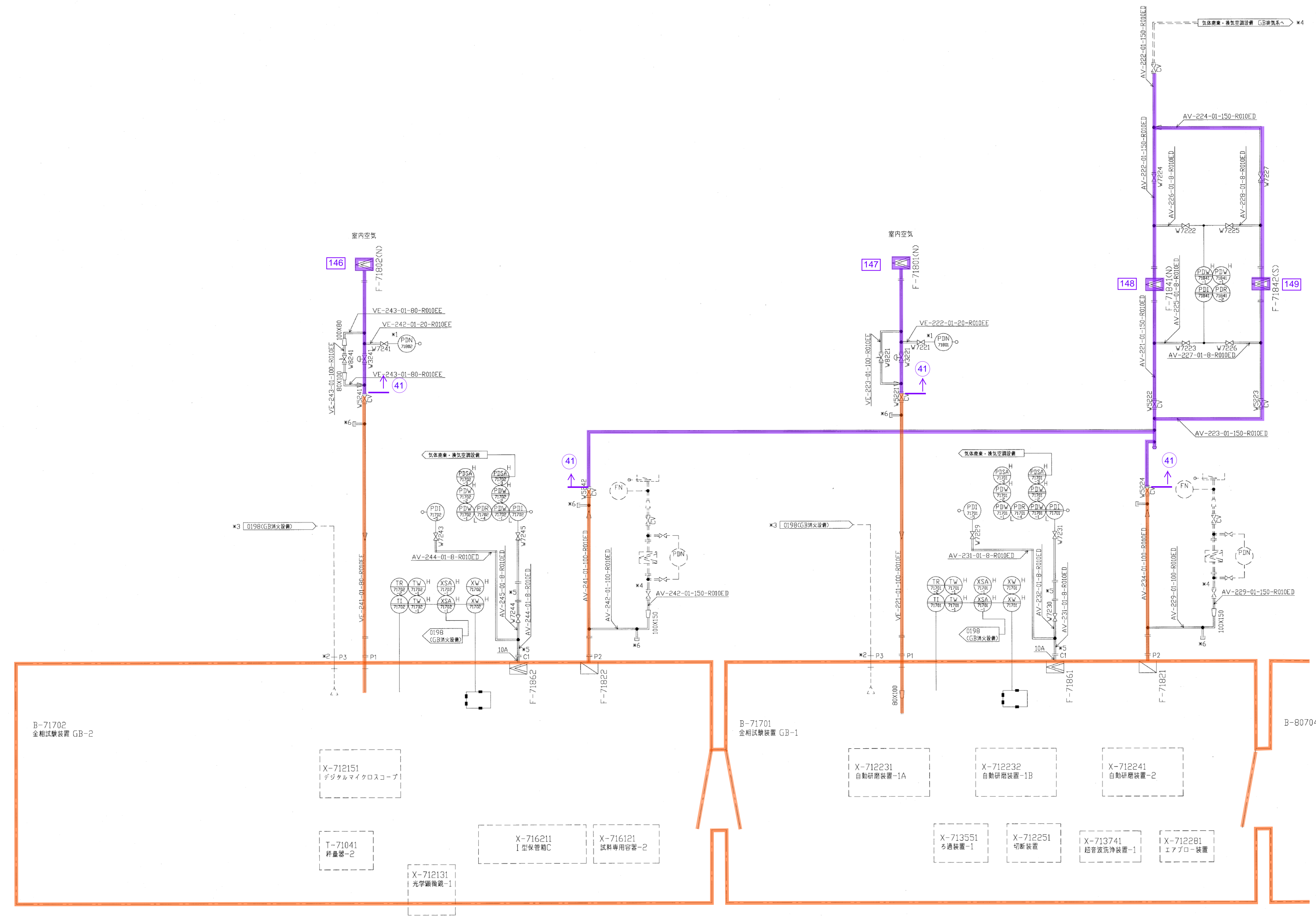
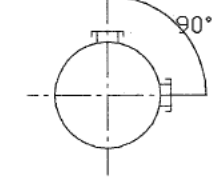
〈凡例〉

記号	名称
⋯⋯	貫通口

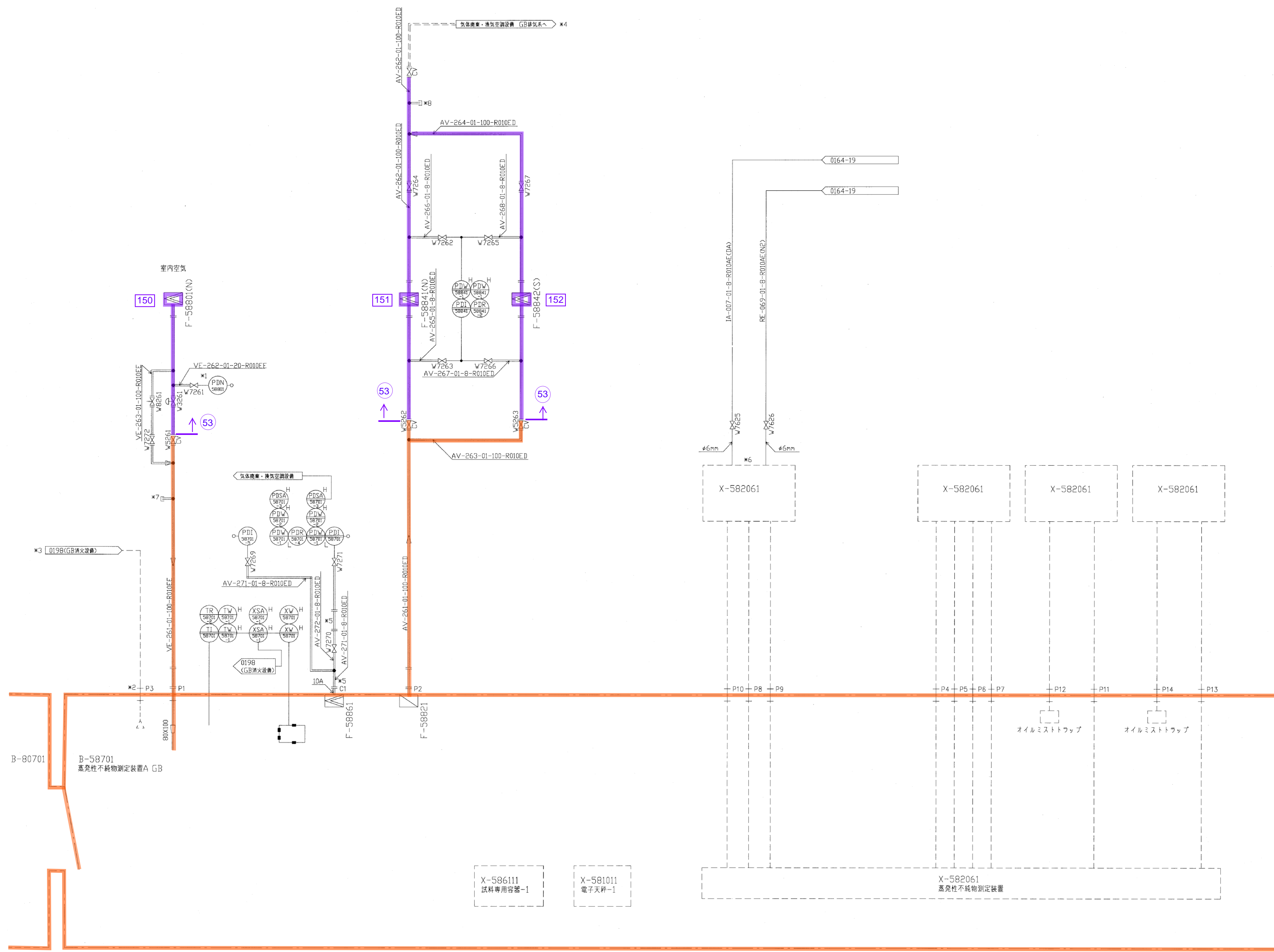
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに同じでは別室第2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- *1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ設置を施す。
- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- *4 クローボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径フワンジ(8AX10A)。
- *6 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ設置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



発注先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロア図 (B-71701,71702) 工程:0164(GB) (8/22)		

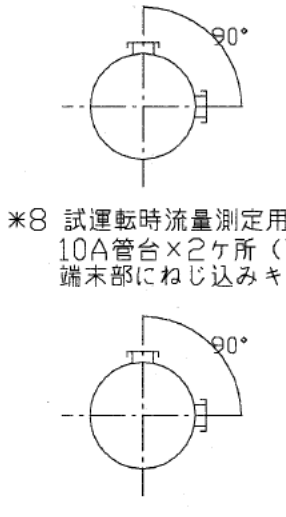


備考

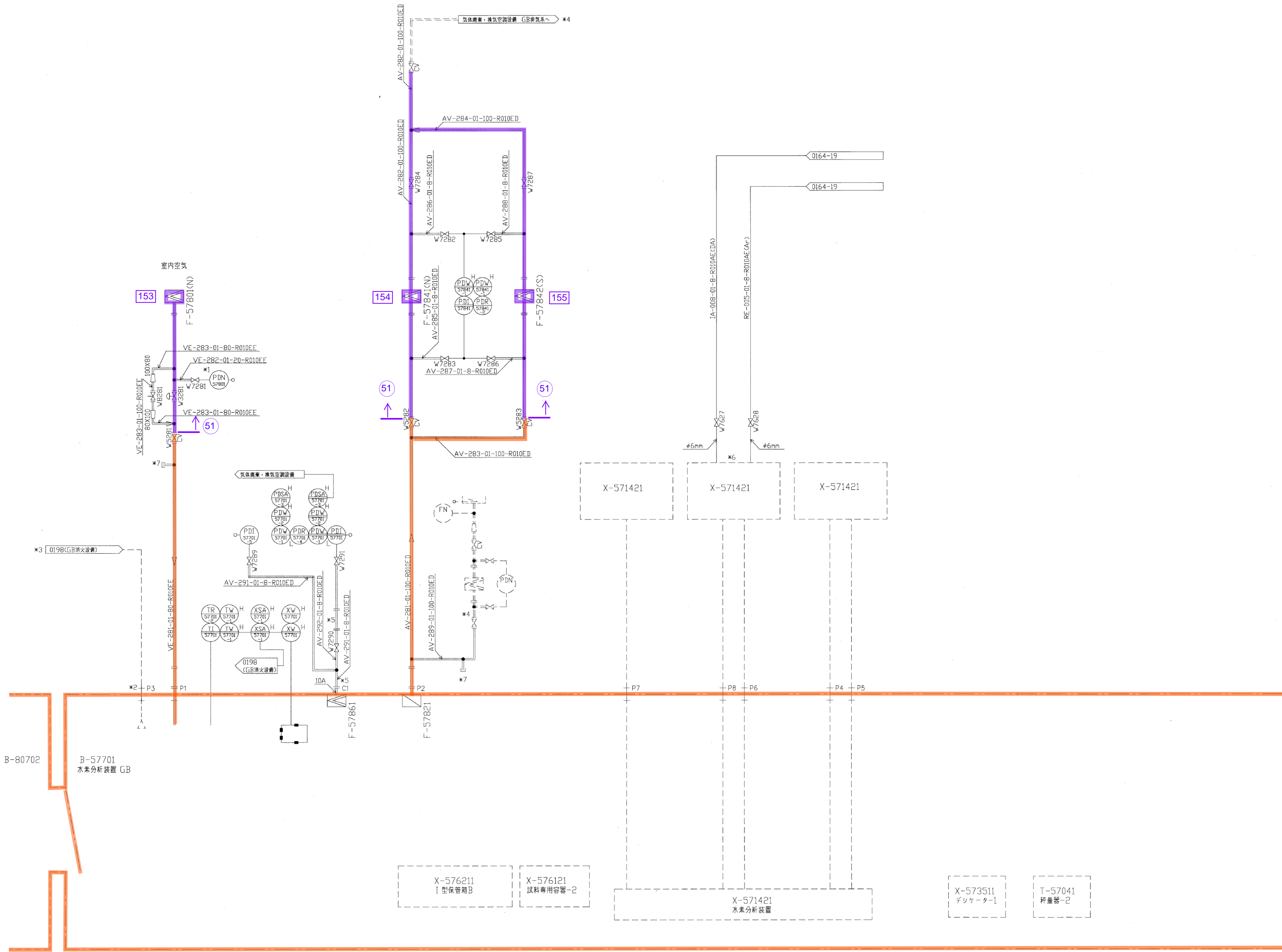
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- *1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
 - *4 クロップボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径フランジ(BAX10A)。
 - *6 分析機器配管線図(PM-0164-4141-001)参照。
 - *7 試運転時流量測定用 10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 請末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
 - *8 試運転時流量測定用 10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 請末部にねじ込みキャップ処置を施す。

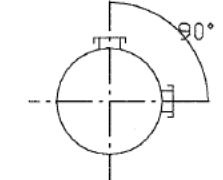


発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-58701) 工程:0164 (GB) (9/22)		

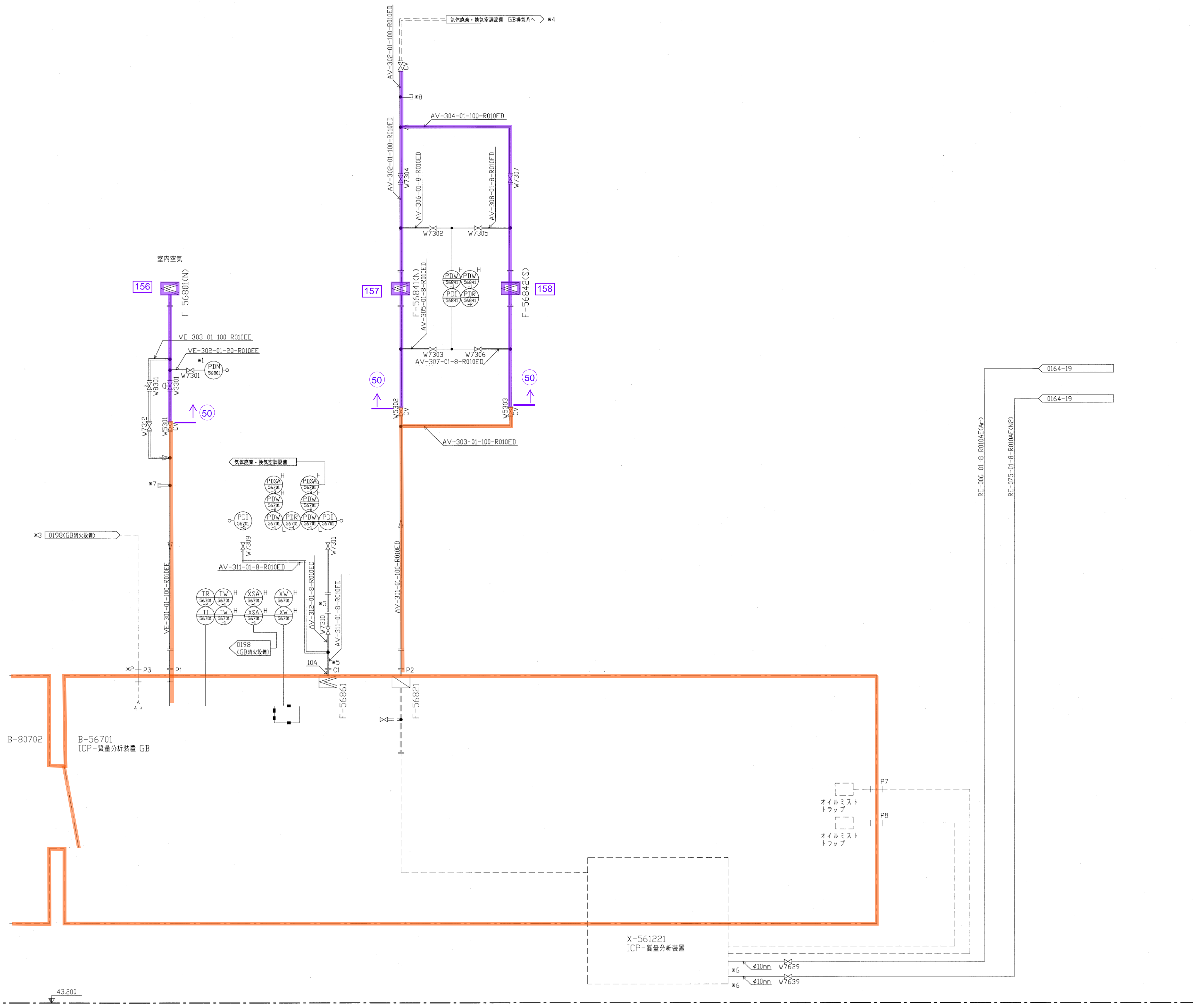


- 備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。
 (凡例)

記号	名称
	貫通口
 2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別図第2室にも表示する。
 3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
 - *1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ設置を施す。
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 消防火設備(GB消火設備)EFD参照。
 - *4 クロップボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径フランジ(BAX10A)。
 - *6 分析機配管配線図(PM-0164-4141-001)参照。
 - *7 試運転時流量測定用10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)詰末部にねじ込みキャップ設置を施す。(試運転終了後詰末キャップ止めとする)



※先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-57701) 工程:0164 (GB) (10/22)		



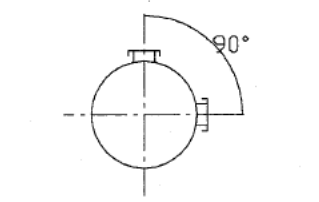
(凡例)

記号	名称
	貫通口

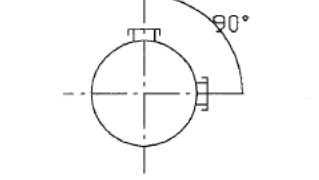
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別図第2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

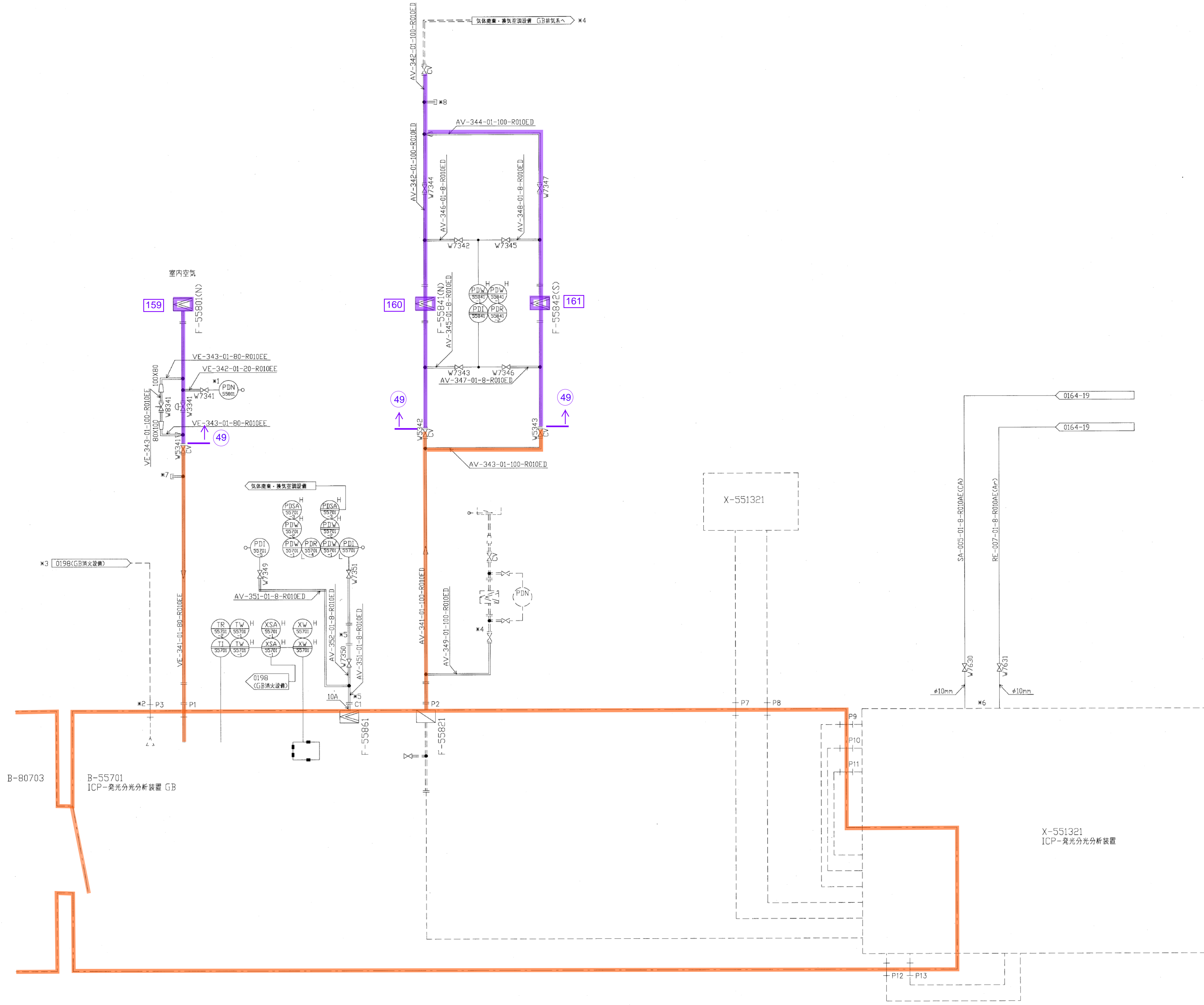
- *1 仮設計器取外し時、端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- *4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径フランジ(BAX10A)。
- *6 分析機器配管線図(PM-0164-4141-001)参照。
- *7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



*8 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端末部にねじ込みキャップ処置を施す。



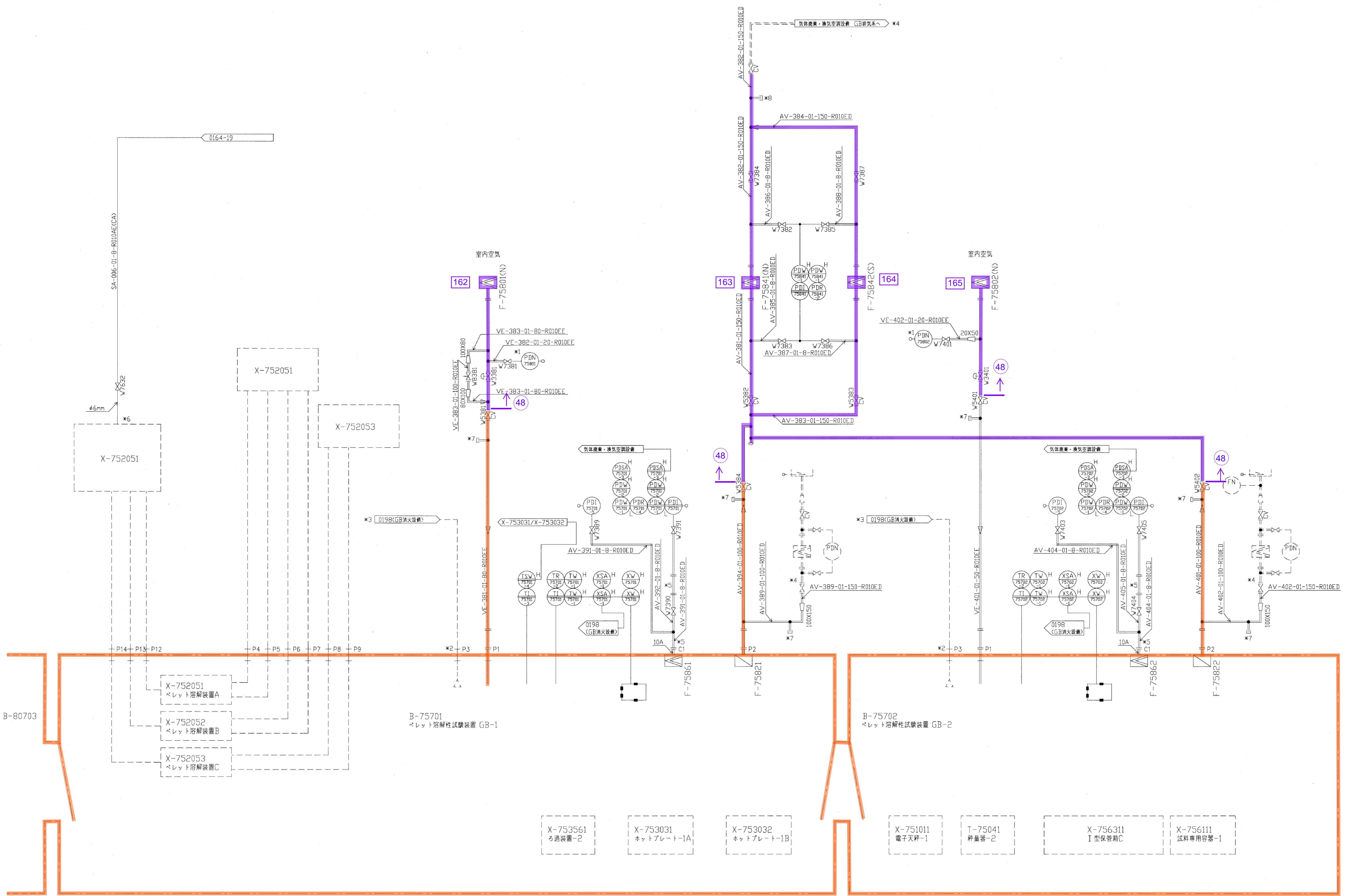
客先名	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-56701) 工程: 0164 (GB) (11/22)		



- 備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。
 (凡例)

記号	名称
	貫通口
 2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。
 3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
 - *1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ処置を施す。
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 消防火設備(GB消防設備)EFD参照。
 - *4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径フランジ(8AX10A)。
 - *6 分析機器配管配線図(PM-0164-4141-001)参照。
 - *7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)端部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
 - *8 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)端部にねじ込みキャップ処置を施す。

発注先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-55701) 工程:0164(GB) (12/22)		

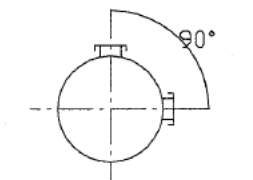


備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

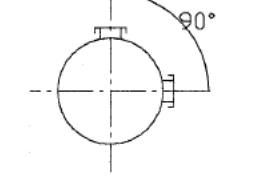
記号	名称
	消火器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別冊2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

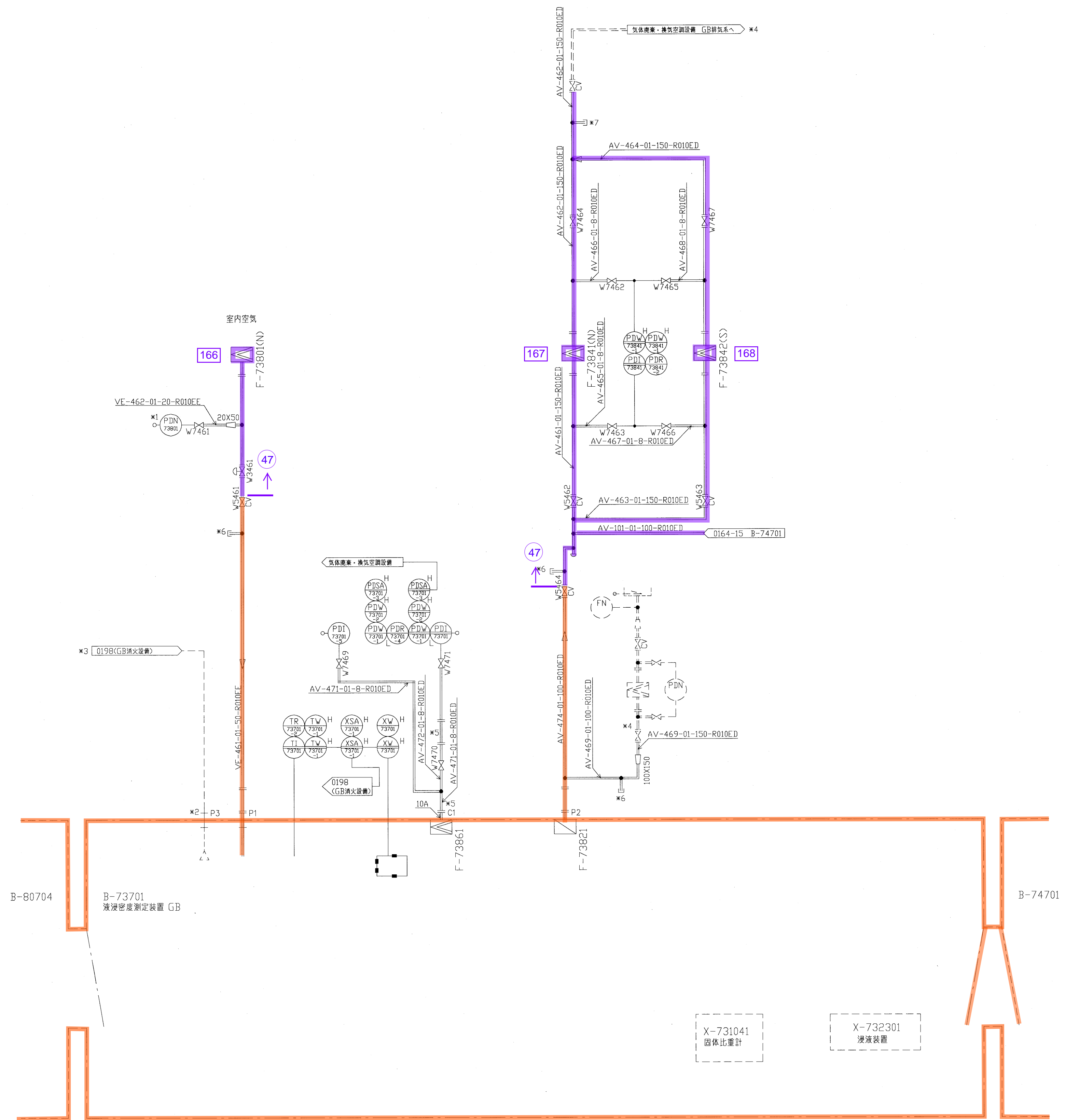
- *1 仮設計器取外し時、積末部にねじ込みキャップ設置を施す。
- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
- *4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径フランジ(BAX10A)。
- *6 分析機器配管系統図(PM-0164-4141-001)参照。
- *7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
積末部にねじ込みキャップ設置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



*8 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
積末部にねじ込みキャップ設置を施す。



発注先	日本原燃株式会社	図面/仕様/数量	オーダーアイテム 2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図面名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-75701,75702) 工程:0164(GB) (13/22)		



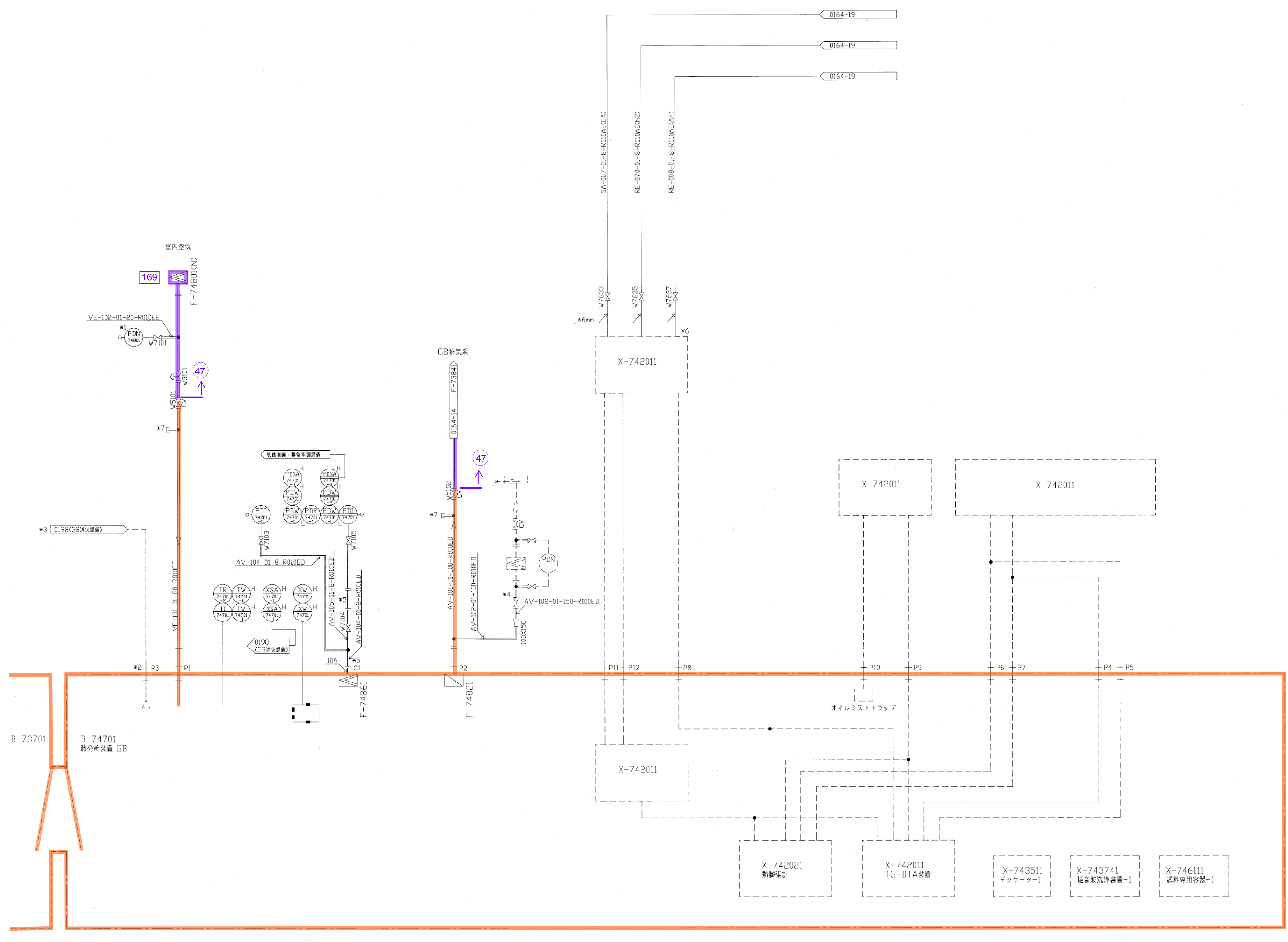
- 備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。
 (凡例)

記号	名称
	貫通口
 2. 中央監視室に表示がある計装TAGに關しては
 制御室2室にも表示する。
 3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
 *1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ
 取置を施す。
 *2 給気口近傍に設置する。
 *3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
 *4 グローブボックス廻り換気系統図
 (PM-0171-4422-002)参照。
 *5 異径フランジ(8AX10A)。
 *6 試運転時流量測定用
 10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
 詰末部にねじ込みキャップ取置を施す。
 (試運転終了後溶接キャップ止めとする)

 *7 試運転時流量測定用
 10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
 詰末部にねじ込みキャップ取置を施す。

客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA)分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-73701) 工程:0164(GB)(14/22)		

313分析装置室



備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

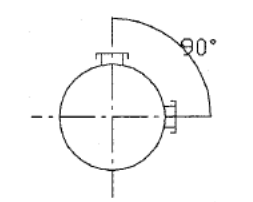
(凡例)

記号	名称
	貫通口

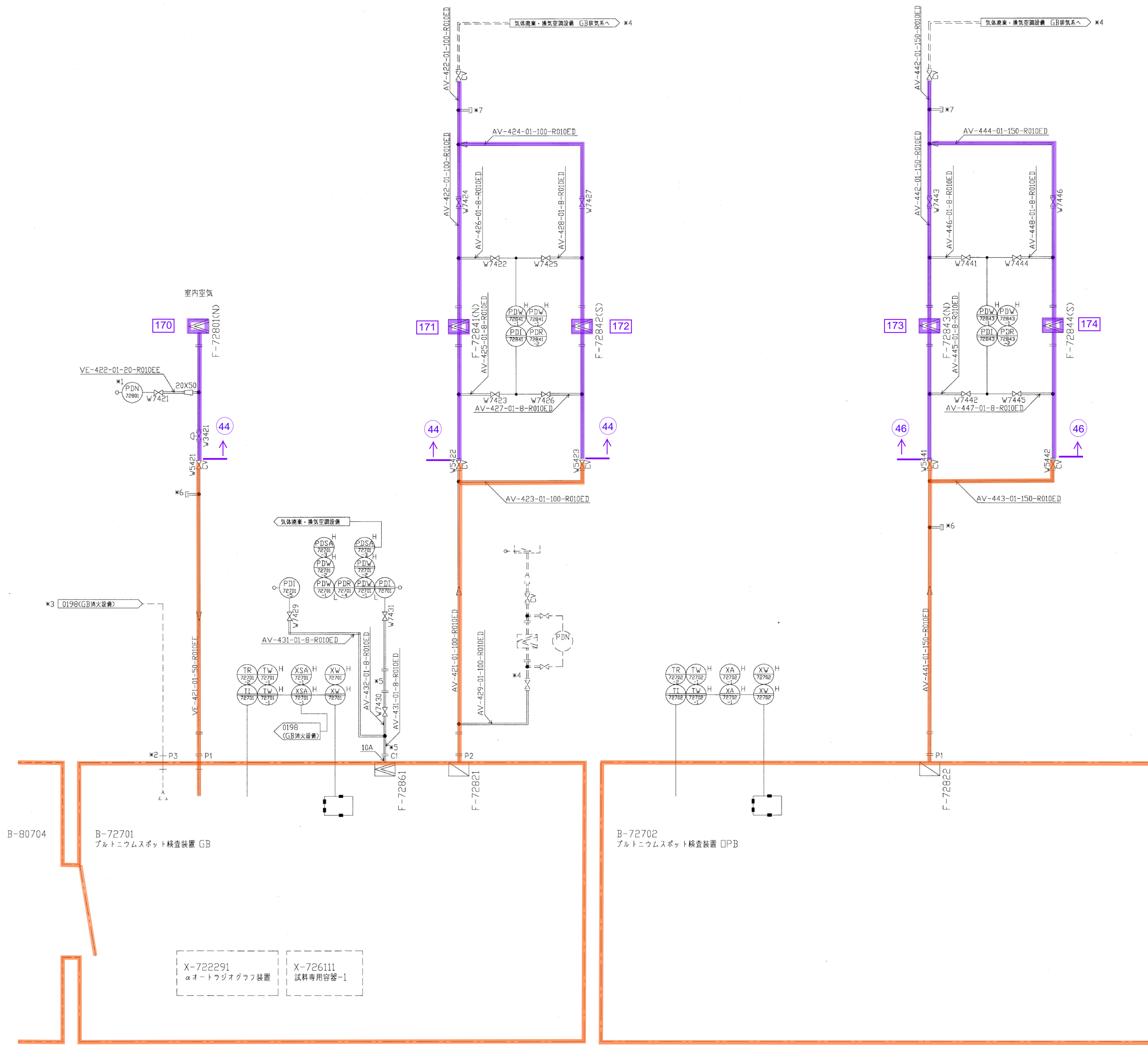
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別制御室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- *1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 防火設備(GB消火設備)EFD参照。
- *4 クロップボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径フランジ(BAX10A)。
- *6 分析機器配管線図(PM-0164-4141-001)参照。
- *7 試運転時流量測定用10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)請末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



会社名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジェリアリンクフロー図 (B-74701) 工程:0164 (GB) (15/22)		



備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては
制御室2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

*1 仮設計図取外し時、請未部にねじ込みキャップ
処置を施す。

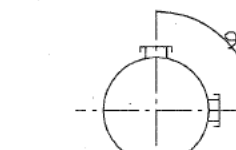
*2 給気口近傍に設置する。

*3 消防火設備 (GB消防設備) EFD参照。

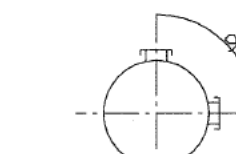
*4 グローブボックス廻り換気系統図
(PM-0171-4422-002)参照。

*5 異径フランジ (BAX10A)。

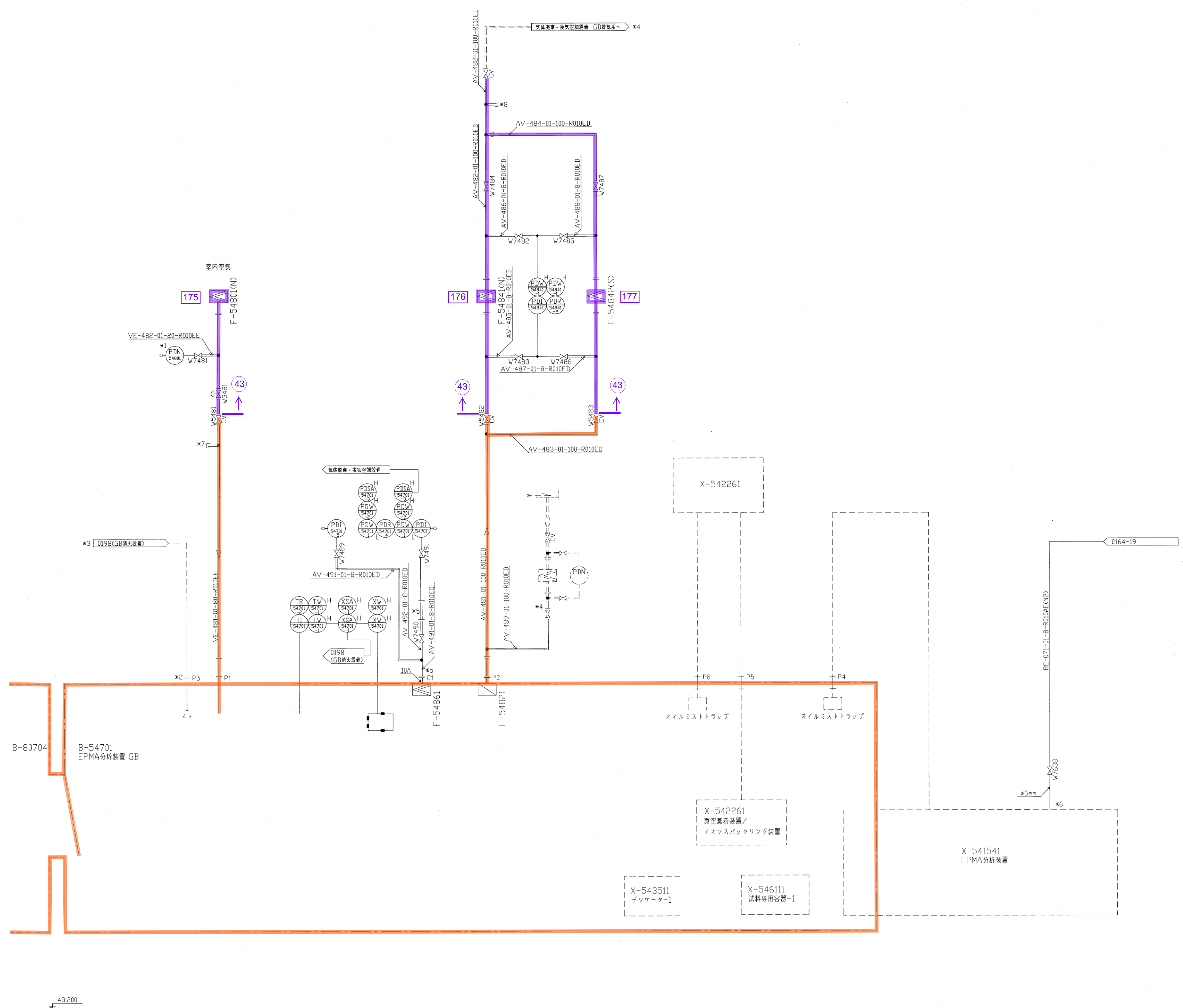
*6 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
請未部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



*7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
請未部にねじ込みキャップ処置を施す。



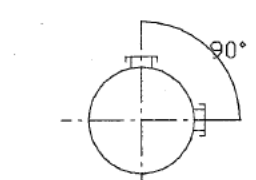
※先名	日本原燃株式会社	オーダーファイル 2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分 P
図名	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-72701,72702) 工程:0164 (GB) (16/22)	



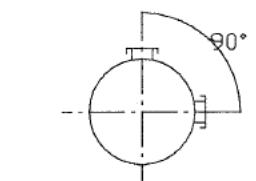
記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別室第2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

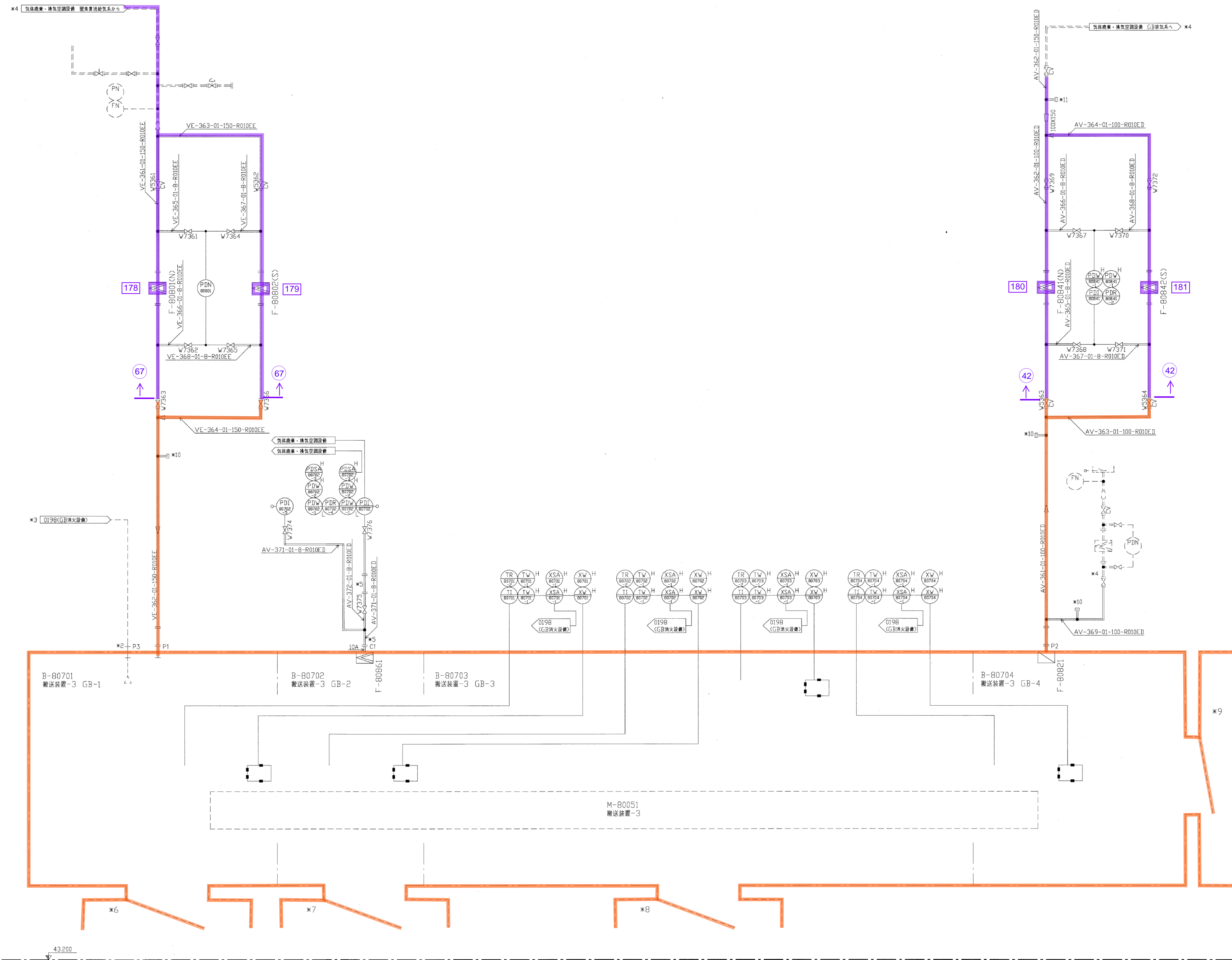
- *1 仮設計器取外し時、端未部にねじ込みキャップ処置を施す。
- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 防消火設備 (GB消火設備) EFD参照。
- *4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- *5 美徑フランジ (BAX10A)。
- *6 分析機器配管配線図 (PM-0164-4141-001)参照。
- *7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)
端未部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



*8 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)
端未部にねじ込みキャップ処置を施す。



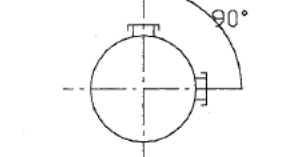
※先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-54701) 工程: 0164 (GB) (17/22)		



2. 中央監視室に表示がある計装TAGについては別冊第2巻にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- *1 仮設計器取外し時、端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 防火設備 (GB防火設備) EFD参照。
 - *4 クローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径ファンジ (BAX10A)。
 - *6 B-80701と隣接するクローブボックスは以下の通り。
B-11701, B-58701, B-59701, B-90703
 - *7 B-80702と隣接するクローブボックスは以下の通り。
B-50701, B-56701, B-57701
 - *8 B-80703と隣接するクローブボックスは以下の通り。
B-20701, B-52701, B-55701
B-75701, B-90705
 - *9 B-80704と隣接するクローブボックスは以下の通り。
B-54701, B-70701, B-71701, B-72701,
B-73701, B-90701
 - *10 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

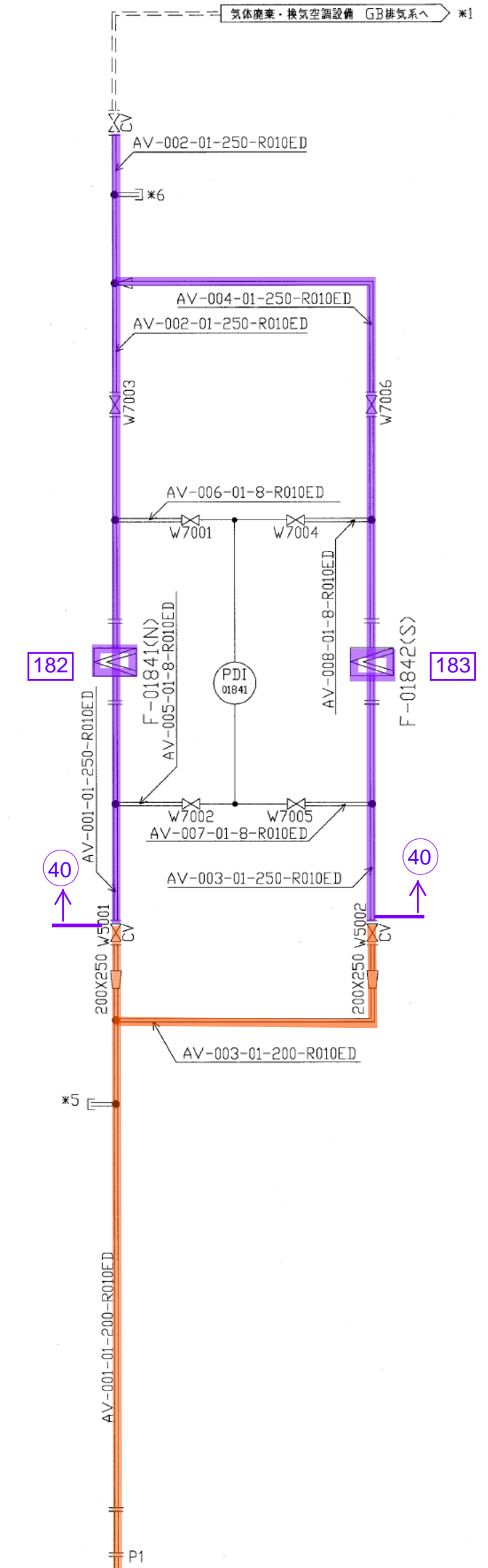


*11 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端末部にねじ込みキャップ処置を施す。



※先名	日本原燃株式会社	オーダーファイル	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-80701) I程: 0164 (GB) (18/22)		

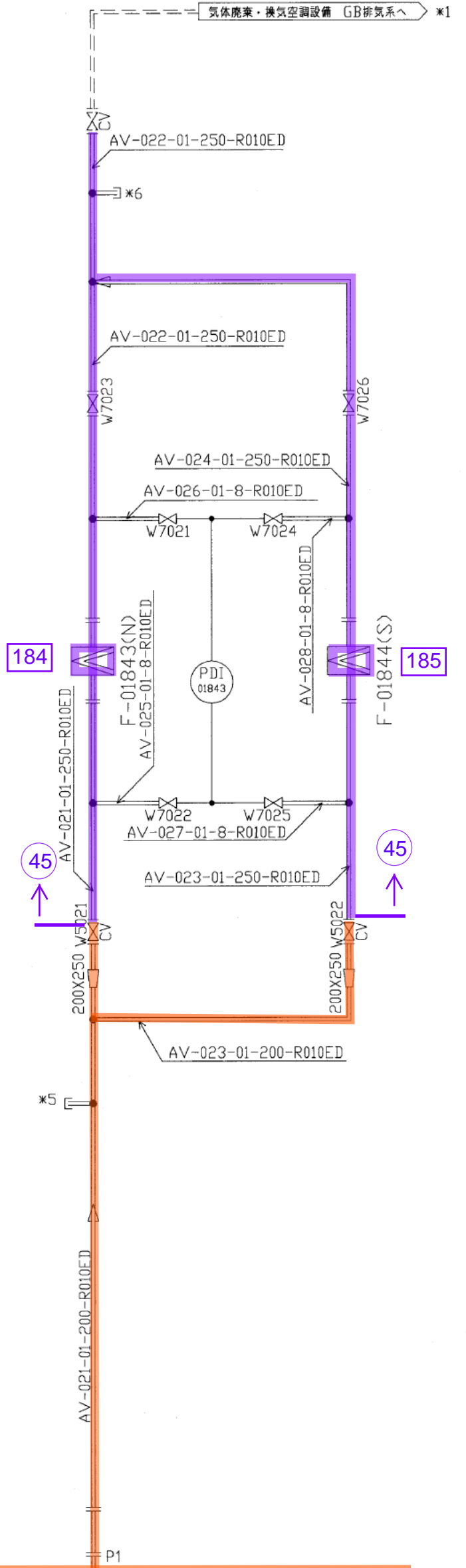
302分析第1室



B-01701
7-FA

43.200

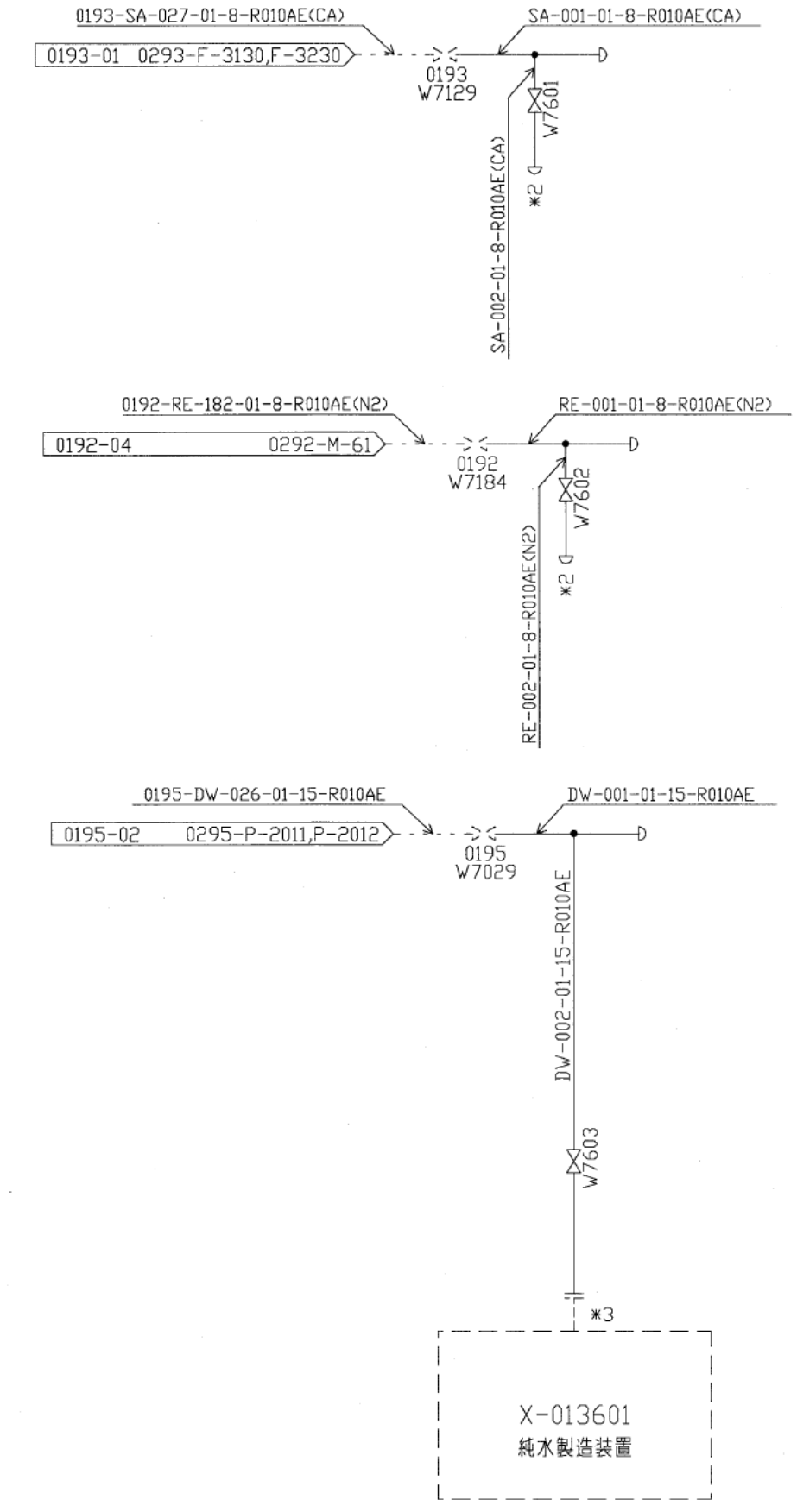
313分析第2室



B-01702
7-FB

43.200

305試薬準備室



X-016511
フワトチャンバ

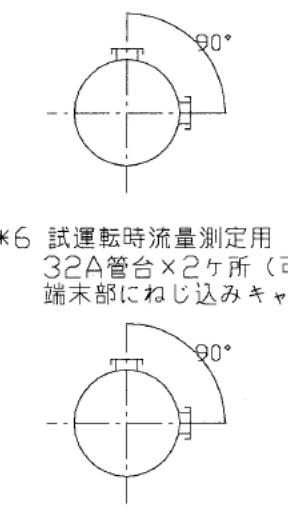
44.700

備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

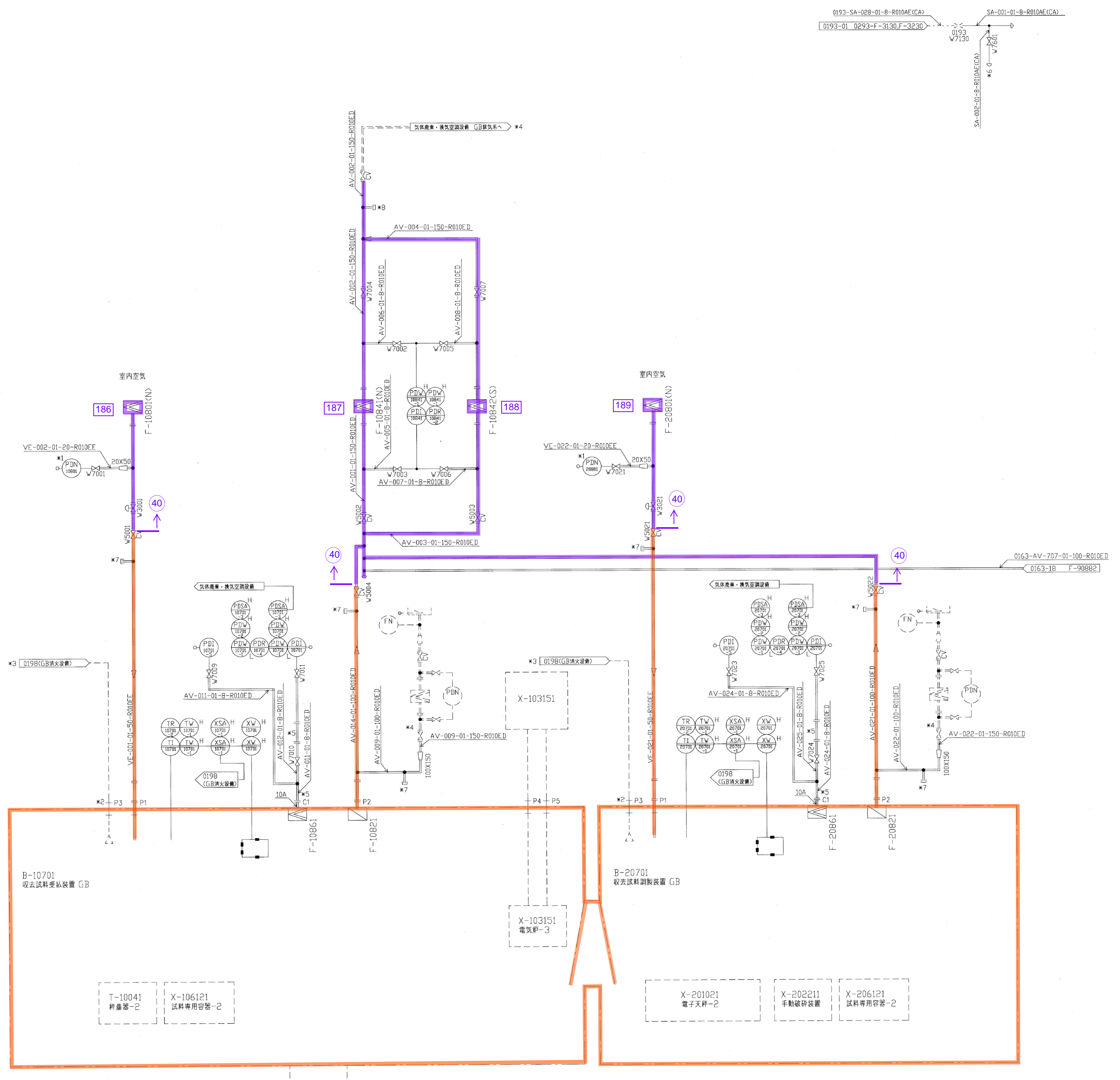
記号	名称
∩	貫通口

2. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- ※1 タロ-ボックス廻り換気システム (PM-0171-4422-002)参照。
- ※2 将来設置。
- ※3 分析機器配管配線図 (PM-0165-4141-001)参照。
- ※4 換気系統図 (PM-0171-4422-001)参照。
- ※5 試運転時流量測定用 32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ設置を施す。(試運転終了後溶接スナップ止めとする)
- ※6 試運転時流量測定用 32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ設置を施す。

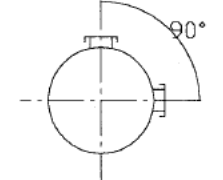


製先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計者	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 分析付属設備 エンゾニアリンクフロ-図 (B-01701,01702,X-016511) 工程:0165 (GB) (1/1)		

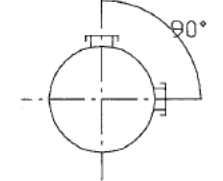


記号	名称
II - II	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- ※1 仮設計器取外し時、端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
 - ※2 給気口近傍に設置する。
 - ※3 防消火設備 (GB消火設備) EFD参照。
 - ※4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
 - ※5 異径ファンジ (8AX10A)。
 - ※6 将来設置。
 - ※7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)
端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

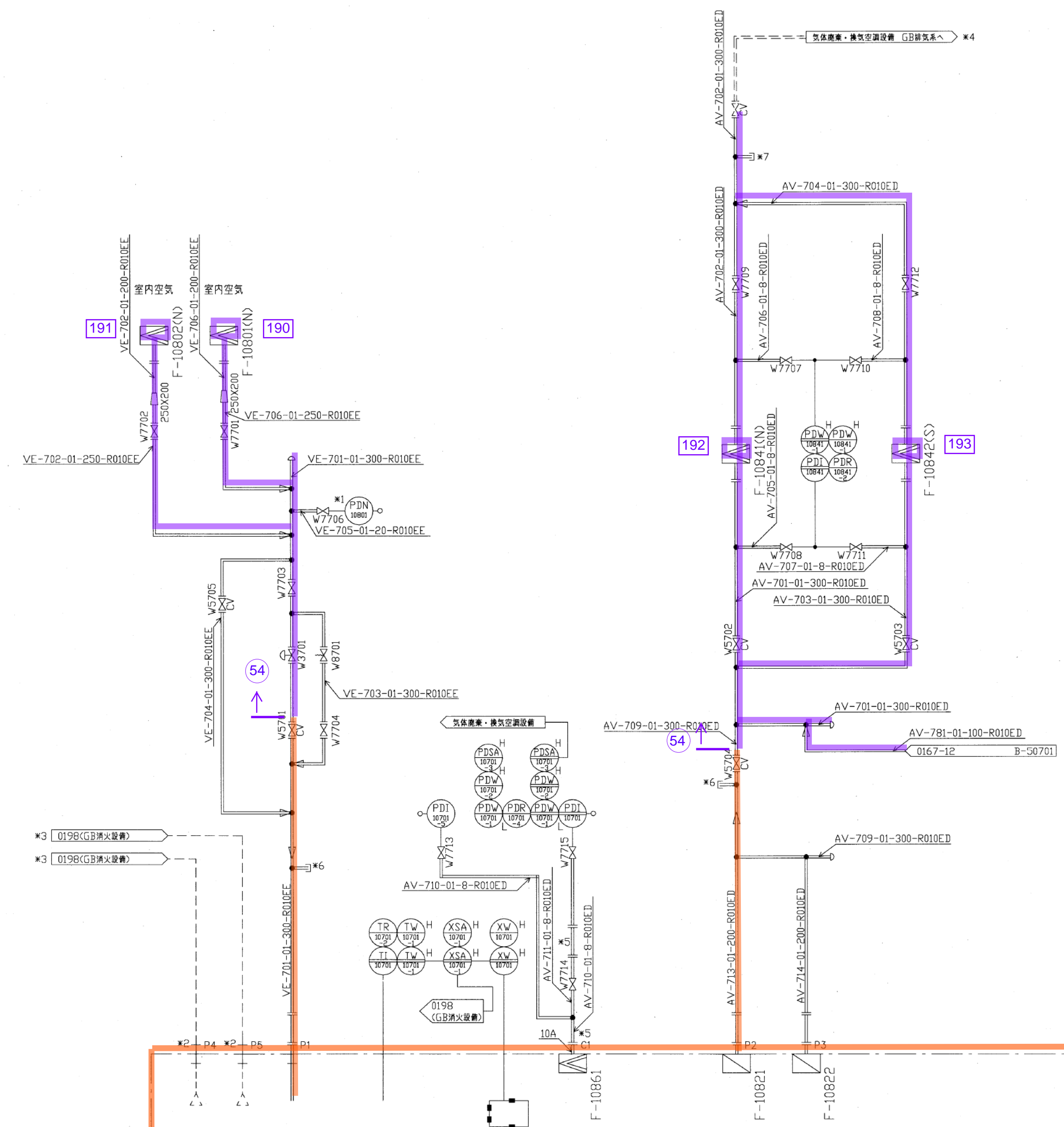


- ※8 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)
端末部にねじ込みキャップ処置を施す。



客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 査察専用設備 エンジェリックフロア図 (B-10701, 20701) 工程: 0166 (GB) (1/1)		

313分析第2室



B-10701
分析溶液中和固液分離GB

- T-10041 秤量器-2A
- T-10042 秤量器-2B
- X-101061 水分計
- X-101141 自動測定装置-2
- X-103541 マイクロピペットA

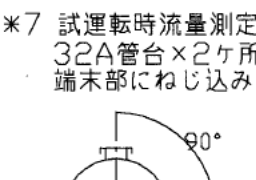
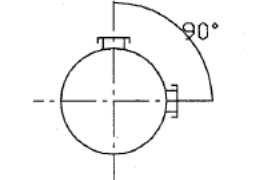
備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
	貫通口
	差動分布型温度上昇検出器

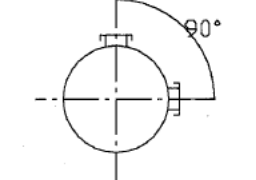
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに關しては
制御室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

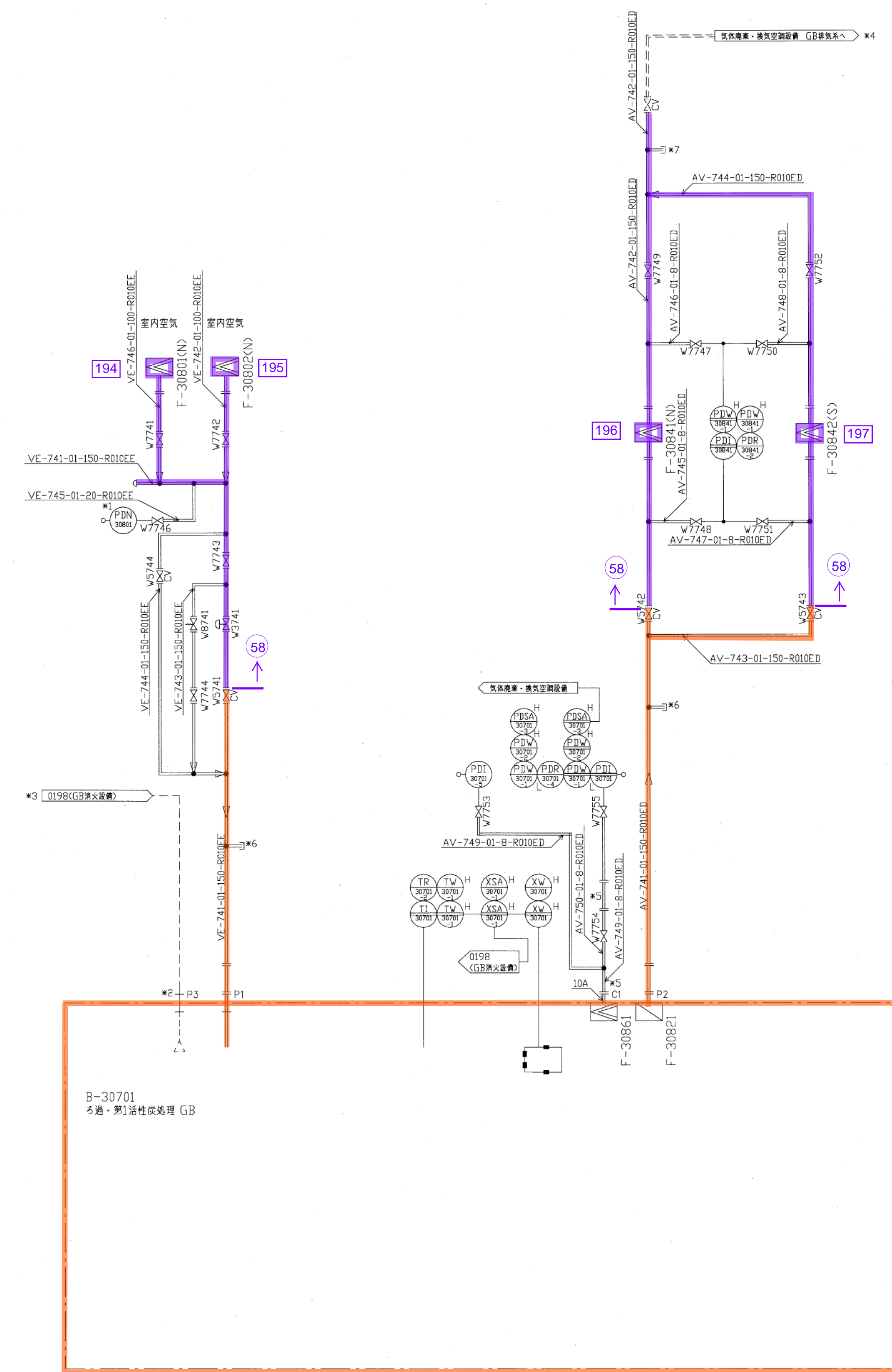
- *1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ
処置を施す。
- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 消防火設備(GB消防設備) EFD参照。
- *4 グローブボックス廻り換気系統図
(PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径ファンジ(BAX10A)。
- *6 試運転時流量測定用
32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



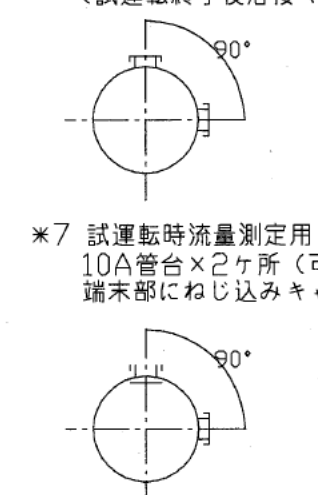
- *7 試運転時流量測定用
32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。



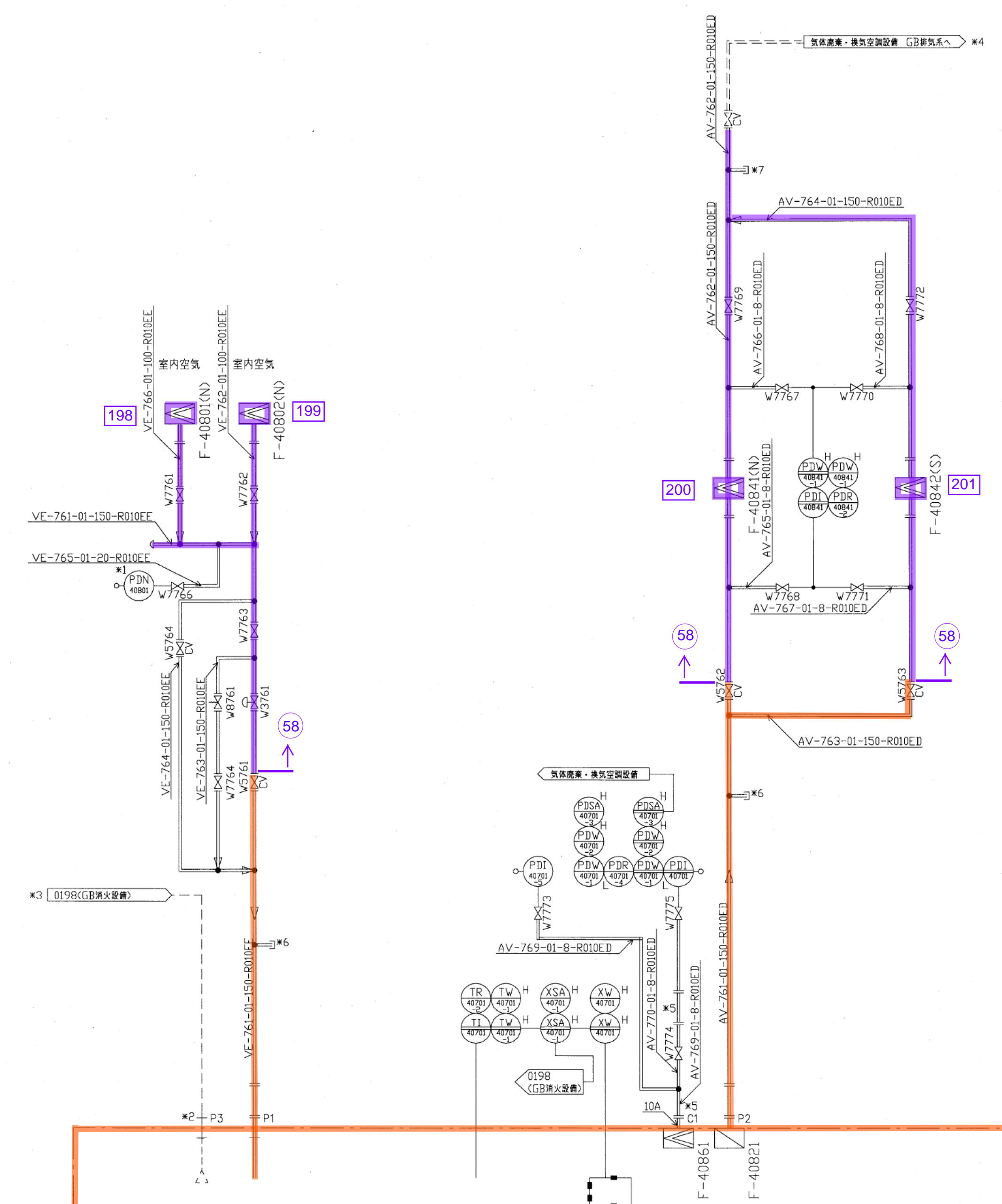
委託先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 分析溶液処理設備 エンジニアリングフロー図(B-10701) 工程:0167(9/14)		



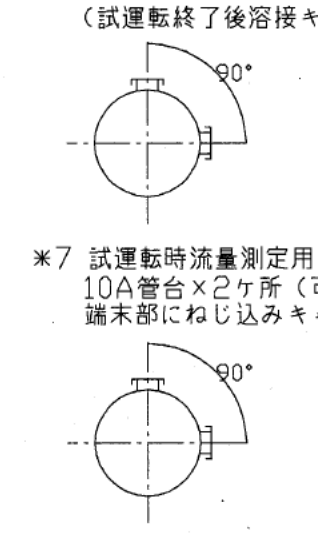
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- *1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ処置を施す。
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 消防火設備(GB消火設備)EFD参照。
 - *4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径ファンジ(8AX10A)。
 - *6 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)端部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
 - *7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)端部にねじ込みキャップ処置を施す。



発注先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 分析済液処理設備 エンジニアリングフロー図 (B-30701) 工程:0167 (10/14)		

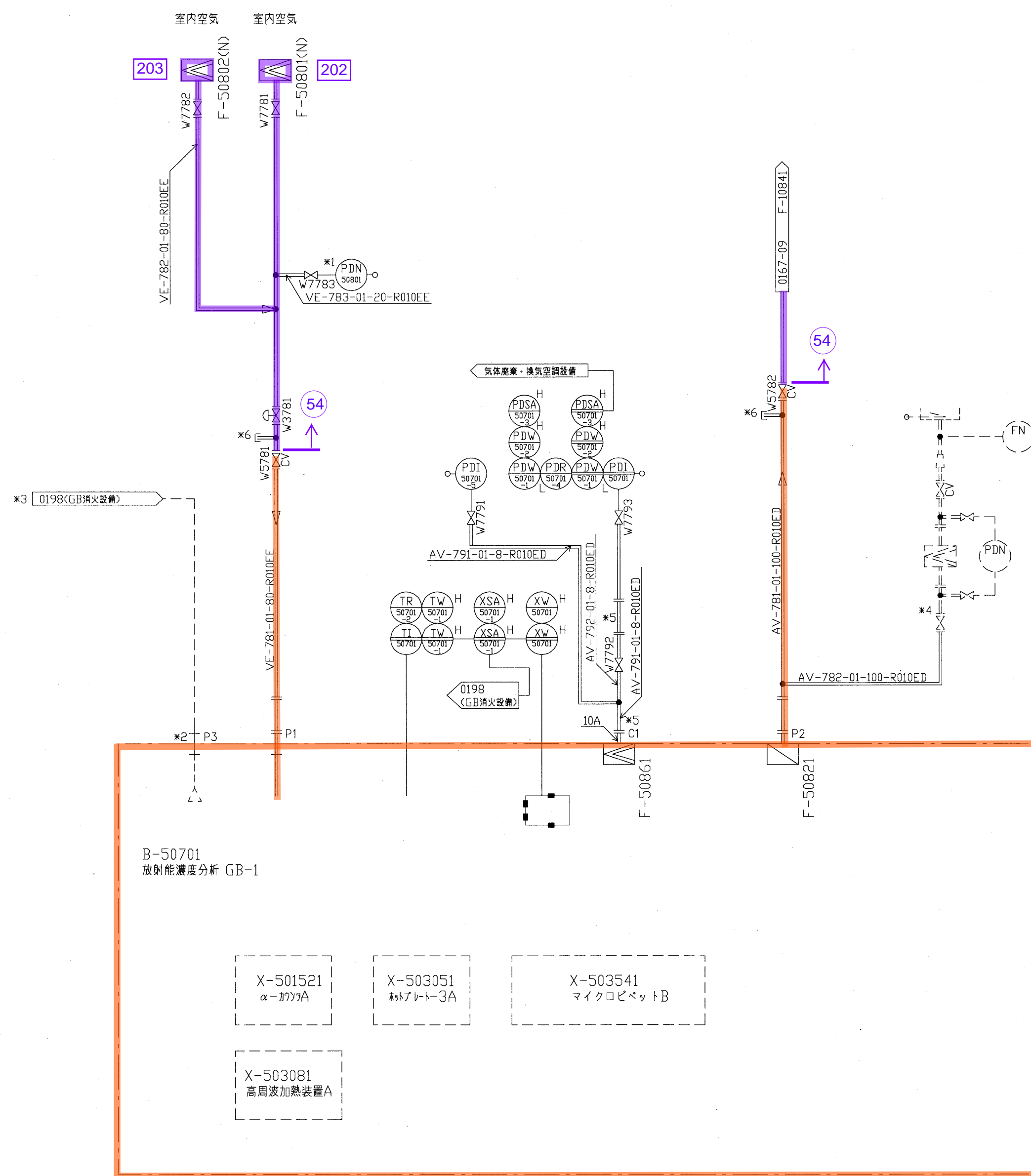


2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては
制御第2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- *1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ
処置を施す。
 - *2 給気口近傍に設置する。
 - *3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
 - *4 グローブボックス廻り換気系統図
(PM-0171-4422-002)参照。
 - *5 異径ファンジ(BAX10A)。
 - *6 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
 - *7 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。



発注先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 分析済液処理設備 エンジニアリングフロー図 (B-40701) 工程:0167 (11/14)		

313分析第2室



備考

1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

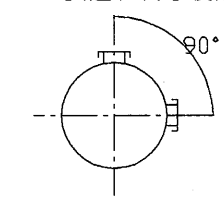
(凡例)

記号	名称
	貫通口
	差動分布型温度上昇検出器

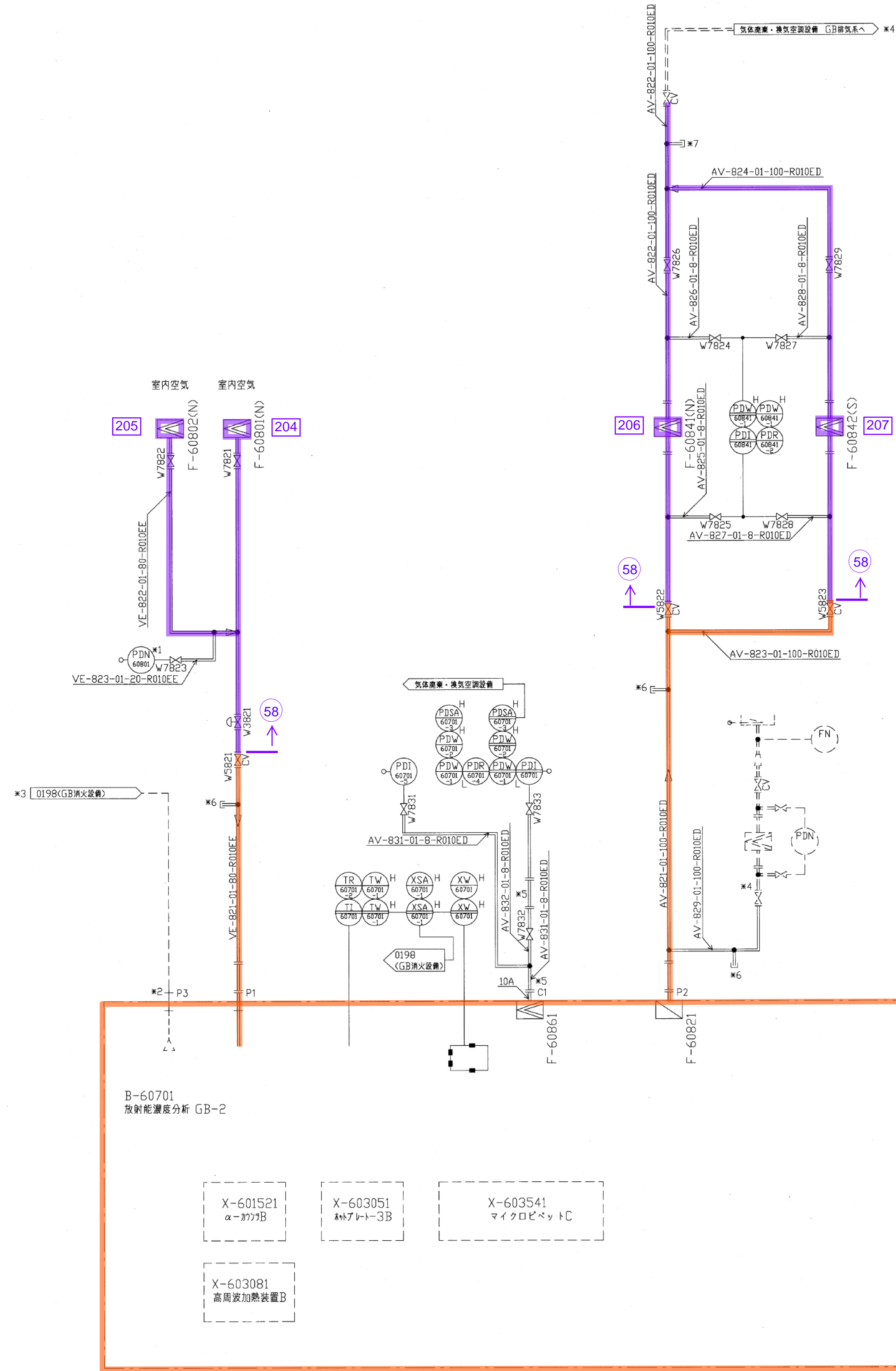
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては
制御第2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- *1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ
処置を施す。
- *2 給気口近傍に設置する。
- *3 防火設備(GB消火設備)EFD参照。
- *4 グローブボックス廻り換気系統図
(PM-0171-4422-002)参照。
- *5 異径ファンジ(8AX10A)。
- *6 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



受先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 分析済液処理設備 エンジニアリングフロー図 (B-50701) 工程:0167 (12/14)		



備考

1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

記号	名称
	貫通口
	差動分布型温度上昇線検出器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

※1 仮設計器取外し時、堵末部にねじ込みキャップ処置を施す。

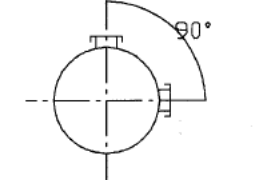
※2 給気口近傍に設置する。

※3 防火設備(GB消火設備)EFD参照。

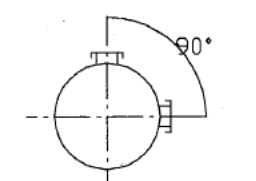
※4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。

※5 異径ファンジ(8AX10A)。

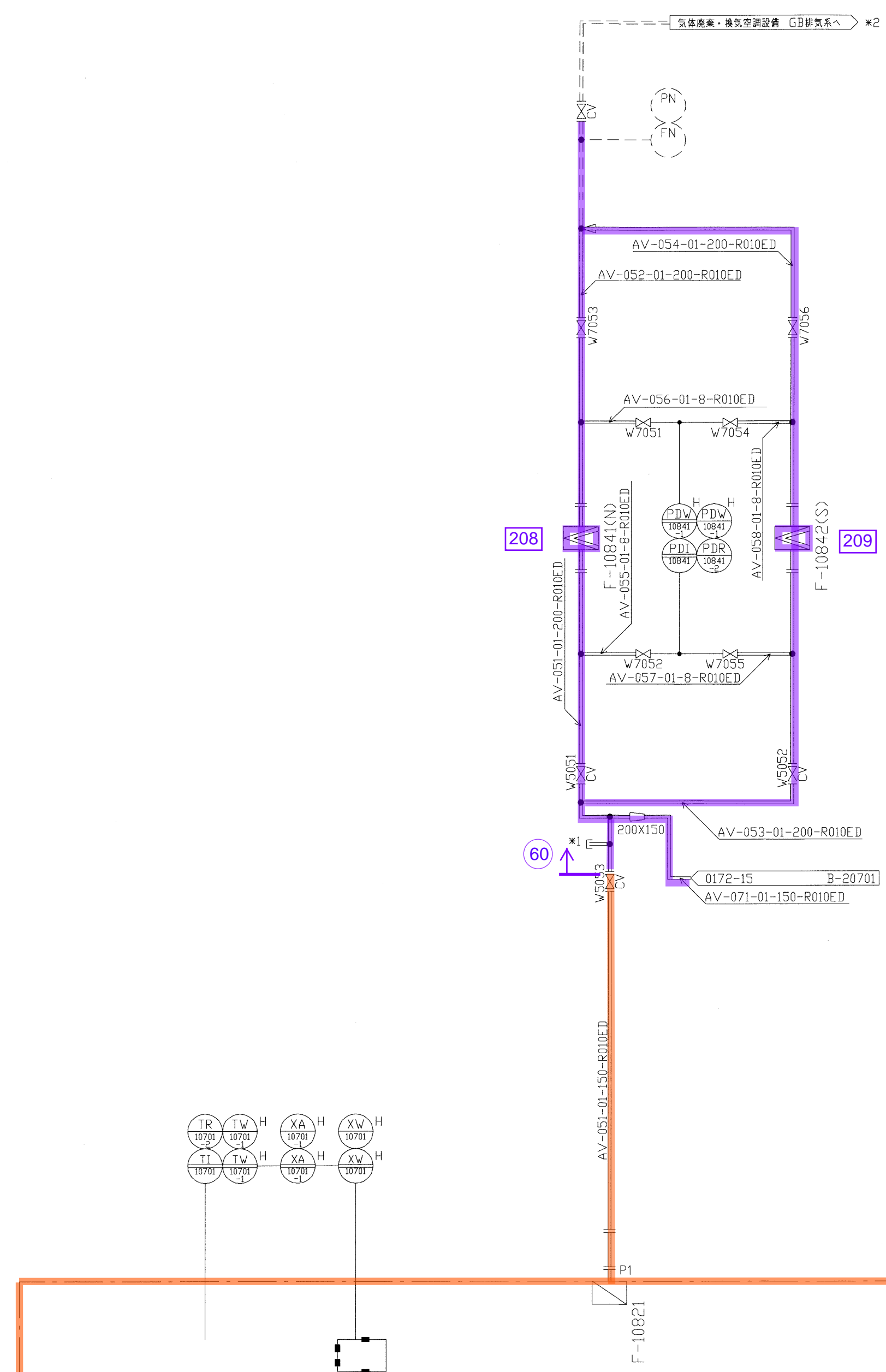
※6 試運転時流量測定用
10A管径×2ヶ所(可能な範囲で短く)
堵末部にねじ込みキャップ処置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



※7 試運転時流量測定用
10A管径×2ヶ所(可能な範囲で短く)
堵末部にねじ込みキャップ処置を施す。



客先名	日本原燃株式会社	オーダーファイル	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 分析濃度処理設備 エンジニアリングフロー図 (B-60701) 工号:0167 (13/14)		



備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

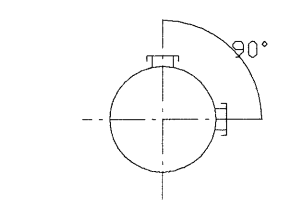
(凡例)

記号	名称
	普通口
	差動分布型温度上昇検出器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては
制御室1室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

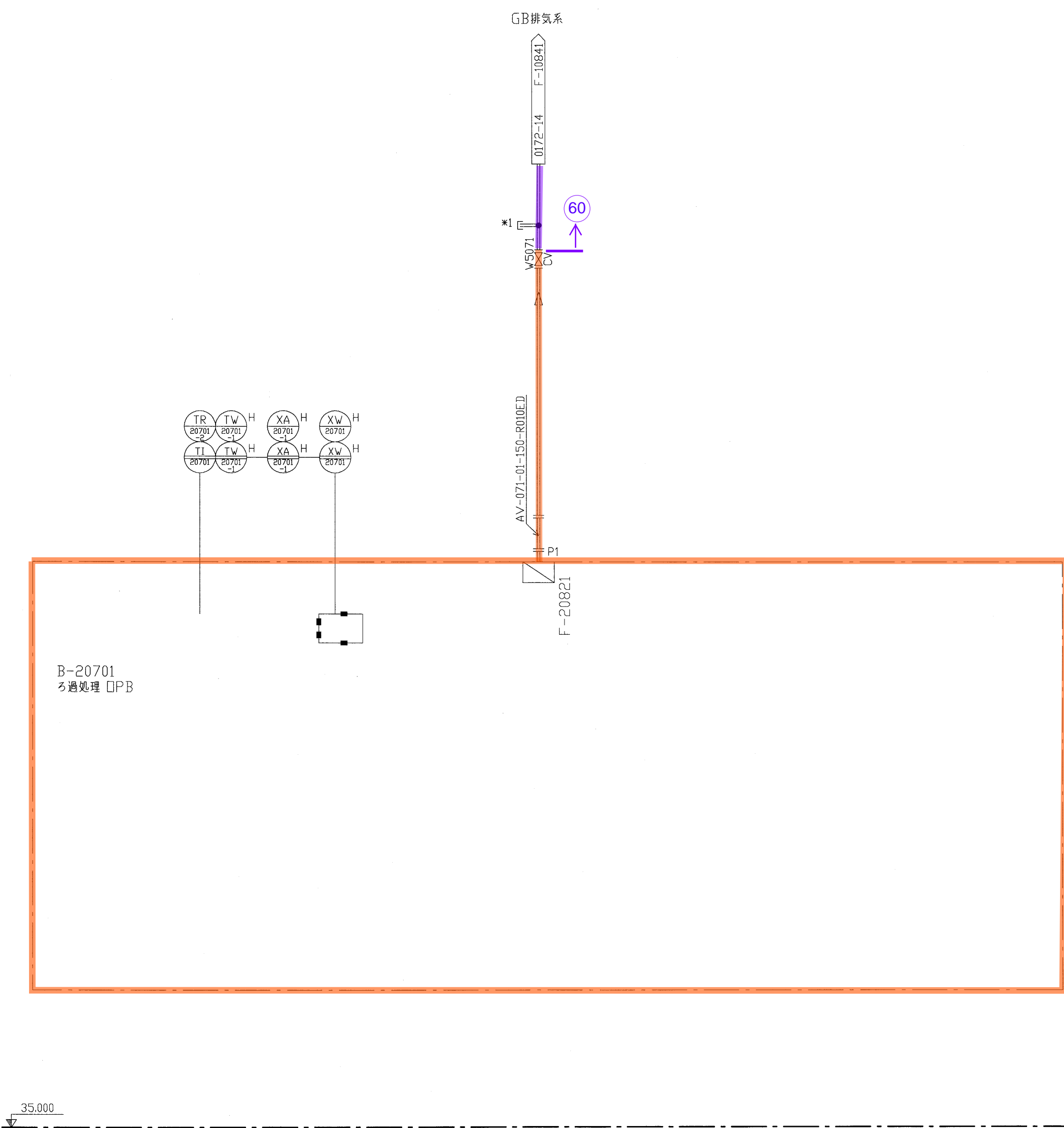
※1 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)
端部にねじ込みキャップ設置を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



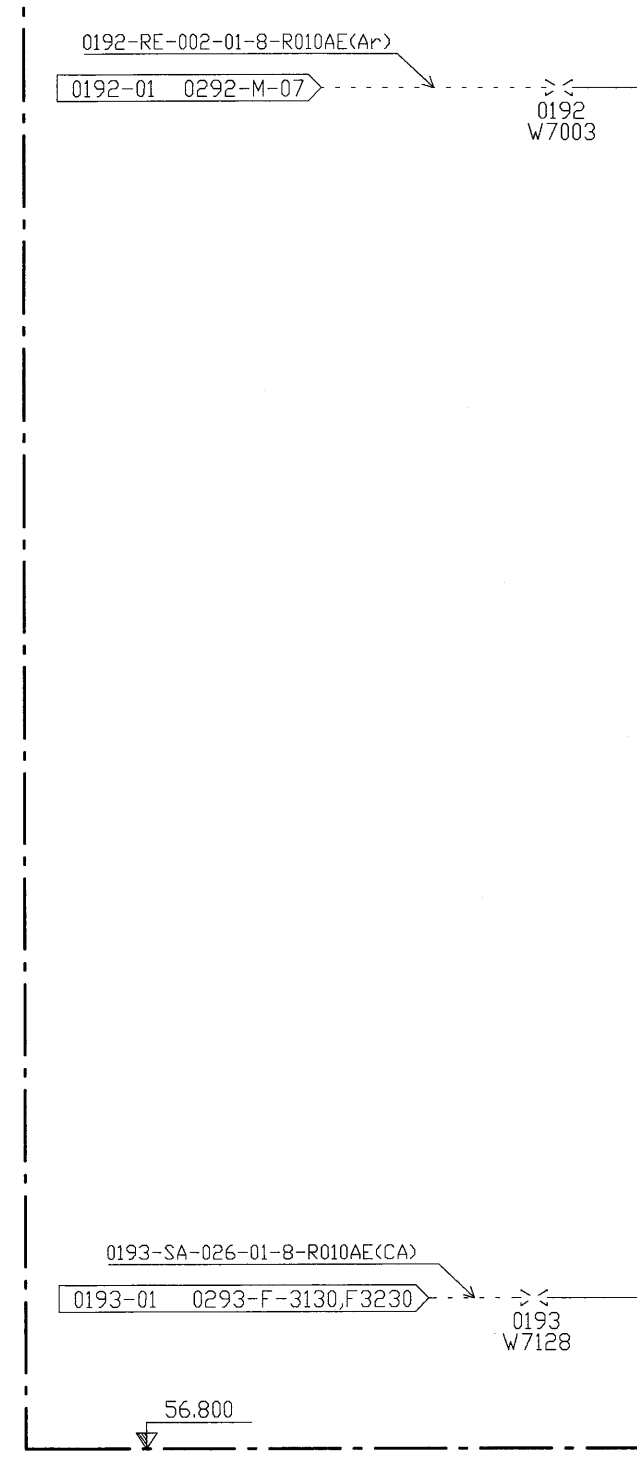
※2 グローブボックス廻り換気系統図
(PM-0171-4422-002)参照。

発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 液体廃棄設備 (J) 液体廃棄設備 エンジニアリングフロア図 (B-10701) 工程: 0172(14/15)		

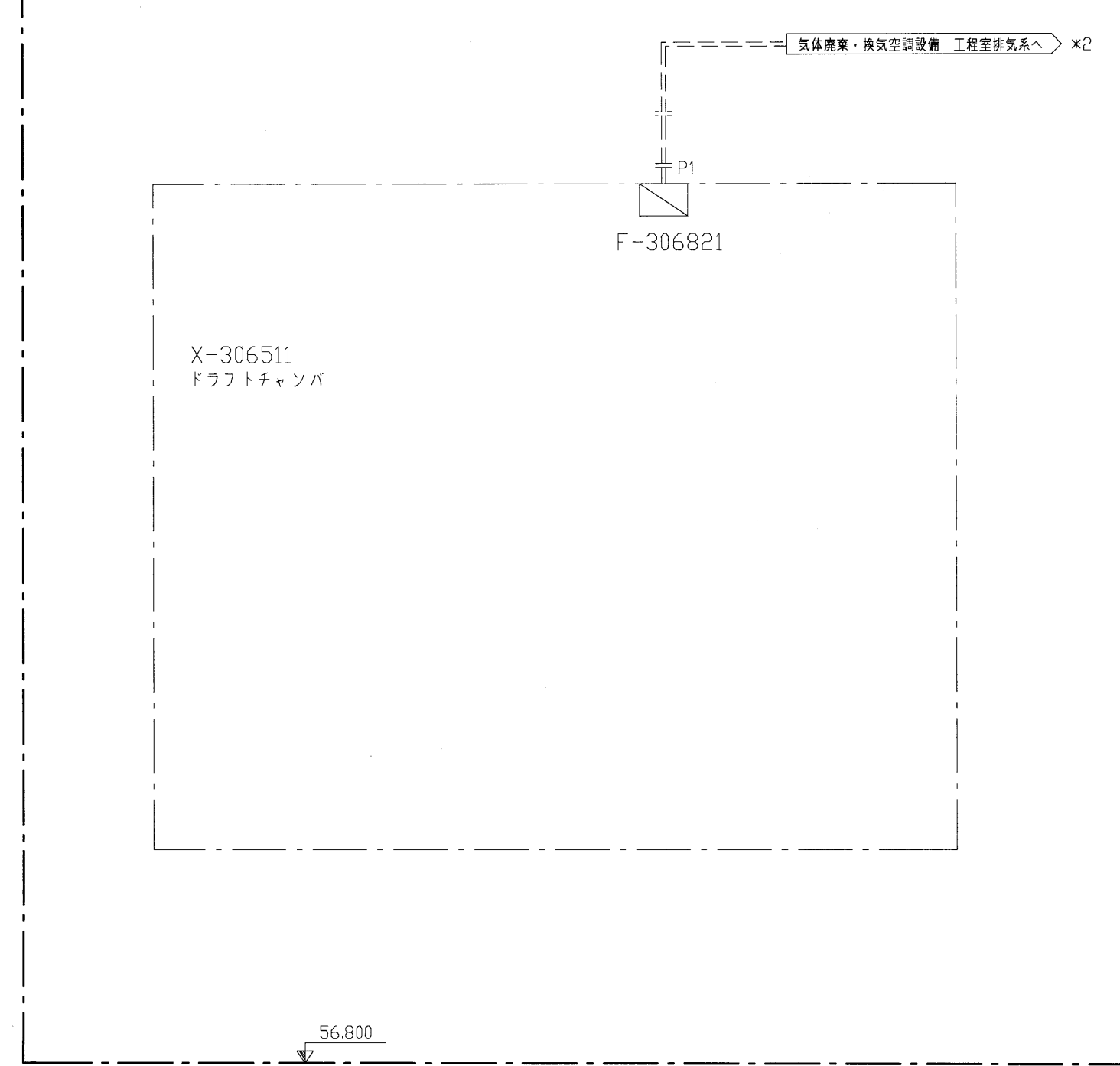
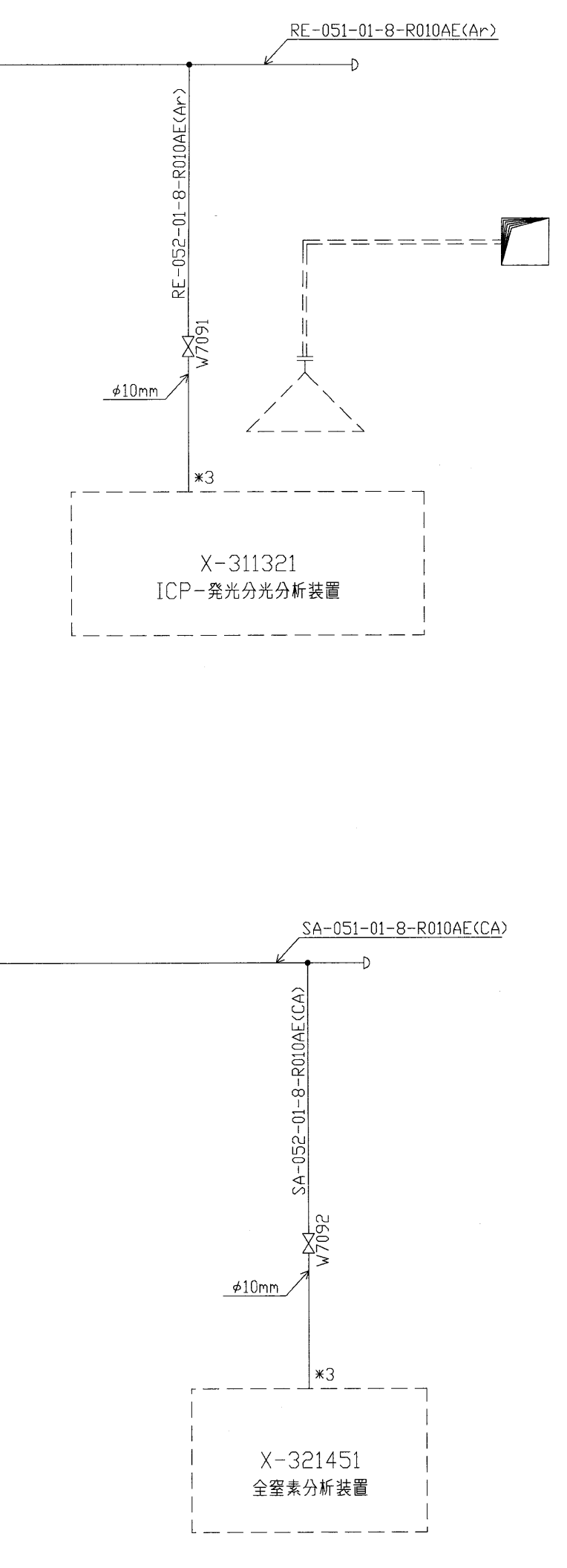
161液体廃棄物処理第2室



508地上1階東西第1廊下



503放管試料前処理室



備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

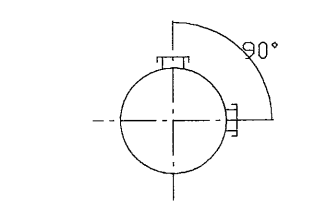
(凡例)

記号	名称
	貫通口
	活動分布型温度上限検出器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別図第1室にも表示する。

3. 注記 (本図中の注記は下記に示す通り)

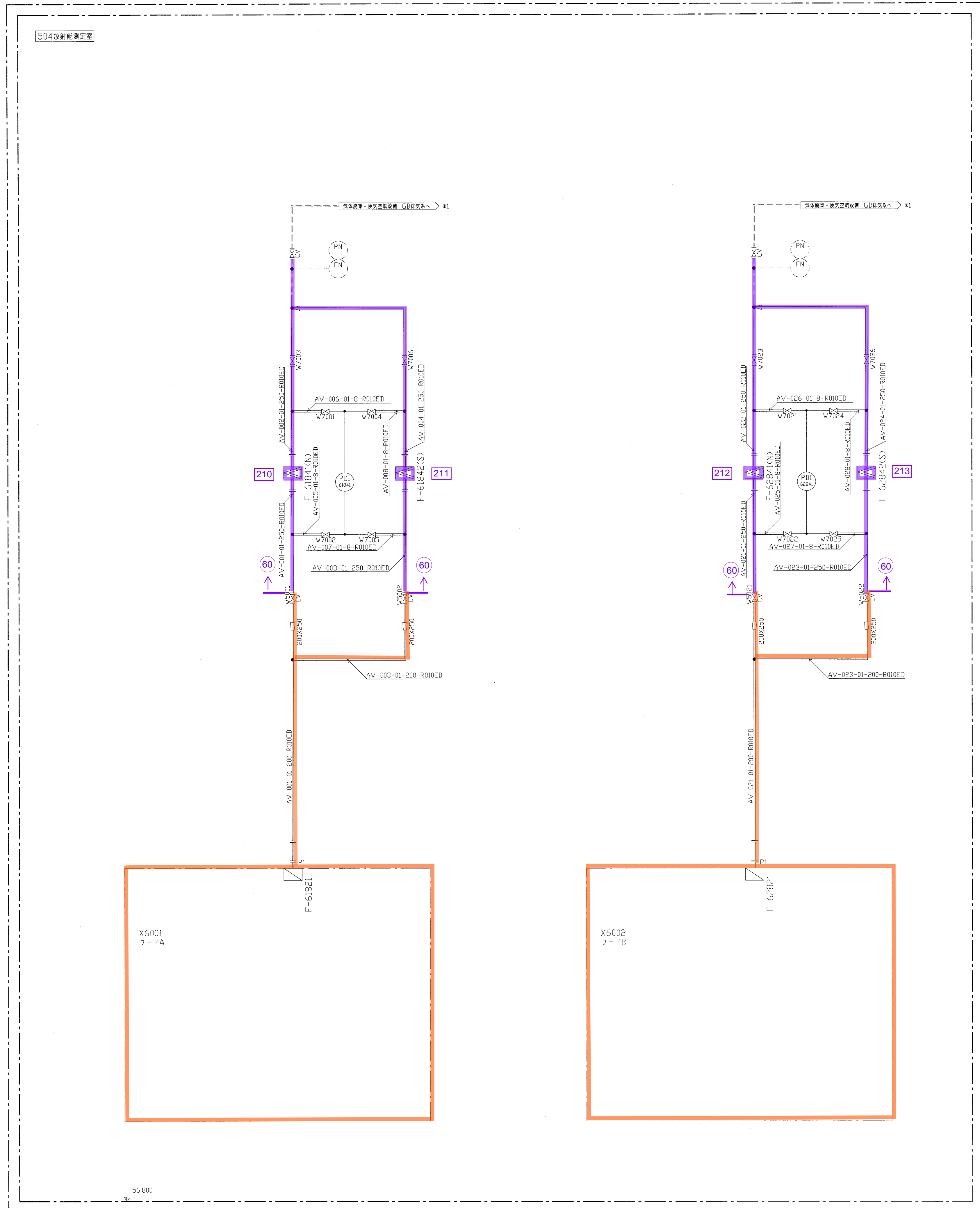
※1 試運転時流量測定用
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)
端面部にねじ込みキャップ取付を施す。
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



※2 換気系統図
(PM-0171-4422-001)参照。

※3 分析機器配管図
(PM-0172-4141-001)参照。

客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 液体廃棄設備 (J) 液体廃棄設備 エンジニアリングフロア内 (B-20701, X-306511) 工程: 0172(15/15)		



備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

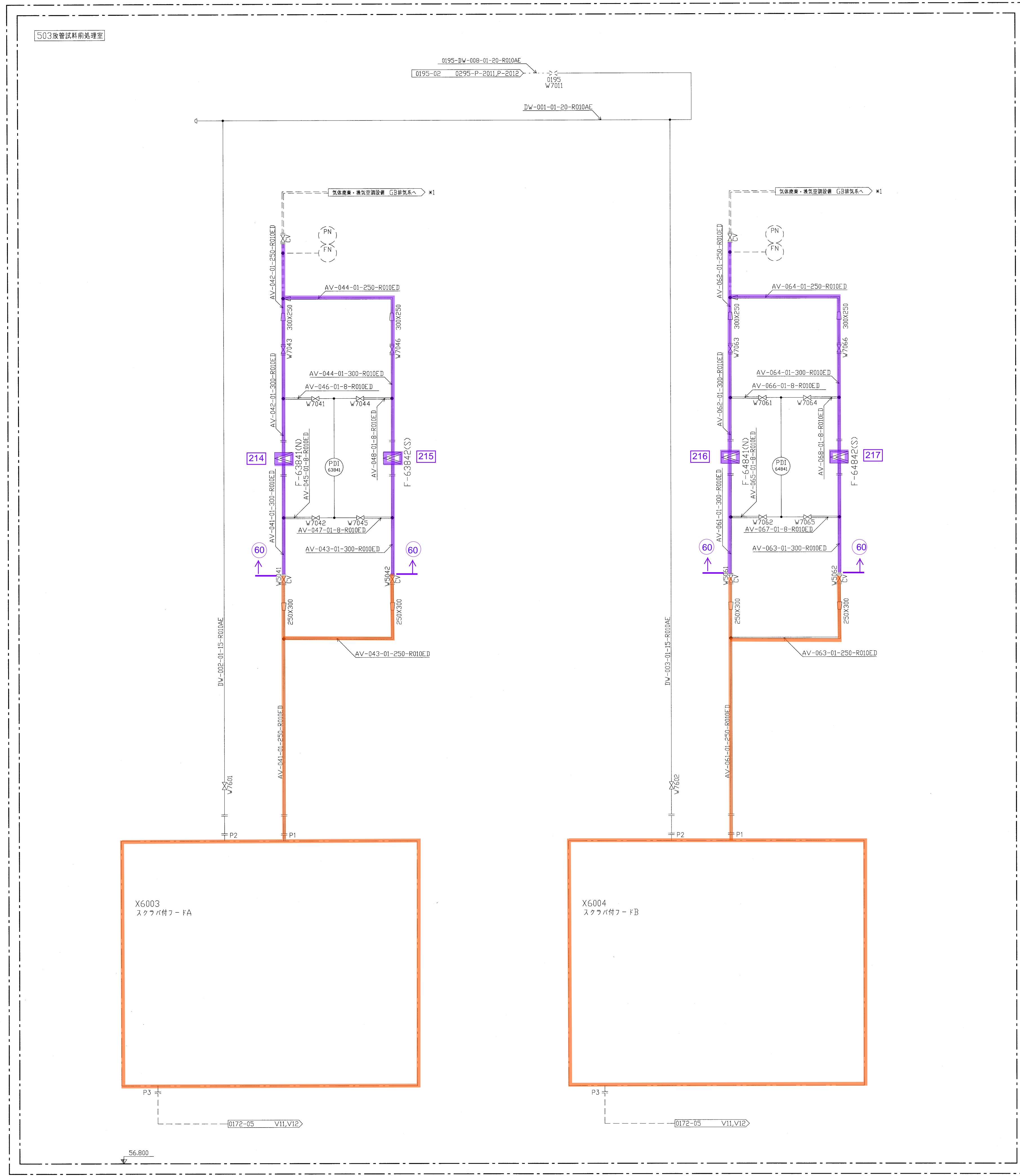
(凡例)

記号	名称
⊘	貫通口

2. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

*1 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。

客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 放射線管理設備(L) 放射線管理設備 エンジニアリングフロー図 (X6001,6002) 工程:0182 (GB) (1/2)		



備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

記号	名称
⋮	貫通口

2. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

*1 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。

発注者	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 放射線管理設備(L) 放射線管理設備 エンジニアリングフロー図 (X6003,6004) 工程:0182 (GB) (2/2)		

申請対象設備抽出結果

施 設	放射性廃棄物の廃棄施設
設 備	気体廃棄物の廃棄設備 設計基準対象の施設 窒素循環設備
機 器	窒素循環ダクト 等

	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	
【対象機器】	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ファン
	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環冷却機
【主たる機能】	放射性物質の閉じ込め機能 放射性物質の過度の放出防止機能							

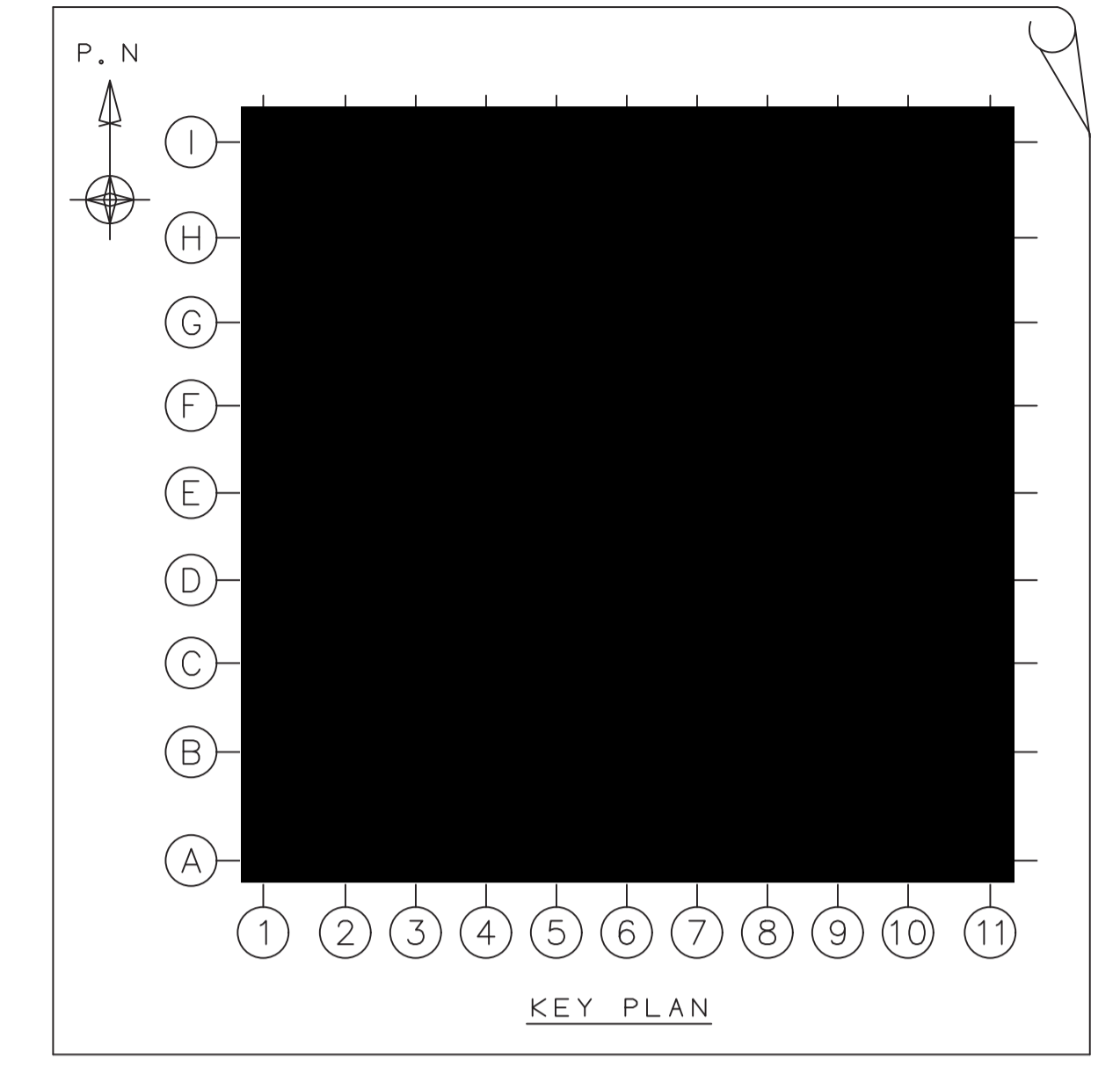
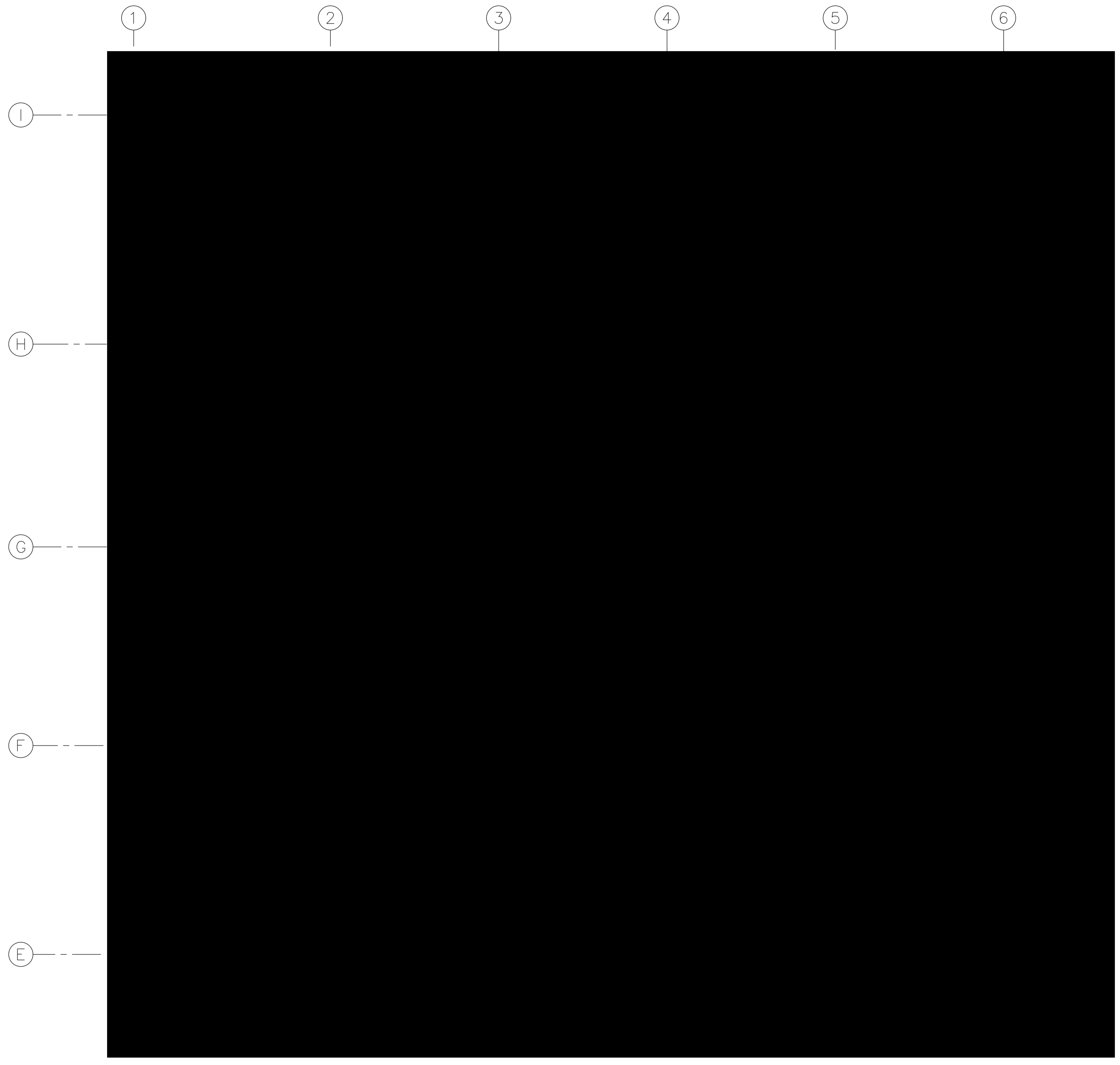
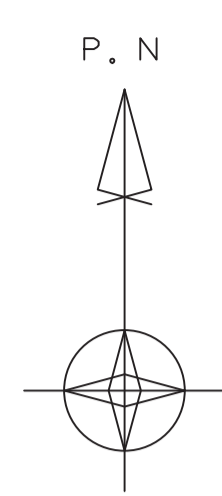
【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ファン	ファン	0171-K-501	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	窒素循環ファンA
2										0171-K-502	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	窒素循環ファンB
3	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環冷却機	機械装置	0171-C-551	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	窒素循環冷却機A
4										0171-C-552	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	窒素循環冷却機B

	施設区分		設備区分				機器名称(許可)
【対象機器】	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト
【主たる機能】	放射性物質の閉じ込め機能 放射性物質の過度の放出防止機能						

【主配管等の名称整理】

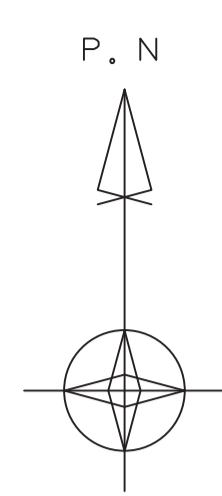
紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	延焼防止ダンパ(SPD W3109, W3107, W3126, W3111, W3113, W3142, W3115, W3117, W3118, W3146, W3148, W3144, W3184, W3182) ～窒素循環戻りダクト合流点1(B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
2	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	延焼防止ダンパ(SPD W3197) ～窒素循環戻りダクト合流点1(B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
3	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	窒素循環戻りダクト合流点1(B2F) ～窒素循環冷却機A, B ～窒素循環ファンA, B ～窒素循環給気ダクト分岐点1(B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
4	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	窒素循環給気ダクト分岐点1(B2F) ～手動ダンパ(VD W8588)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
5	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	窒素循環給気ダクト分岐点1(B2F) ～窒素循環設備/グローブボックス排気設備取合ダンパ(VD W8504, W8505, W8498, W8495, W8501, W8502, W8494, W8493, W8483, W8484, W8492, W8486, W8496, W8490, W8488, W8489)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
6	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	手動ダンパVD W8579) ～窒素循環戻りダクト合流点2(B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
7	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	窒素循環給気ダクト分岐点2(B2F) ～気密隔離ダンパ(ATID W5230)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	



- 凡例
- E (GB)
 - E (GBN)
 - S (GBN)
 - LCS

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	数量	単位	重量	備考
日本原燃株式会社 殿				
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)				
気体廃棄・換気空調設備 (H)				
単線ダクトルート図				
地下3階 1ブロック (GB, GBN)				



⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

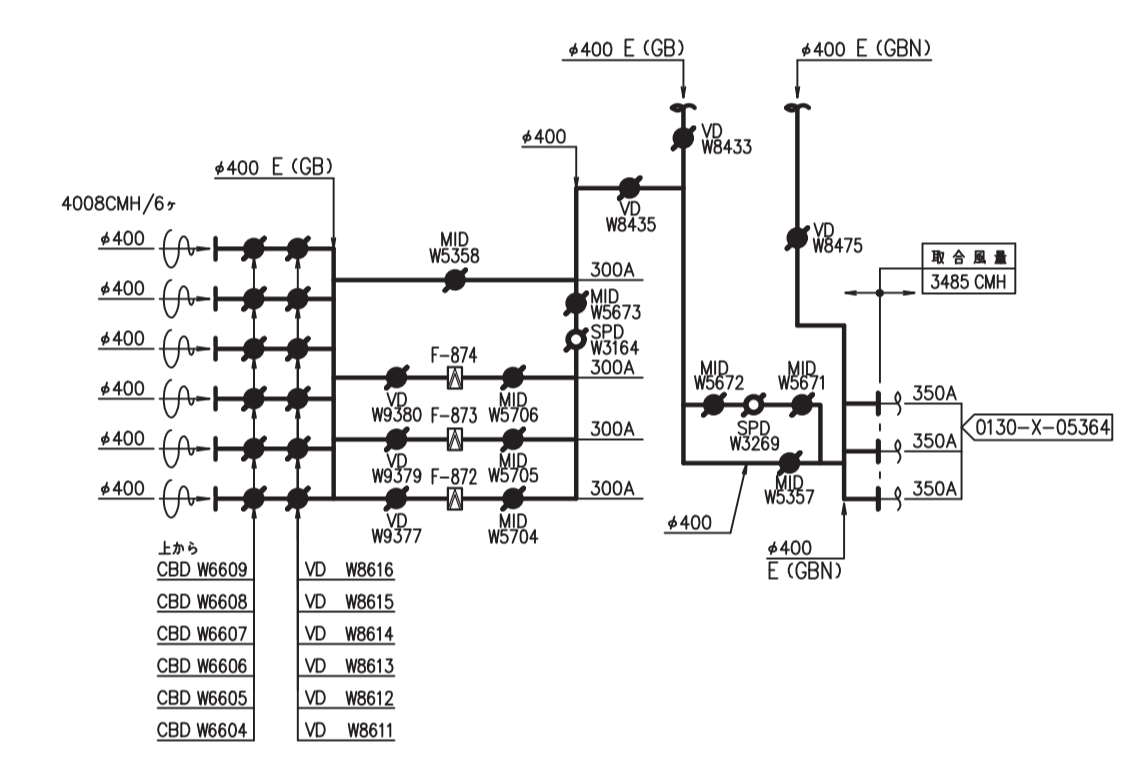
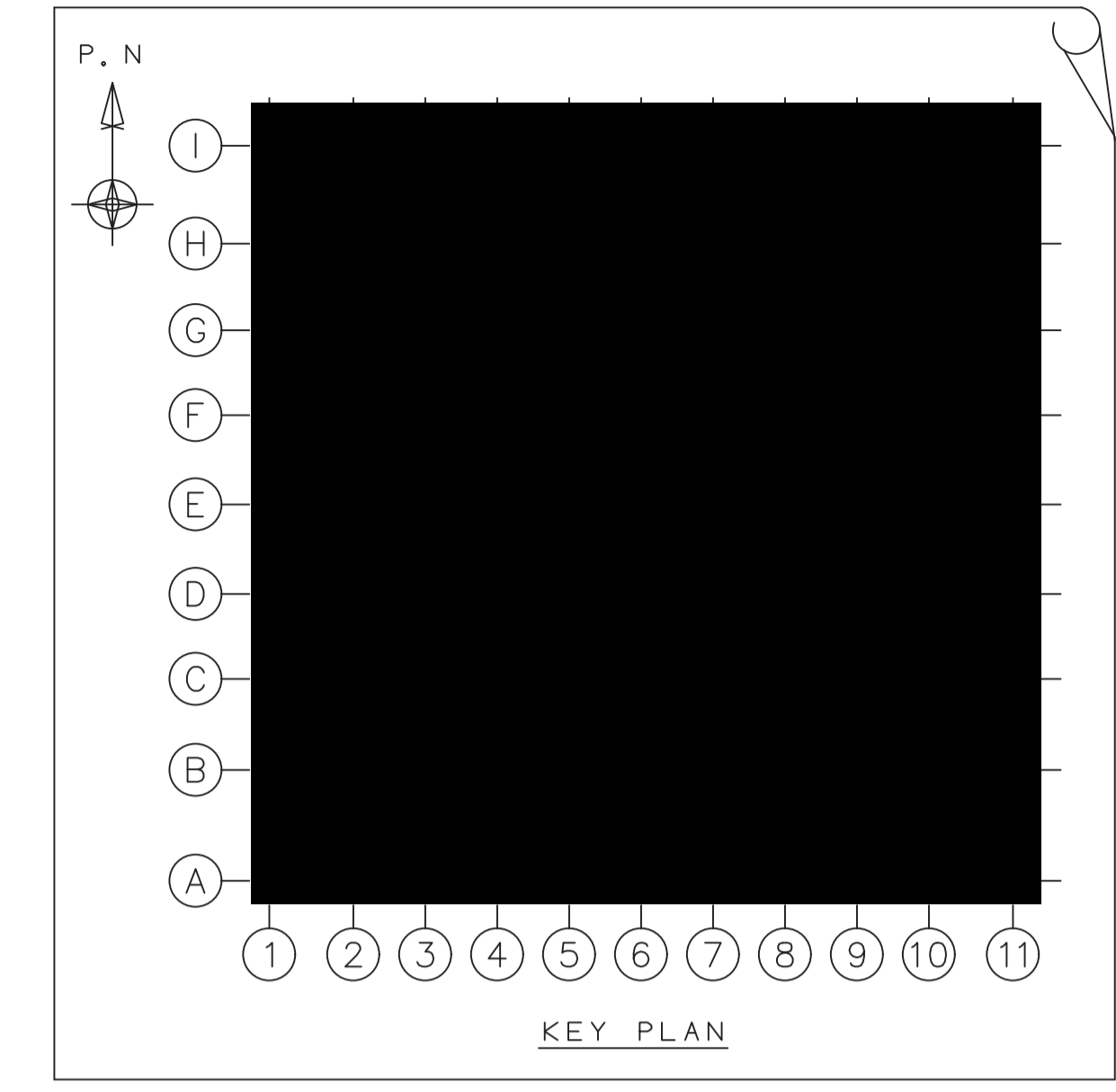
①

②

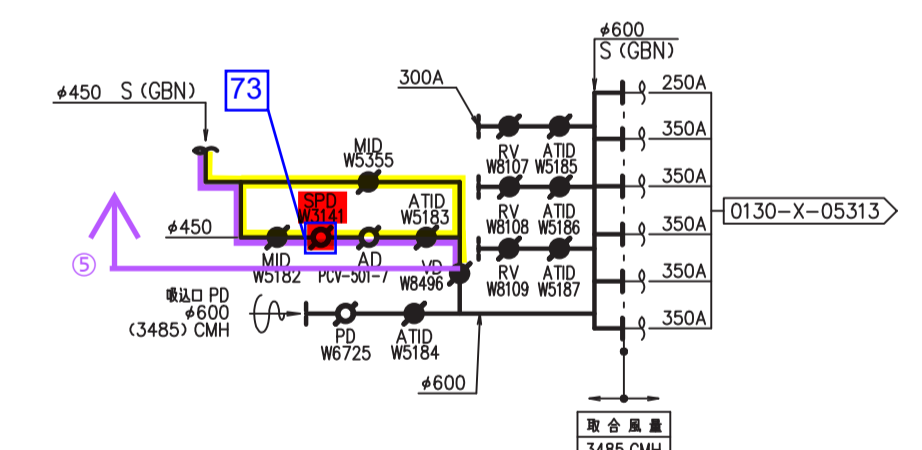
③

④

⑤



X-05364接続部詳細

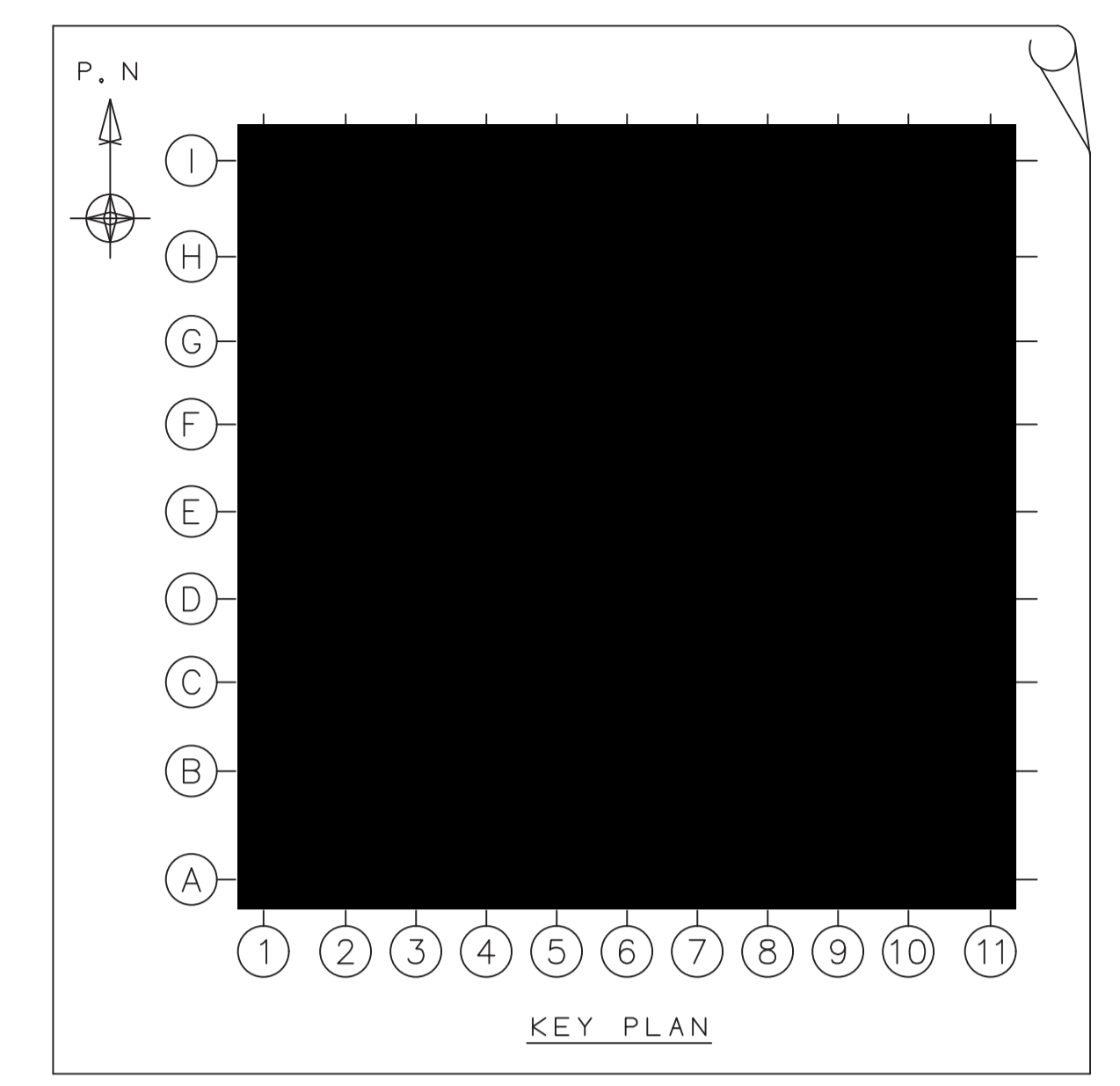
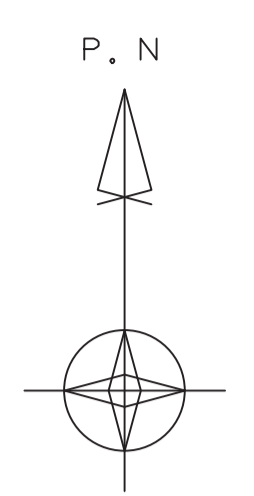


X-05313接続部詳細

- 凡例
- E (GB)
 - E (GBN)
 - S (GBN)
 - LCS

■ については核不拡散の観点から公開できません。

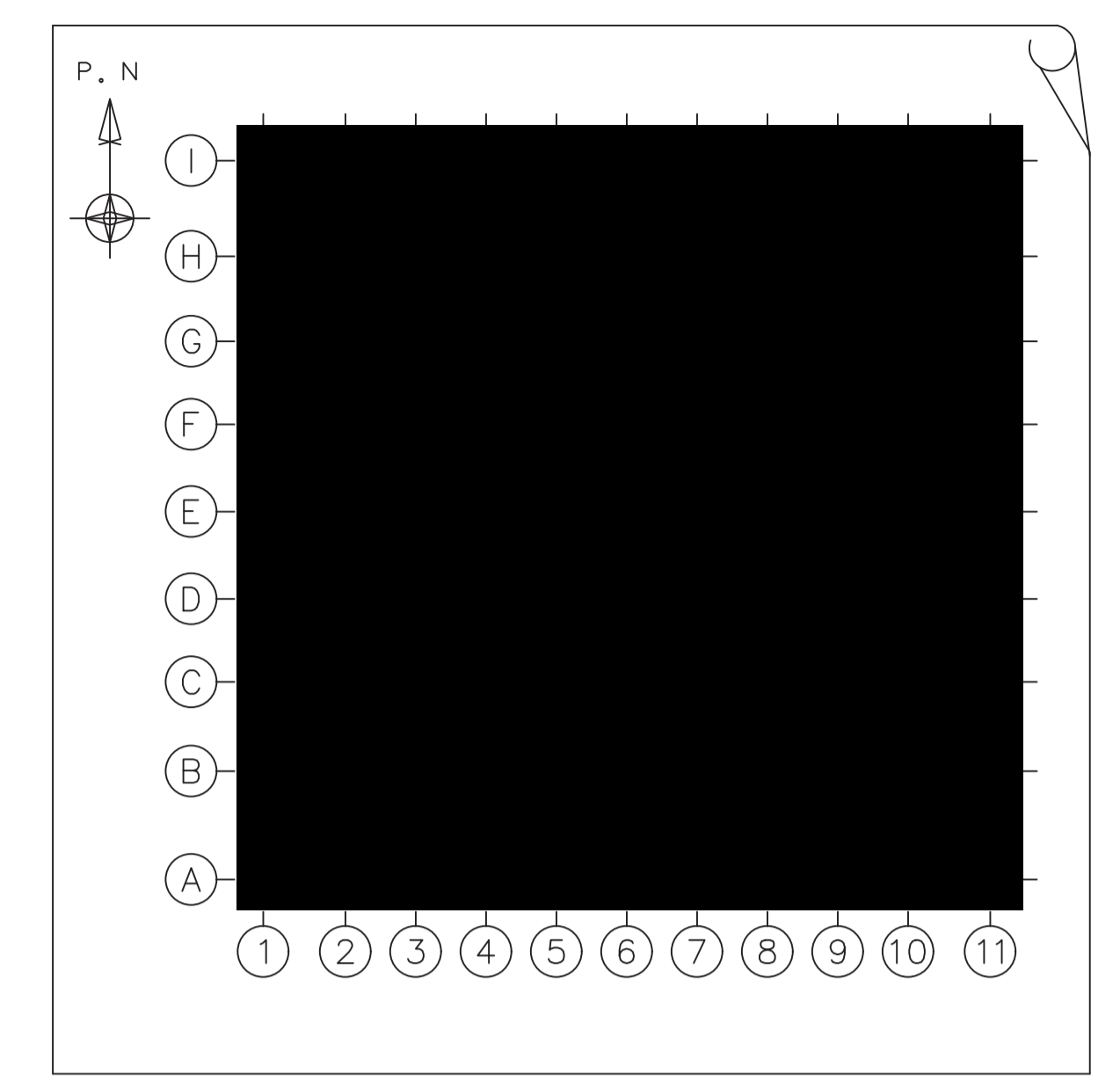
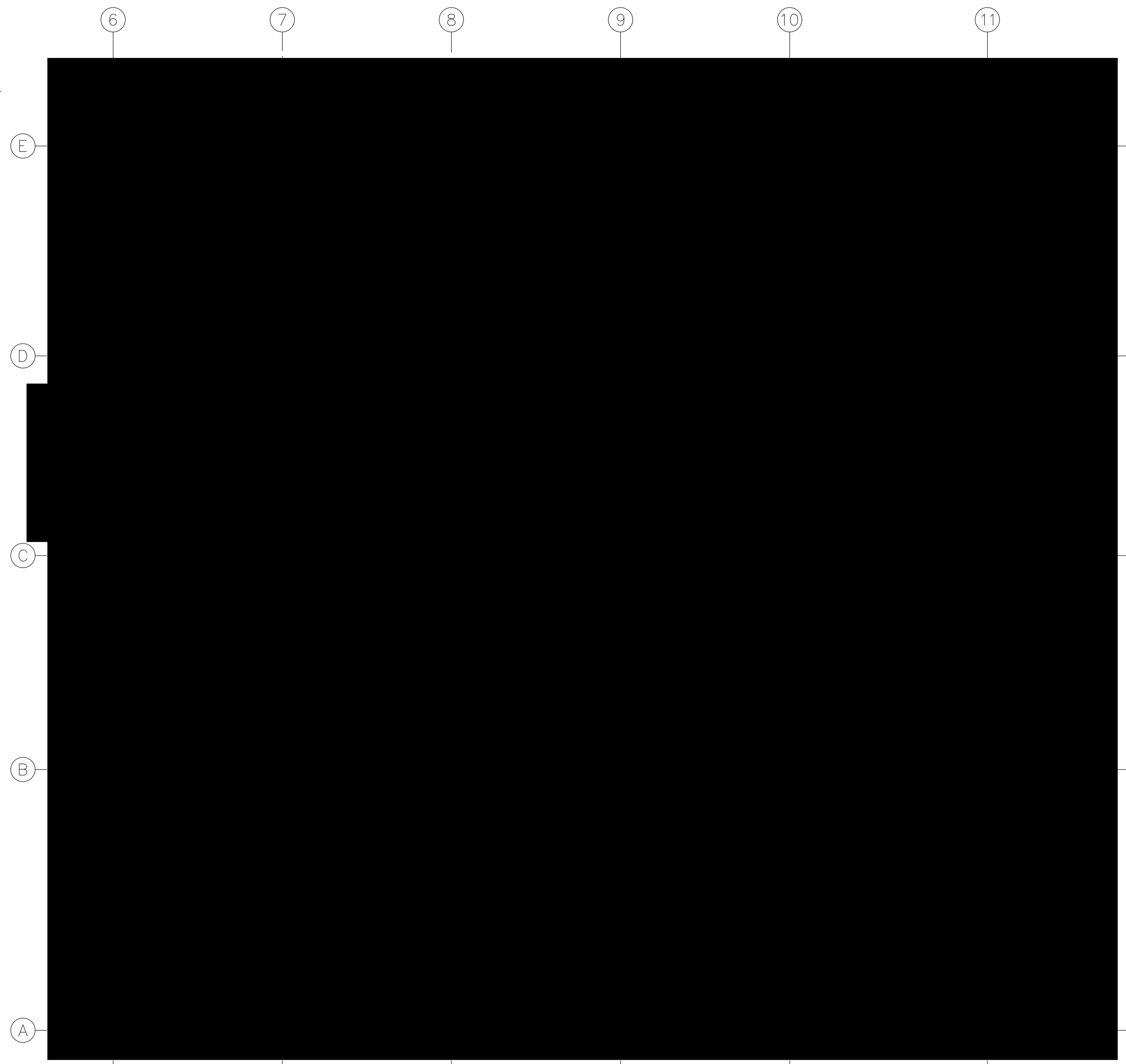
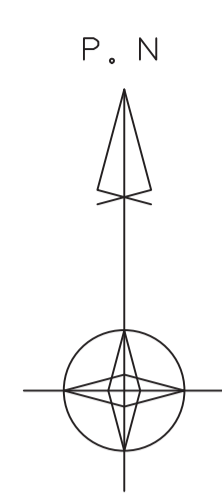
材料	部	名	1	個	別	記
種	類	号	量	数	名	号
日本原燃株式会社						
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)						
気体廃棄・換気空調設備 (H)						
単線ダクトルート図						
地下3階 2ブロック (GB, GBN)						



- 凡例
- E (GB)
 - E (GBN)
 - S (GBN)
 - LCS

■ については核不拡散の観点から公開できません。

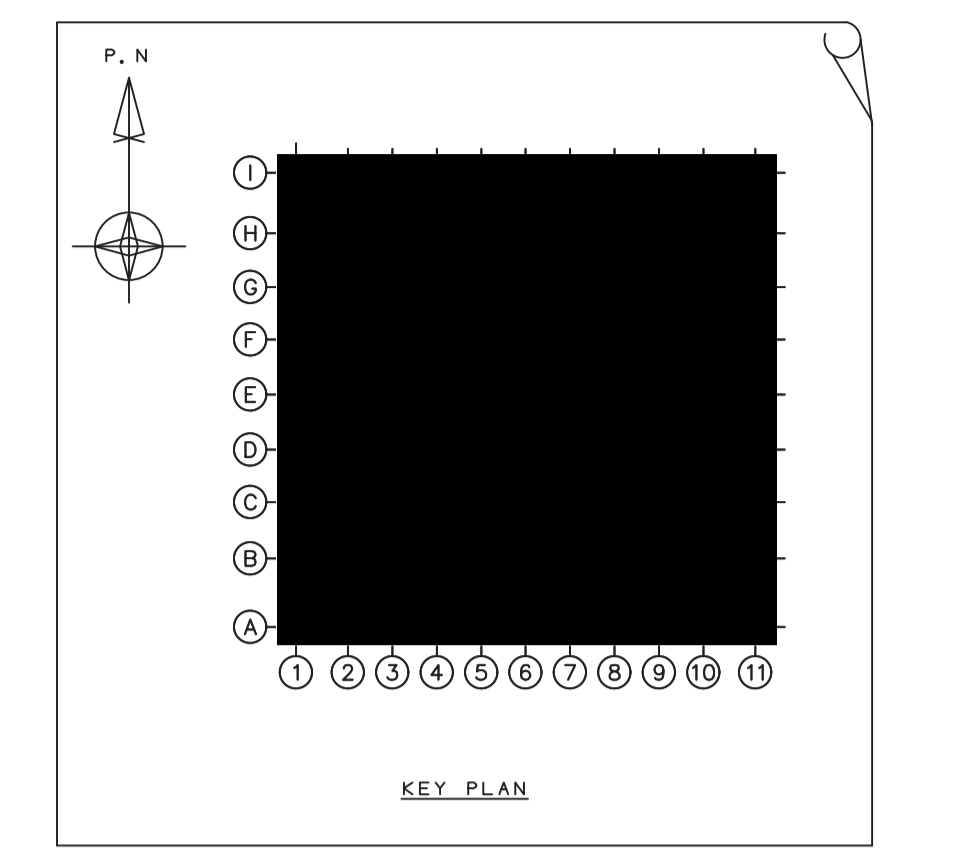
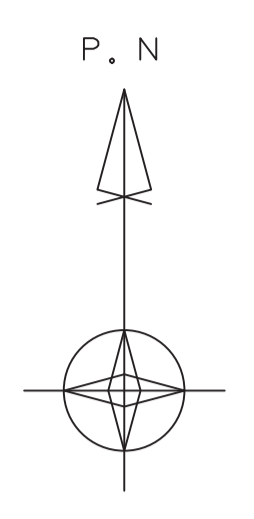
材料	数量	単位	備考	記号
日本原燃株式会社 殿				
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)				
気体廃棄・換気空調設備 (H)				
単線ダクトルート図				
地下3階 3ブロック (GB, GBN)				



- 凡例
- E (GB)
 - E (GBN)
 - S (GBN)
 - LCS

■ については核不拡散の観点から公開できません。

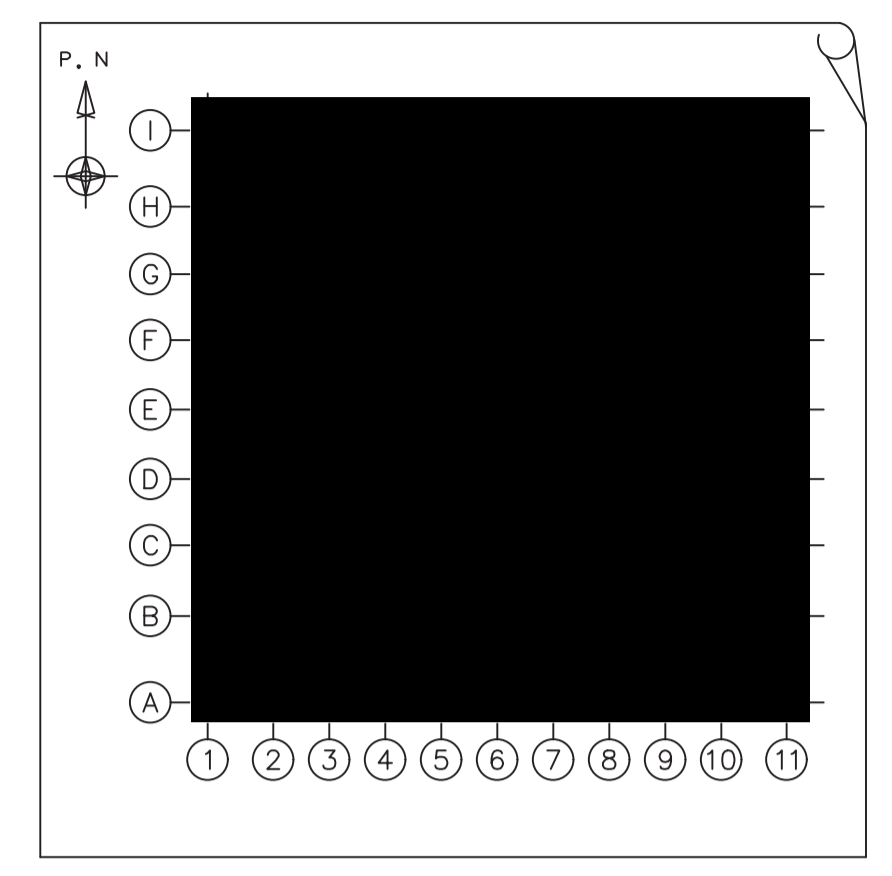
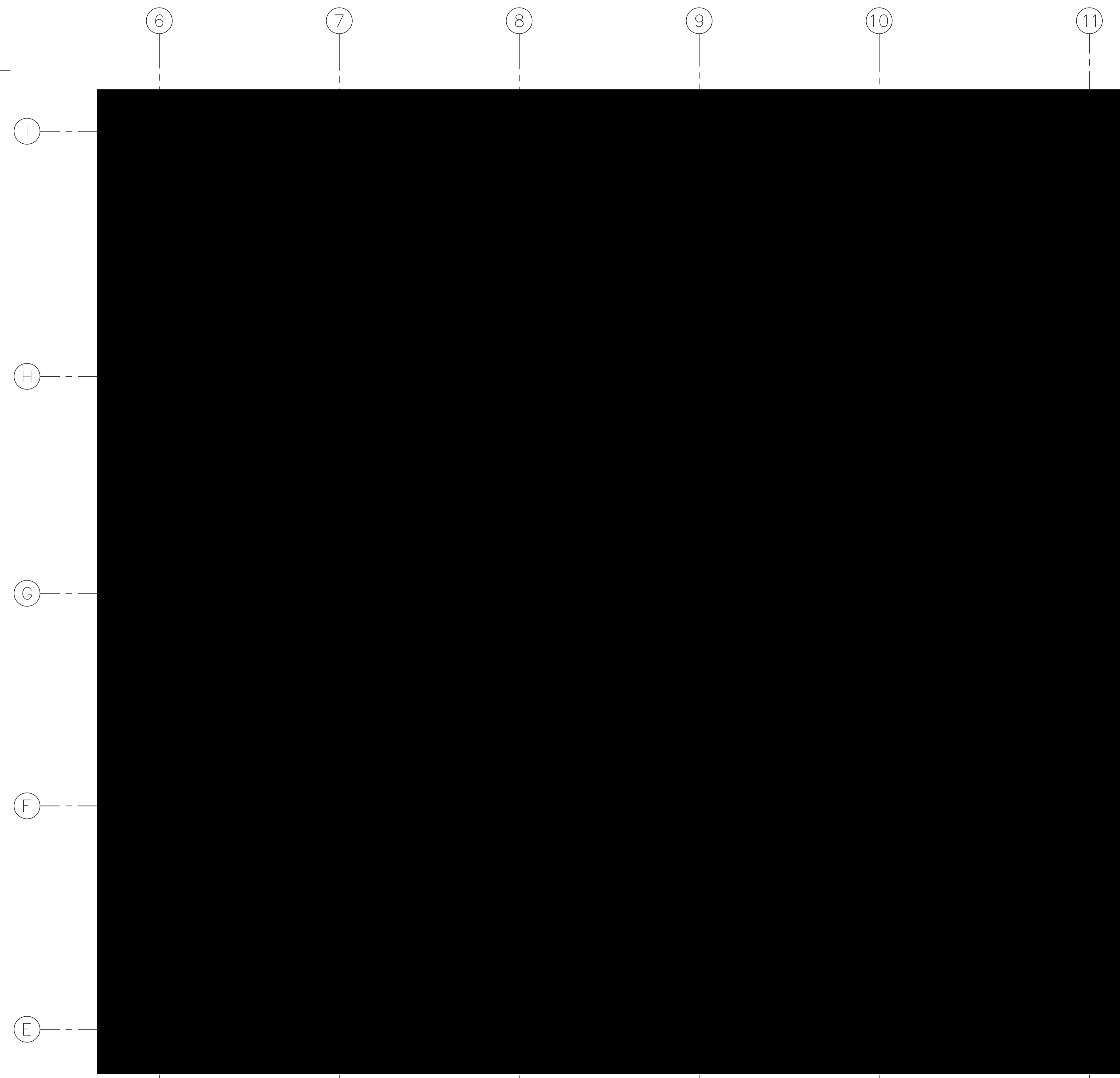
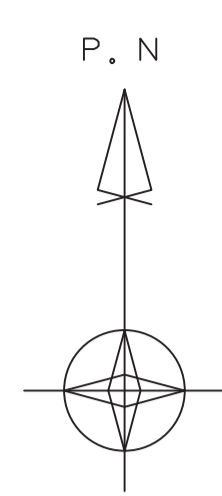
材料	核種	活度	単位	質量	備考
日本原燃株式会社殿					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下3階 4ブロック (GB, GBN)					



凡例
 E (GB)
 E (GBN)
 S (GBN)

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	数量	単位	重量	備考
日本原燃株式会社 殿				
MXX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)				
気体廃棄・換気空調設備 (H)				
単線ダクトルート図				
地下2階 1ブロック (GB, GBN)				



凡例

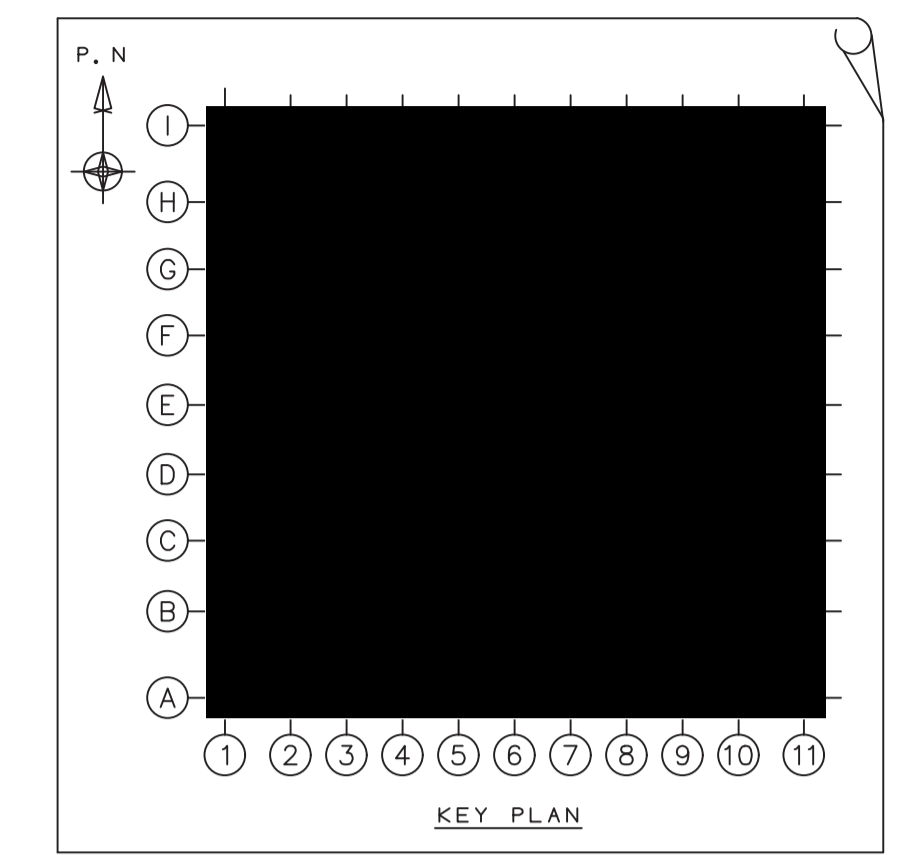
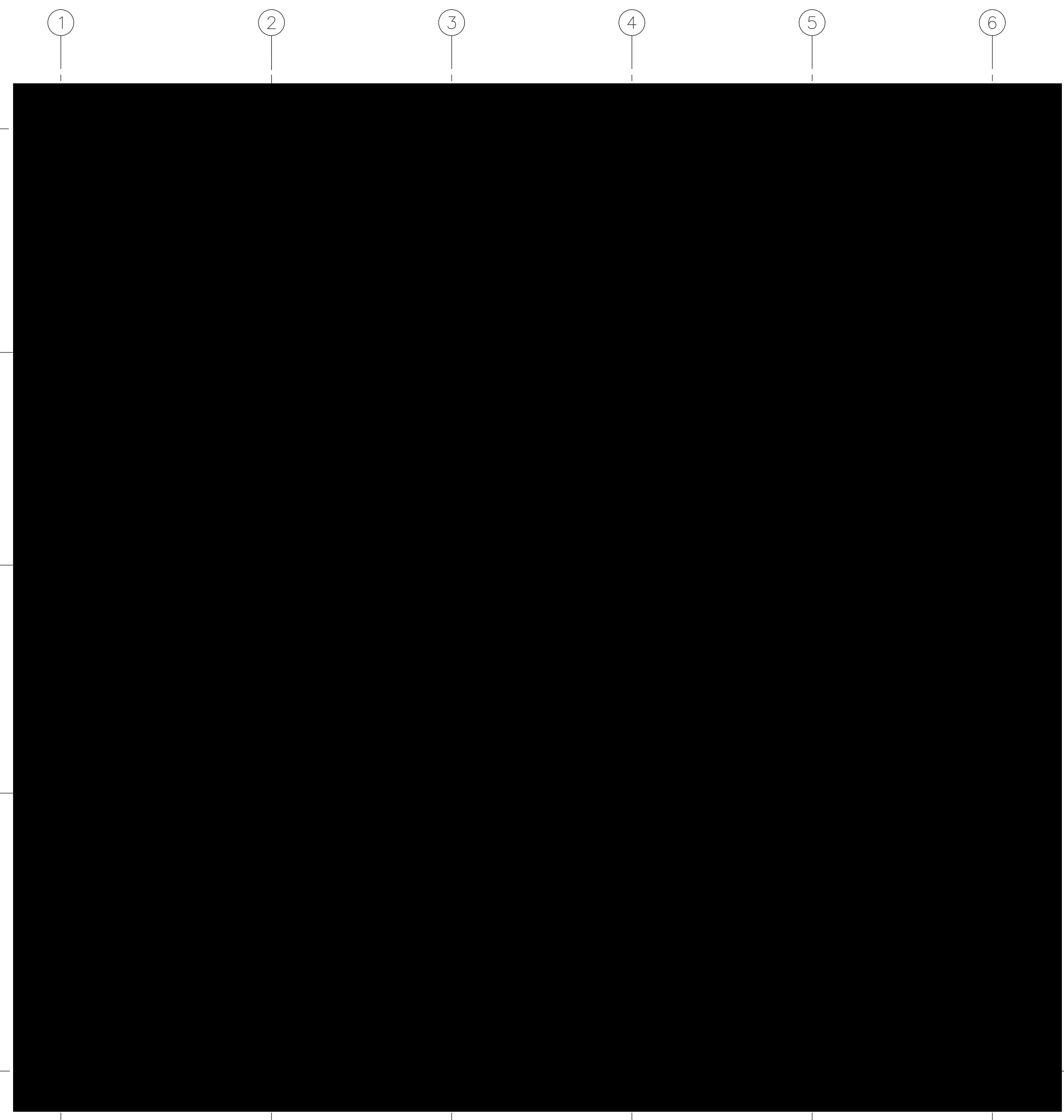
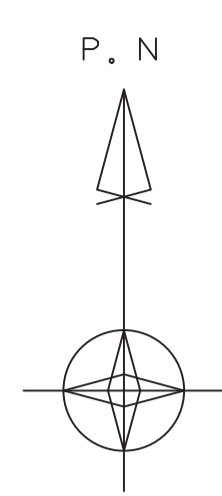
E (GB)

E (GBN)

S (GBN)

■ については核不拡散の観点から公開できません。

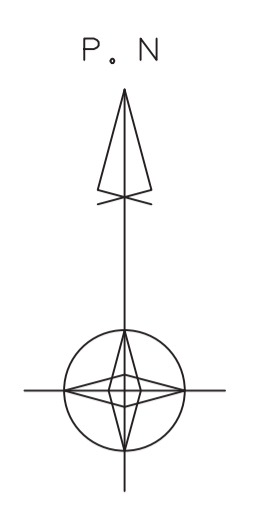
材料	数量	単位	重量	備考
日本原燃株式会社殿				
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)				
気体廃棄・換気空調設備 (H)				
単線ダクトルート図				
地下2階 2ブロック (GB, GBN)				



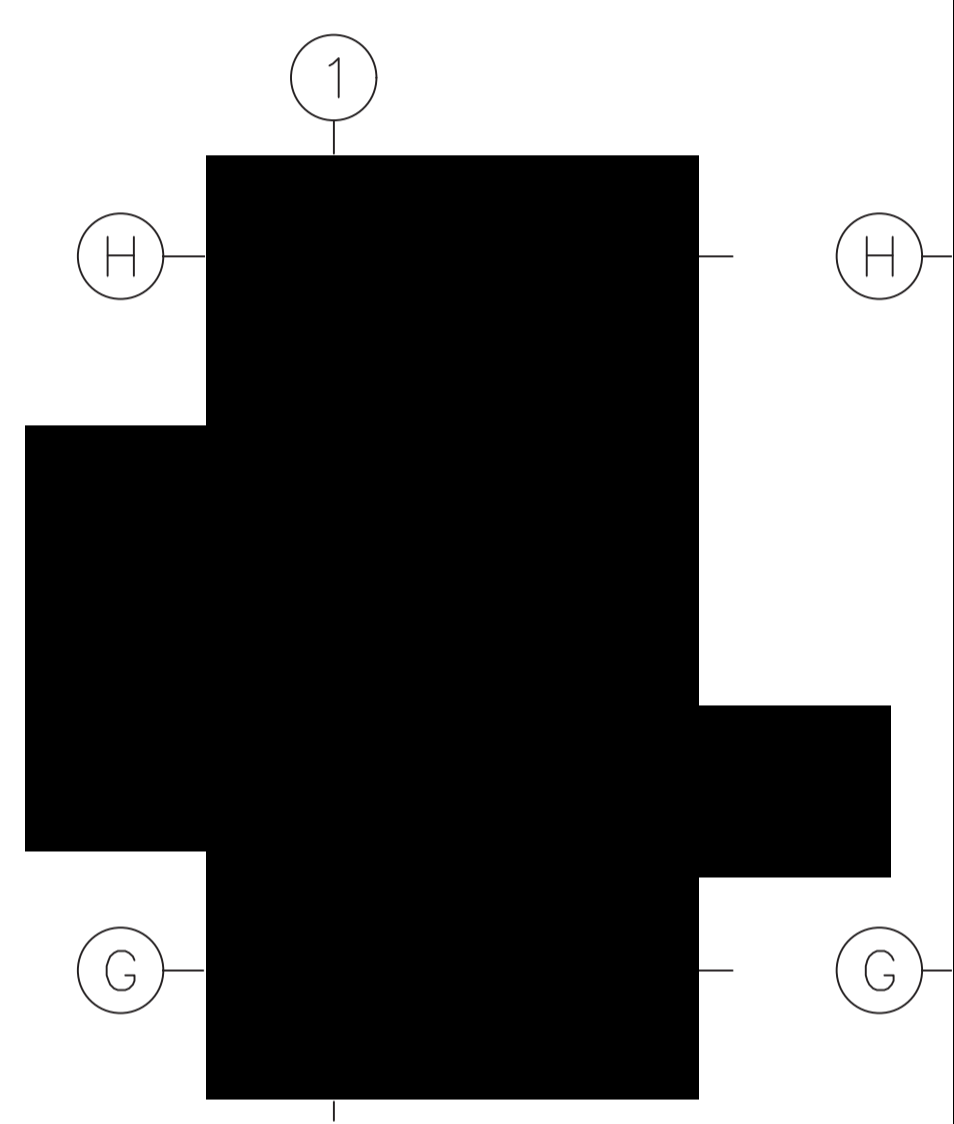
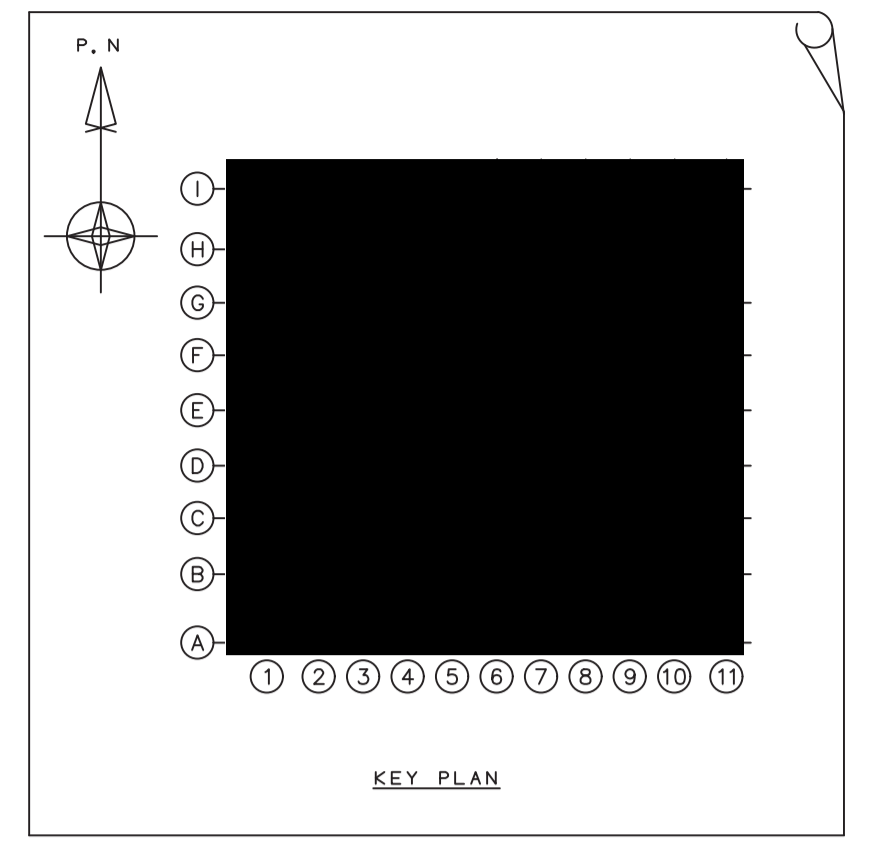
凡例
 E (GB)
 E (GBN)
 S (GBN)

■ については核不拡散の観点から公開できません。

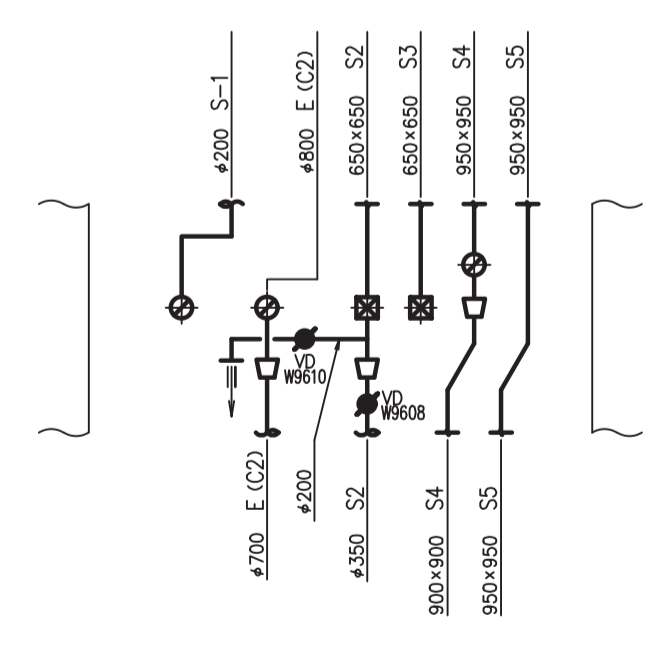
材料	核種	活度	単位	質量	備考
日本原燃株式会社 殿					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下2階 3ブロック (GB, GBN)					



① ② ③ ④ ⑤ ⑥



下部平面図



上部平面図

- 凡例
- S1~5
 - E (C1)
 - E (C2)
 - E (C3)
 - S-1
 - E-1
 - R-1
 - E (GBN)
 - S (GBN)

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	数量	単位	重量 (kg)	備考
日本原燃株式会社 殿				
MXX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)				
気体廃棄・換気空調設備 (H)				
単線ダクトルート図				
地下1階 1ブロック				

関連する基本設計方針（別紙2）

第23条：換気設備

関連条文

第10条：閉じ込めの機能

第20条：廃棄施設

第15条：材料及び構造

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請				第3回申請				第4回申請		
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	申請対象設備 (1項新規①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	申請対象設備 (1項新規②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (1項新規③)
5	各排気設備は、放射性物質を閉じ込めるため、グローブボックス又はグローブボックスと同等の閉じ込め機能を有する施設内、スタック乾燥装置及び小規模焼結処理装置（以下、「グローブボックス等」という。）並びに管理区域を換気し、負圧を維持する設計とする。	機能要求① 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グローブボックス排気設備	設計方針（系統構成）	-	-	-	○	-	建屋排気フィルタユニット 建屋排風機 工程室排気フィルタユニット 工程室排風機 グローブボックス排気フィルタ グローブボックス排気フィルタユニット グローブボックス排風機	排風機- ①種類 ②容量 ③主要寸法 ④騒音 ⑤取付箇所 ⑥主要材料	-	-	-	-	-	-	-
9	核燃料物質等の形態及び取扱量に応じた段数の高性能エアフィルタを設けることで、周辺環境に放出される核燃料物質等の量を合理的に達成できる限り少なくする設計とする。	機能要求① 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グローブボックス排気設備	設計方針（系統構成）	-	-	-	○	-	グローブボックス排気フィルタ 建屋排気フィルタユニット 工程室排気フィルタユニット グローブボックス排気フィルタユニット	フィルタ- ①種類 ②効率 ③主要寸法 ④騒音 ⑤取付箇所 ⑥主要材料	-	-	-	-	-	-	-

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請					
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	仕様表			
6	グローブボックス等は、グローブボックス排気設備により負圧に維持し、 工程室は工程室排気設備、燃料加工建屋は建屋排気設備により、グローブ ボックス等内の圧力を最も低くし、次いで工程室、燃料加工建屋の順に圧 力を低くすることで、核燃料物質等の漏えいの拡大を防止する設計とす る。	機能要求① 機能要求②	・グローブボックス排風機 ・工程室排風機 ・建屋排風機	設計方針（閉じ込め）	—	—	—	○	—	グローブボックス排風機 工程室排風機 建屋排風機 ※基本設計方針、加工施設の閉じ込め の機能に関する説明書	容量	—	—	—	—	—			
7	グローブボックスは、給気口及び排気口を除き密閉できる設計とする。	機能要求②	・グローブボックス ・焼結炉 ・スタック乾燥装置 ・小規模焼結処理装置	設計方針（閉じ込め）	—	—	—	○	—	粉末一時保管装置GB ペレット一時保管器GB スタック編成設備GB 等 ※基本設計方針、加工施設の閉じ込め の機能に関する説明書	漏えい率	○	—	予備混合装置GB 等 ※加工施設の閉じ込めの機能に関する 説明書	焼結炉 小規模焼結処理装置 均一化混合装置GB 等 ※加工施設の閉じ込めの機能に関する 説明書	漏えい率	—	—	
8	また、グローブ1個が破損した場合でもグローブボートの開口部における 空気流入風速を設定値以上に維持する設計とする。	機能要求① 機能要求②	・グローブボックス排風機 ・グローブボックス	設計方針（閉じ込め）	—	—	—	○	—	【機能要求②】 粉末一時保管装置GB ペレット一時保管器GB スタック編成設備GB 等 ※基本設計方針、加工施設の閉じ込め の機能に関する説明書	容量	○	—	【機能要求②】 予備混合装置GB 等 ※加工施設の閉じ込めの機能に関する 説明書	【機能要求②】 均一化混合装置GB 等 ※加工施設の閉じ込めの機能に関する 説明書	—	—	—	
10	液体廃棄物を内包する系統及び機器は、溶接、フランジ又は継手で接続す る構造により核燃料物質等が漏えいし難い設計とし、系統及び機器から廃 液が漏えいした場合、漏えい検知器により検知できる設計とするともに 、堰等により漏えいの拡大を防止できる設計とする。	機能要求① 機能要求② 評価要求	・低レベル廃液処理設備（漏えい液検 知器） ・燃料加工建屋（堰）	設計方針（漏えいの拡大防 止） 評価（漏えいの拡大防止）	—	—	—	○	—	低レベル廃液処理設備 等 ※基本設計方針、加工施設の閉じ込め の機能に関する説明書	主要寸法（高さ）	—	—	—	—	—	—		
11	また、放射性物質を含む液体を取り扱うグローブボックスは、放射性物質 を含む液体が漏えいした場合においてもグローブボックス底部を漏えい液 受皿構造とすることにより、グローブボックスに放射性物質を含む液体を 閉じ込めることで、放射性物質を含む液体がグローブボックス外に漏えい し難い設計とする。	機能要求② 評価要求	・グローブボックス（漏えい受皿） ・オープンポートボックス（漏えい受 皿）	設計方針（漏えいの拡大防 止） 評価（漏えいの拡大防止）	—	—	—	○	—	低レベル廃液処理設備 等 ※基本設計方針、加工施設の閉じ込め の機能に関する説明書	主要寸法（高さ）	—	—	—	—	—	—		
12	オープンポートボックス及びフードは、グローブボックス排気設備により 開口部からの空気流入風速を確保する設計とする。	機能要求① 機能要求②	・グローブボックス排風機 ・オープンポートボックス ・フード	設計方針（閉じ込め）	—	—	—	○	—	グローブボックス排風機 【機能要求②】 分析装置フード 低レベル廃液処理設備OPB 等 ※基本設計方針、加工施設の閉じ込め の機能に関する説明書	グローブボックス 排風機：容量（排 気風量） OPB：開口部風速 ※使用状態で 0.5m/s以上 フード：開口部高 さ	○	—	—	【機能要求②】 外差着脱装置OPB 貯蔵容器受払装置OPB フード（放射能測定設備） 等 ※加工施設の閉じ込めの機能に関する 説明書	グローブボックス 排風機：容量 OPB：開口部風速 ※使用状態で 0.5m/s以上 フード：開口部高 さ	—	—	—

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請				
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	申請対象設備 (1項新規①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	申請対象設備 (1項新規②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (1項新規③)
4	気体廃棄物の廃棄設備は、MOX燃料加工施設から周辺環境へ放出される放射能物質を合理的に達成できる限り少なくするため、管理区域からの排気は、高性能エアフィルタで放射性物質を除去する設計とする。	評価要求 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グローブボックス排気設備	設計方針（系統構成）	-	-	-	○	-	グローブボックス排気フィルタ 建屋排気フィルタユニット 工程室排気フィルタユニット グローブボックス排気フィルタユニット	効半、個数	-	-	-	-	-	-	
7	管理区域からの排気は、高性能エアフィルタで放射性物質を除去した後、放射性物質の放射能レベル、排気流量を監視し、排気筒の排気口から放出する設計とする。	機能要求① 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グローブボックス排気設備 排気筒	設計方針（系統構成）	-	-	-	○	-	主ダクト グローブボックス排気フィルタ 建屋排気フィルタユニット 建屋排気機 工程室排気フィルタユニット 工程室排気機 グローブボックス排気フィルタユニット グローブボックス排気機 排気筒	効半、個数	-	-	-	-	-	-	
8	気体廃棄物の廃棄施設は、汚染のおそれのある区域を換気する換気設備及び排気筒で構成する。	設置要求 機能要求① 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グローブボックス排気設備	設計方針（系統構成）	-	-	-	○	-	グローブボックス排気設備 グローブボックス排気フィルタ グローブボックス排気フィルタユニット 建屋排気設備 建屋排気フィルタユニット 工程室排気設備 工程室排気フィルタユニット	効半、個数	-	-	-	-	-	-	
9	気体廃棄物の廃棄設備のうち、建屋排気設備、工程室排気設備及びグローブボックス排気設備の排気側には、核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物（以下、「核燃料物質等」という。）を除去するための設備・機器として、高性能エアフィルタを複数設置し、核燃料物質等を除去する設計とする。また、排気ダクトとの接続部のうち、箱型高性能エアフィルタとの接続部は、保守性を考慮し、容易に交換できる設計とする。	機能要求① 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グローブボックス排気設備	評価	-	-	-	○	-	グローブボックス排気フィルタ 建屋排気フィルタユニット 工程室排気フィルタユニット グローブボックス排気フィルタユニット	効半、個数	-	-	-	-	-	-	
10	核燃料物質等の形態及び取扱量に応じた段数の高性能エアフィルタを設ける設計とすることで、周辺環境に放出される核燃料物質等の量を合理的に達成できる限り少なくするとともに、設計基準事故時においても可能な限り責任維持、漏れ防止及び追跡防止の機能が確保される設計とし、公衆に対して著しい放射線被ばくリスクを与えないよう、事故に起因して環境に放出される核燃料物質等の放出量を低減する設計とする。	機能要求① 機能要求②	建屋排気設備 工程室排気設備 グローブボックス排気設備	設計方針（系統構成）	-	-	-	○	-	グローブボックス排気フィルタ 建屋排気フィルタユニット 工程室排気フィルタユニット グローブボックス排気フィルタユニット	効半、個数	-	-	-	-	-	-	
14	5.2.1.1 低レベル廃液処理設備 低レベル廃液処理設備は、分析設備の分析済液処理装置から発生する廃液、試薬調整器具の洗浄水等及び放出管理分析設備から発生する廃液並びに管理区域内で発生する空調機排水等を区分して、それぞれ低レベル廃液処理設備の検査槽に受け入れ、廃液中に含まれる放射性物質を合理的に達成できる限り少なくするため、必要に応じて、希釈、ろ過又は吸着の処理を行い、廃液貯槽に送液する設計とする。 廃液貯槽で受け入れた廃液は、必要に応じて、希釈、ろ過又は吸着の処理を行い、廃液中の放射性物質の濃度が確認された後、排水口から排出する設計とする。	機能要求②	低レベル廃液処理設備	設計方針（系統構成）	-	-	-	○	-	低レベル廃液処理設備 イオン系廃液検査槽 イオン系廃液検査槽ポンプ 固体系廃液検査槽 固体系廃液検査槽ポンプ 吸着処理前槽 吸着処理前槽ポンプ 吸着処理オープンポートボックス 吸着処理塔 吸着処理後槽 吸着処理後槽ポンプ ろ過処理前槽 ろ過処理オープンポートボックス 第1ろ過処理装置 第2ろ過処理装置 精密ろ過装置 限外ろ過装置 ろ過処理後槽 ろ過処理後槽ポンプ 廃液貯槽 廃液貯槽ポンプ 主配管(耐酸Cクラス)	共通 ・種類 ・最高使用圧力 ・最高使用温度 ・材料 容器 ・容量 ・寸法 ・個数 ポンプ ・容量 ・個数 ・揚程又は吐出圧力 ・寸法 ・個数 ・原動機 （種類） （出力） （個数） （取付箇所） 主配管 ・外径及び厚さ オープンポートボックス ・寸法 ・漏れ率 ・開口部風速	-	-	-	-	-	-	
15	5.2.1.2 廃油保管室の廃油保管エリア 廃油保管室の廃油保管エリアは、管理区域内において、機器の点検並びに交換及び装置の稼働に伴って発生する機油又は分析作業に伴い発生する有機溶媒（以下「油類」という。）のうち、燃料加工工程の管理区域内で発生する再利用しない油類は、ドラム缶又は金属製容器に投入し油類廃棄物として保管廃棄するために必要な容量を確保する設計とする。	機能要求②	廃油保管室の廃油保管エリア	設計方針（系統構成）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	廃油保管室の廃油保管エリア	-	
16	5.2.1.3 海洋放出管理系 海洋放出管理系は、MOX燃料加工施設の排水口から排出した排水を再処理施設の第1放出前貯槽及び第1海洋放出ポンプを經由して海洋放出管の海洋放出口から海洋へ放出する設計とする。	機能要求②	海洋放出管理系	設計方針（系統構成）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	海洋放出管理系 第1放出前貯槽 第1海洋放出ポンプ 海洋放出管	共通 ・種類 ・最高使用圧力 ・最高使用温度 ・材料 容器 ・容量 ・寸法 ・個数 ポンプ ・容量 ・揚程又は吐出圧力 ・寸法 ・個数 ・原動機 （種類） （出力） （個数） （取付箇所） 主配管 ・外径及び厚さ

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請			
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	申請対象設備 (1項新規①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	申請対象設備 (1項新規②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)
19	<p>MOX燃料加工施設で発生する放射性固体廃棄物は、可燃性、難燃性及び不燃性の種固体であり、分別等を行った後、ドラム缶又は金属製角型容器に封入し、廃棄物保管第1室及び廃棄物保管第2室の廃棄物保管エリアで保管廃棄するか、再処理施設の低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系で保管廃棄する。</p> <p>保管廃棄施設（安全機能を有する施設に属するものに限る。）は、放射性廃棄物を保管廃棄するために必要な容量を有する設計とする。</p> <p>液体状の放射性廃棄物のうち油類廃棄物については、吸着剤により固型化処理し、ドラム缶又は金属製角型容器に封入後、放射性固体廃棄物として保管廃棄する。</p> <p>放射性固体廃棄物を保管廃棄する場合において、種固体を容器に封入するときは、ドラム缶又は金属製角型容器は、次に掲げる基準に適合する設計とする。</p> <p>(1) ドラム缶又は金属製角型容器は、水が浸透しにくく、腐食に耐え、及び放射性廃棄物が漏れにくい構造とする設計とする。</p> <p>(2) ドラム缶又は金属製角型容器は、亀裂又は破損が生じるおそれがない構造とする設計とする。</p> <p>(3) ドラム缶又は金属製角型容器の蓋が容易に外れないように固定可能な設計とする。</p>	機能要求②	<p>廃棄物保管設備 (廃棄物保管第1室及び廃棄物保管第2室の廃棄物保管エリア)</p> <p>再処理施設の第2低レベル廃棄物貯蔵建屋の低レベル固体廃棄物貯蔵設備の第2低レベル廃棄物貯蔵系</p>	<p>基本方針 (保管廃棄施設の容量、設置場所)</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請			
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	申請対象設備 (1項新規①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	申請対象設備 (1項新規②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)
4	8.2.1.1 材料について (1) 機械的強度及び化学的成分 a. 安全機能を有する施設の容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する設計とする。	機能要求②	安全機能を有する施設の容器、管、支持構造物	設計方針（評価方法等）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	b. 重大事故等対処設備の容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な材料を使用する設計とする。	機能要求②	重大事故等対処設備の容器、管、支持構造物	設計方針（評価方法等）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	c. 可搬型重大事故等対処設備の容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して日本産業規格等に適合した適切な材料を使用する設計とする。	機能要求②	可搬型重大事故等対処設備の容器、管	設計方針（評価方法等）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	8.2.1.2 構造及び強度について (1) 延性破断の防止 a. 容器等は、最高使用圧力、最高使用温度及び機械的荷重が負荷されている状態（以下「設計上定める条件」という。）において、全体的な変形を弾性域に抑える設計とする。	機能要求②	安全機能を有する施設の容器、管、支持構造物	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		機能要求②	重大事故等対処設備の容器、管、支持構造物	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	b. 容器等のうちダクトにあっては、設計上定める条件において、延性破断に至る塑性変形を生じない設計とする。	機能要求②	安全機能を有する施設の容器、管、支持構造物	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		機能要求②	可搬型重大事故等対処設備の容器、管	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	(2) 疲労破断の防止 容器等に属する伸縮継手については、設計上定める条件で応力が繰り返し加わる場合において、疲労破断が生じない設計とする。	機能要求②	安全機能を有する施設の容器等に属する伸縮継手	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		機能要求②	常設重大事故等対処設備の容器等に属する伸縮継手	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	(3) 座屈による破断の防止 容器等は、設計上定める条件において、座屈が生じない設計とする。	機能要求②	安全機能を有する施設の容器、管、支持構造物	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		機能要求②	重大事故等対処設備に属する容器、管、支持構造物	設計方針（評価方法等） 評価方法 評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	8.2.1.3 容器等の主要な溶接部（溶接金属部及び熱影響部をいう。）について 容器等（加工第1種容器から加工第3種容器、加工第1種管から加工第3種管に限る。）の主要な溶接部は、次のとおりとし、使用前事業者検査により適用基準及び適用規格に適合していることを確認する。 ・不適切で特異な形状でない設計とする。 ・溶接による割れが生ずるおそれなく、かつ、健全な溶接部の確保に有害な溶込み不良その他の欠陥がないことを非破壊試験により確認する。 ・適切な強度を有する設計とする。 ・機械試験その他の評価方法により適切な溶接施工法及び溶接設備並びに適切な技能を有する溶接士であることをあらかじめ確認する。	機能要求②	安全機能を有する施設の容器、管（加工第1種容器から加工第3種容器、加工第1種管から加工第3種管）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		機能要求②	重大事故等対処設備に属する容器、管（加工第1種容器から加工第3種容器、加工第1種管から加工第3種管）	(工事の方法)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

No.	内容	機能要求②	安全機能を有する施設の容器、管	第1回申請				第2回申請				第3回申請				第4回申請			
				○	△	×	—	○	△	×	—	○	△	×	—	○	△	×	—
12	8.2.2 耐圧試験等 安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備に属する容器及び管のうち、WAX燃料加工施設の安全性を確保する上で重要なものは、適切な耐圧試験又は漏えい試験を行ったとき、これに耐え、かつ、著しい漏えいがないことを確認する。 なお、耐圧試験又は漏えい試験は、加工施設の技術基準に関する規則の解釈の「加工施設の溶接の方法等について(別記)」又は日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格」等に従って実施する。 ただし、使用時における圧力で耐圧試験又は漏えい試験を行うことが困難な場合は、運転性能試験結果を用いた評価等により確認する。	機能要求②	安全機能を有する施設の容器、管	—	—	—	○	—	—	基本方針	—	—	—	—	—	—	—	—	
		機能要求②	重大事故等対処設備に属する容器、管	—	—	—	○	—	—	基本方針	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	可搬型重大事故等対処設備の容器等であって、消防法に基づく技術上の規格等を満たす一般産業品の完成品は、上記によらず、運転性能試験や目視等による有害な欠陥がないことの確認とすることもできるものとする。	機能要求②	可搬型重大事故等対処設備の容器、管	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	